

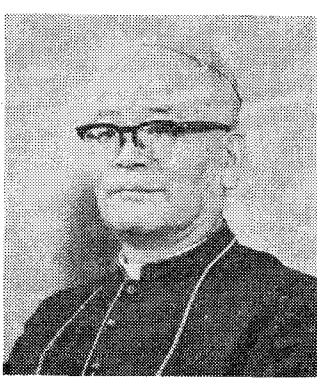


平田司教認可 発行所 福岡市中央区浄水通39 福岡司教館 発行人 福岡司教区 義隆 編集 福岡市中央区浄水通39 電話 092-522-5139 振替口座 福岡3-42981 定価 一部60円

今月のみことば わたしの掟を受け入れ、それを守る人は、わたしを愛するものである (ヨハネ14:21) パウロ会 百村等神父

聖書を学び、祈りを深めよう

平田司教が年頭のあいさつ



「キリストの魅力を知らう」平田司教

は、司教総会となしには、福音宣教は始まらないとのべ、外面的な教会組織の改善の必要を認め、聖書の学びを深めること、祈りを深めていくこと、折りのための時間を確保するために最大限の努力を払うよう促している。司教は、「祈りを「キリストとの対話である」として、個人でも家庭生活のなかでもこの対話としての祈りを深め豊かなものにするために、聖書をおしてキリストの魅力を知らうことが大切であることを思い起こさせている。聖書を学びキリストの魅力をひかれ、祈りを深めていくこと、折りのための時間を確保するために最大限の努力を払うよう促している。司教は、「祈りを「キリストとの対話である」として、個人でも家庭生活のなかでもこの対話としての祈りを深め豊かなものにするために、聖書をおしてキリストの魅力を知らうことが大切であることを思い起こさせている。聖書を学びキリストの魅力をひかれ、祈りを深めていくこと、折りのための時間を確保するために最大限の努力を払うよう促している。」

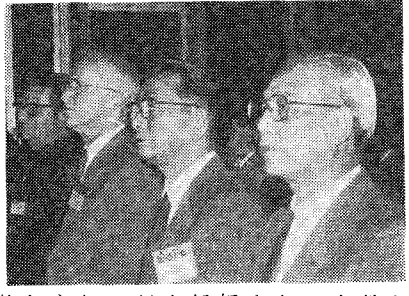
平田三郎司教が教区民に恒例の年頭のあいさつと祝福をおくった。司教は、あいさつのなかで、昨年11月20日から23日にかけて京都で開催された福音宣教推進全国会議をふりかえり、その精神を今年の実施に移していくと呼び掛けている。全国会議がまとめた答申

12月6日(日)、遠く有明海を見下ろす菊水町晴浦の山頂にできた「祈りの家」生命山ニュータワー寺カトリック別院の落成式が行われた。平田三郎司教、ザベリオ会長のマニ管区長をはじめ佐賀、熊本、福岡からおよそ80名の司祭、修道者、信徒が参加。澄み切った空気を震わせ鐘の音が静かに響きわたる中、平田司教と6人の司祭、2人の仏教僧の入室で落成式のミサが始まった。ミサは、この本院であるニュータワー寺住職の古川老師の「奇跡だと思ってる」

生命山カトリック別院 完成 仏教霊性との交流にはずみ

熊本・菊水町

第一回福音宣教推進全国会議 祈りに支えられ、豊かな実り



第一回福音宣教推進全国会議

第一回福音宣教推進全国会議が、11月20日から23日まで京都の河原町教会で行われ、全国から二七四名が参加。福岡教区か

教推進全国会議「う」とあいさつ。教皇庁国務長官カザロリ枢機卿の「教皇は全国会議に霊的にご出席になり、この大切な集いの上に聖霊のおん導きで質疑応答をし、閉会し

時の話題

稲垣良典

ヨーロッパやアメリカでも元日を祝うのですか、と尋ねられることがよくあります。キリスト教の国々でも新しい年のはじめの日はとくにめでたい日とされているのか、という疑問がわいてきます。私の知っている限りでは、この日は役所や会社などではお休みです。私のお考えでは、新しい年を祝うときは生命への深いあこがれと結びついているように思われます。今年買った車、今日あつらえた洋服の

新年とキリスト信者

「新しさ」それはすぐに古くなります。それは、つねに自らを新たにしている、いつまでも新しい生命の「新しさ」へのあこがれ。それが新年の祝いのなかにこめられているように思われます。祝い方は様々に異なっていますが、生命の「新しさ」をあらわす「神の母聖マリアの祭日」

主の降誕とお慶びを申し上げます

一九八八年 元旦

平田三郎司教 福岡教区長 福岡地区 司教館

大牟田 呼子 馬渡島 大神学院 山田 成章 平田 愷五郎 山田 藤房 山田 重光 川口 康頼 青木 保 川上 惣一 A・ラミールレス 泉 類治 山川 辰幸 堤 要吉 赤倉 稔 T・ドワイヤー 須賀沢公男 春山 勝美 鶴野 泰年 島山 七郎 B・シヤルツ T・リシヤール 竹森 勇 W・ラギダオ 山崎聡一郎 乾 盛夫 岩永 義人 渡辺 隆義 堤 敏雄 永永 一 永永 武男 三村 邦明 下町 豊重

黒崎 J・バイヨ H・キニユ J・モラハン 直方 浦口 均 飯塚 J・ノリス L・グロージャン 田川 平田 正喜 新田原 平田 三好 行橋 深堀 勝人 佐賀 R・マグリン A・ディベッロ 山下 正 鳥栖 A・スカットロン F・サルディ C・ガッザルディ 唐津 武雄 伊万里多久 鹿島 A・アレグリーニ C・ミケレナ 熊本地区 熊本 地区 手取 W・グリーン B・ジョー V・ヤンケンフ J・オフライエン 青木 悟 A・ペルトラン W・カリー M・コニリー K・オモホニ 荒尾 K・オモホニ 菊池 勝美 B・フォード H・オカロール 八代 黒川 博 C・パスチ J・ペラス J・カロール H・ハンター P・ダイアモンド S・フランコ 在海外留学 桜井 尚明

ファミリーセンターで 召命祈願ミサ

福岡市南区

さる11月18日、福岡市南区血山のカトリックファミリーセンターで、聖コロンバミサを祝う集いがあった。平田司教はじめ、近隣の司祭ら十八名が参加した。ミサ中の説教で、飯塚教会のノリス師が、少年時代から司祭になるまでの、自分の体験をもとに、召命について語った。

幼な子にたちかえってピンゴゲームを楽しみ、全員豪華な景品を得て閉会した。

久留米 今村 本郷 小郡 二日市 古賀 光ヶ丘 老ヶ丘 W・ラギダオ 竹森 勇 T・リシヤール 山崎聡一郎 乾 盛夫 岩永 義人 渡辺 隆義 堤 敏雄 永永 一 永永 武男 三村 邦明 下町 豊重

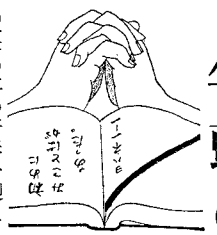
水巻 若松 戸川 湯川 小倉 門司港 八王寺 北九州地区 L・デンシャン P・ボンカズ 徳山 登 E・モーゼ J・ガイヤール C・パスチ 山頭原太郎 山元 真 平田 寛 浦 俊雄 M・コース L・ペリオン

健軍 島崎修道院 荒尾 M・コニリー K・オモホニ 菊池 勝美 B・フォード H・オカロール 八代 黒川 博 C・パスチ J・ペラス J・カロール H・ハンター P・ダイアモンド S・フランコ

切だと思っ



みちくた



年頭の願い

福岡教区長

平田三郎 司教

聖母の年の新春を迎え、聖母が幼子イエズスの手を取って、この新しい年を祝福し、教区の司祭、修道者、信徒の皆さんに救い主の姿を示して下さるよう祈ります。

明けそめ一九八八年は、昨年末に京都で開催された第一回福音宣教推進全国会議で教区代表が討議し、司教団に提出した要望案件をまとめ実施に移す年であります。

キリストの人格の魅力に触れよう

87ナイスで浮きぼりにされた問題

三年間の準備期間において開催された京都会議では、当然、社会に開かれたキリスト教、社会に開かれたキリスト教、なせ自分の殻に閉じこもっているのか、その内外の原因は何か、そこから抜け出るための具体的な方法や、内部組織の刷新案、改善案などが提出されました。司教、司祭、修道者、信徒共同の生涯養成の制度、タチマエではな、ホネで信者が話し合えるグループ作り、正義と平和



純吾君のマリアさま

大きなおなかの上に御像をのせながら「神父さま、この子はマリアさまのテーパーになったんです。この子は祝福されていますよ」といかににも幸せそうだった。

やがて玉のような男の子が生まれました。それが純吾君です。この子は予想通り、

わが母マリア

「……」息づまるような沈黙、純吾君の目がきらきらと光った。握りしめていたおもちやを愛ちゃんに差し出した。愛ちゃんが純吾君のホップにチューをした。大人たちの間からどよめきと拍手がわき起こった。二歳の男の子と四歳の女の子の戦いのドラマである。生まれる前にテーパーになったマリアさまが何をなさされたのでしょうか。純吾君のマリアさま、今後ともどうぞよろしく。

全国会議への歩み

全国会議開催は、3年前に司教団が出した「日本の教会の基本方針と優先課題」に沿ったもので、このために司教団は、全国三つの大司教区管区で公聴会を開き、信徒の意見を耳を傾けた。

福岡教区では独自に、昨年2月11日に公聴会を行った。さまざまレベルで教区民の意見を吸いあげ、教区として、取り組むべき10の提案をまとめた。

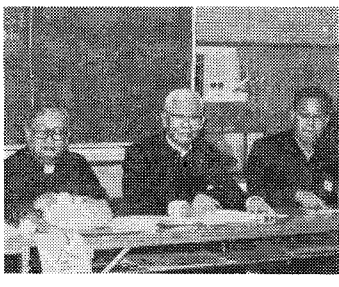
対話のための三つの視点

全国会議では、現在の日本の教会の根本問題と考えられる、生活と信仰の遊離の原因をさぐり、開かれた教会とは具体的に何なのか、優先的にどのようなことに取り組むべきか、その切り口を探るため、三つの視点を設定された。

- 1、二十一世紀に向けて福音宣教の中期展望をつくり、具体的な突破口を探ること。
- 2、小教区あるいは教区レベルで討議する。
- 3、一人ひとりが教会の将来に責任をもって考え、発言すること。

司教団への答申作成まで

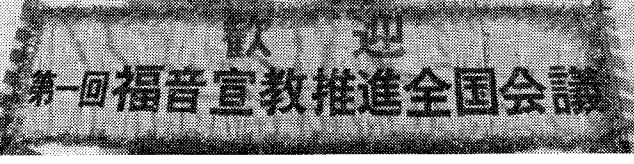
延べ33時間におよぶ討議は、全体会と分団会からなり、分団の数は全部で15。各分団に司教、司祭、男女信徒、青年、修道者がだいたい均等に分けられた。



① 教会が生活と社会の諸問題を的確に把握し、対応策を見つけていくために、司教団の機会を充実させ、広報など信徒一人ひとりに向けた情報伝達の手段を確立すること。

② 信徒、修道者、司祭、司教のための生涯養成が大切であるが、それは差別、抑圧されていく人々と苦しみを分かち、新しい社会を建設することのできるような養成プログラムであること。

③ 教会と社会の接点であり、宗教教育によって社会に



信仰の根本を見直す

最終日には、事務局が用意した司教団への答申(案)に対する質疑応答が、2時間余

参加者たちの意見から

④ 社会的弱者の相談を受け、速やかに受け入れることのできる施設をつくる。

また、特別に再考すべきこととして、離婚者、重婚者に対するキリスト者としての配慮があげられた。

生活をとおして育てられる信仰

① 信仰は、だれかがだれかを一方的に育てるのではなく、日常生活の中で互いに育て合うものであり、このために世代、職能別、異宗結婚者など、さまざまなグループによる分かち合いの場づくりをさらに促進する。

② 先のような信仰養成の視点を要理教育書、秘跡、典礼の刷新など、教会生活のあらゆる場に反映させる。

福音宣教をする小教区

① 教会は信者だけがメンバーとする発想を転換し、司祭と信徒は、地域内に住む人、訪れるすべての人が福音的に生きる事ができるように奉仕する人々と考え、地域社会との交流、参加を積極的におしすすめる。

② 宣教へ向かわせる典拠、人々のこころにひびく典拠を生み出すために、日本の風習を考慮し、適切に対応していくこと。

③ 壮年男性中心社会になっ

……私たちは、まず、これまで教会を支え、信仰を伝えるために努力してこられたすべての方々から感謝を表明します。……私たちは、

一九八七年十一月二十三日 福音宣教推進 全国会議参加者一同

故ペルトラン神父様の思い出 片岡 光男

J・ペルトラン神父様に初めてお会いしたのは、大阪から家族ともども久しぶり北九州に戻って来た一九六四年五月の事でした。当時の門司港教会は、一九五三年に西日本各地を襲った豪雨による山津波に押し流され、大里地区に移設された旧門司教会の跡地に九年ぶりに再建されて間もない頃でした。

神父様は、この門司港教会の初代主任司祭として着任されたそうですが、地域状況を知る記録も名簿もなく、また外国船員の訪れる事も多くて、なかなかお話しが苦痛が多かったようですが、物腰がとて静かですが、お優しい眼差しが大きな変身象徴でした。

教会は港を一望に見下ろす高台にあり、正面に閘門の橋がくっきりと浮かび、素晴らしい景観に恵まれていたが、車の上が道が狭く、約百段ばかりの石段を歩いて登らねばならず、当時すでに六十五歳を越えられた神父様には、相当な重労働だったと思います。病にござる聖体を運ばれたり、信徒の家庭を訪れたり、船でござるが、整備のために現在の小教区や教区制度を見直し、信徒、司祭の人的交流によってバランスをはかる。

(文責 山内堅治)

……私たちが、まず、これまで教会を支え、信仰を伝えるために努力してこられたすべての方々から感謝を表明します。……私たちは、

黙想の家告知板

神さまの響きの中で、

※一泊黙想 (毎月第2土曜日) 但、1月は30・31日

※日帰り黙想 (婦人のため) 毎月第2・4月曜日

詳細は福岡黙想の家 871-7108へ

ひとりで悩まないで

きぼうの電話

(092)865-1212

(生き方・家庭・学業・仕事・恋愛・宗教)

月水金 午前11時~午後4時 午後8時~10時

福岡黙想の家

熊本石材株式会社

熊本市島崎4丁目2ノ68

電話 096-352-3306 096-352-8622

式典・花

木下株式会社

福岡 (712) 8022 久留米 (33) 7401 佐賀 (30) 4040 小郡 (72) 3482

全教区司祭
研修

信徒の養成は司祭の責務 固有のカルスマを尊重し生かさそう

福岡教区の司祭研修会が、11月30日から12月2日にかけて、熊本県の阿蘇で開催された。今年は、松本三朗師(中央協議会総務部長)を講師に招き、平田司教をはじめ34名の司祭たちが「信徒の養成」について意見を交換し、合わせて親睦を深めた。



分教会での話にも熱が入る(円内は講師の松本三朗神父)

信徒は、単なる司祭の手伝いではなく、信徒リーダーの養成も司祭が司祭の仕事に専念するためのものであると述べた。

「信徒を信頼していないために信徒の成長を妨げている場合がある」と指摘し、司祭は「もつと信徒のカルスマを認め、生かさなければならぬ」と強調した。

講師の松本三朗師は、京都教区の教理センターの所長であり、「信徒の養成」の豊富な体験をもとに3回の講演を行った。

このなかで松本師は、信徒の養成は日曜日の説教だけでは不十分であると述べた。

私は、とらわれている人びとを解放するために来た。これは抑圧された封建的なフィリピン人の農園の組織の中で、それ以外に生きる道のない農民や農園労働者に、自分たちが解放されるべきであることを確信しはじめ、貧しい労働者たちは教会の活動的により積極的に参加するようになった。

ネグロスからの訴え (完)

R・エンペスタン神父

私も活発に参加するようになった。いまネグロスには、このよ様なBCCの組織が二千三百ほどあります。一つの共同体は百人から三百人位です。毎週一回集まって、聖書の分かち合いをし生活の問題について話し合います。

養成のために必要な分教会は、3つのグループに分かれ、講師の話をもまえて、教区の現状と今後の取り組みについて話し合った。信徒の奉仕職の養成の問題が論議され、その意義が認められたが、現時点で必要かどうかについては意見が分かれた。教区としての明確な指針を求める声が大きかった。

来日アジア女性を問いかける 大島静子氏を招いて記念講演 熊本
昨年、11月15日一時半より「滞日アジア女性の問題を考える会」が設立二周年記念企画として、東京より「女性の家HELIP」代表大島静子氏を招き「来日アジア女性を問いかける」と題した講演を熊本市の手取教会で催した。

二人の青年が海外奉仕体験を報告 健康教会
二年間、青年海外協力隊として派遣されていた二人の青年の体験報告が、11月29日(日)熊本市の健康教会で行われた。

飯塚教会で 念願の司祭館落成 元成鉦の街、今は新しい学園都市をめざす、筑豊地区の飯塚カトリック教会(コロンバン会、ゼームス・ノリス神父)に、新司祭館が落成し、さる11月9日平田三郎司教によって祝別された。

病人の集まり (2) 山元神父のワンポイント教会法
先月号のつづきです。教会を「病人の集まり」として見るのは別に卑下したり、自分たちを必要以上のつまらない者と思ってしまうではありません。むしろ、私たち自身を誇るためです。聖パウロがいうように、私たちが神の前で誇るものは、「弱さ」以外には何もないからです。

BOOK 読み専科
☆今、この現実のなかで...共に生きる
磯村尚徳 ホアン・マンア
岡 宏 大原 猛
小柳伸顕 井口貴志
井上新二 李 相鎬
鳥居文子 宮城涼子
山田恭子 山田経三
生熊来吉 西尾正二
祐川真一 寺本松野 共著

祭壇・洗礼盤他
石のパイオニア 高木石材株式会社
〒860 熊本市段山本町2-21
TEL 096-352-2417

総合建設業
八千代建設株式会社
取締役社長 田中清
取締役副社長 渡辺勝三郎
〒810 福岡市中央区薬院3-2-9 TEL 092-531-1231

会合と催し

一月の行事

- ※ゴチックは司教日程
- 1日 新年ミサ 10時(福岡カテドラル)
- 10日 青年と担当司祭団の交流会(小郡)
- 12日 新年祝賀会(司教館) 岸千年先生のお祝い(東京)
- 15日 地主敏夫師司教叙階式(札幌)
- 17日 修女連集会(司教館) 成人式(福岡カテドラル・センター)
- 24日 ナイスの報告会(小倉)
- 31日 ナイスの報告会(佐賀)
- 2月2日 司祭評議会

福岡黙想の家

- 9〜10日 コロピエノ合唱団
- 11〜25日 婦人のための黙想会
- 14〜15日 聖カテキスタ会
- 17日 大神学院静修会
- 23〜24日 マリッジエンカウンター九州大会

1988年度 教区行事予定

- 1月12日(火) 新年祝賀会
- 2月2日(火) 司祭評議会
- 2月11日(木) 聖マリア大会(カテドラル)
- 3月1日(火) 教区全司祭の集会
- 3月21日(月) 司祭叙階式(カテドラル)
- 3月31日(木) 聖香油聖別ミサ 金祝・銀祝司祭の祝賀会
- 6月7日(火) 司祭評議会
- 6月29日(水) 平田司教の霊名祝い
- 9月6日(火) 司祭評議会
- 11月23日(水)〜25日(金) 教区全司祭の研修会

成人式に参加を

成人式を迎える人々を招いて、新成人者のお祝いをいたします。各教会の多くの成人者、その御両親、青年、司祭、信徒など、多数の参加をお願いします。

日時 1月17日(日)午後2時より平田三郎司教司式ミサ
会場 福岡カテドラル・センター
お問い合わせ先 川上惣一神父(大名町) TEL092-741-3687

【指紋捺捺拒否者を 支援する集会】

共に生きる 社会の創造を！
日時 1月17日(日) 午後3時〜6時
会場 福岡カテドラル・センター (092-741-3687)
集会内容
◎映画 「指紋捺捺拒否 パートII」
◎李幸宏君(在日韓国人三世・新宮町在住)の話
◎ポール・マッカーティン神父(人吉教会)参加予定
入場カンパ 五百円
主催 李幸宏君の裁判を共にすすめる会・準備会(連絡先 青柳行信 092-621-6211)
後援 カトリック福岡地区 信徒使徒職協議会 信託福岡教区 カトリック福岡教区 修道女連盟

福岡教区 聖マリア大会

2月11日(木)午後1時より
『マリアの年』にあたり、聖母マリアをたたえるために集いましょう
場所 福岡カテドラル・センター

『福音を生きる』 学びと分かち合い』

再開のお知らせ
日時 毎月第四日曜日 午後2時〜4時半 (1月24日より)
会場 福岡カテドラル・センター
講師 Z・イエール神父(サン・スルピス 大神学院教授)
主催 福岡地区信徒協(福音宣教推進部会)

聖体礼拝への招き

師イエズス修道女会の聖堂では、次の意向で聖体礼拝が捧げられています。
一人でも多くの方と一緒に祈りの輪をあげ、「一つになるように」とのキリストの祈りが実現されるように願っています。

小鳥でさへも巢は恋し、まして青空、わが国よ、うまれの里の波羅葦増雲 上田敏 訳

森山 敬三
『海潮音』に故国と題して所収。テオドル・オパネルの詩を訳したもの。彼は十九世紀の南仏の詩人。波羅葦増雲はポルトガル語で天の娘で、カトリック信者になった小堀杏奴の随筆によれば、サルヴェ・レデナ、元后橋み深き御母は、彼の詩に在り。『我が国』は、彼の詩に在り。

主の洗礼

山内 清海

「神父様、マラソン人生では面白くありませんよ。もっとゆとり歩いたら、また違った人生がありますよ。この機会にもう少しゆとり歩こうとどうですか。」
このことばは、三年前、全く予期せぬ病に倒れ、苦しむ病室生活を送るなかで、わたしたしを見舞いに来てくれた友人のことばです。友人はわたしたしを慰め、かじわたりはひとり考え込んでしまっていました。友人の「マラソン」ということばが、かつてわたし自身しほらけながらつづけてきた「ジョギング」を連想しました。

さて、ここで踏みつけられ、無視されている自然が、もし人間に置き換えられたらどうなるでしょうか。考えただけでも背筋の凍る思いがします。しかし残念ながら、このようなことは、いろいろな形で、わたしたちの日常生活のなかでも起きています。昔から「欲呼の声に迎えられ、勝利の将軍の陰には、多くの兵士の死がある」といわれます。自分の利益のために、他人の幸福を犠牲にして、他人の心を傷つけ、その人々を苦しめる人は別として、他人のために生き、他人への奉仕に徹している、と自負する人々でも、無意識のうち他人の犠牲を必要とします。わたしたちも、キリストのこのような生き方を、できるだけ実践したいものです。

（サン・スルピス司教大神学院教授）

編集室から

教区報編集員一同より、主のご降誕と新年のお慶びを申し上げます。

中央出版 福岡支部
■キリスト教関係、書籍、家庭の友
■典礼聖具
■ビデオ、カセット・テープ
〒810 福岡市中央区小笹4丁目11-11 聖パウロ修道会内 TEL 092-531-0899

任意保険に加入してから車の運転を致しましょう。
自動車、火災、傷害、海外旅行傷害保険、保育園、幼稚園児を守る、企業賠償保険・疾病保険
福岡市城南区樋井川3丁目17-10 大石保険事務所 大石真澄 TEL 092-552-8195

各種高圧ガス・溶接材料・その他
松尾産商株式会社
社長 松尾光敏
北九州市若松区藤ノ木1-4-24 TEL 093-771-3657

信者の皆さん今年もどうぞ宜しく
（株）メガネの正視堂
行橋市駅通り本店 ☎2-0646
行橋市駅前5秒店 ☎2-2390
北九州市黒崎年金病院前店 ☎641-4321
北九州市黒崎駅前名店街店 ☎641-7177
北九州市ダイエー城野店3階 ☎922-5637

未来へ—安心を創る
FUJIKI 藤木工務店
福岡支店 〒812 福岡市博多区博多駅南3-1-1 TEL 092-441-6585 (代表) 取締役社長 藤木 鐵三 福岡支店長 藤倉 良夫

吉川病院
院長 吉川 東陽
福岡市中央区平尾四ツ角 TEL 092-521-0568



平田司教認可
発行所 福岡市中央区浄水通39
福岡司教館
発行人 福岡司教館 義
力 渡辺 隆
編集 人 渡辺 隆
電話 092-522-5139
電報 福岡3-42981
定価 一部60円

今月のみことば
主はいつくしみのもの
あわれみのもの……
愛にみちたもの
(詩編145・8)
黙想の家 マテオ神父

「教区司牧評議会」設置を提言

セクターの有効な活用も

京都で開催された「第一回福音宣教推進全国会議」の答申に対する、司教団のこたえが出されたのを受けて、1月9日午後3時から7時まで、全国会議の教区代表者十二名が平田司教と司教館で、懇談会をもち、これからの教区の課題について話し合った。



司教団は、全国会議へのこたえとして「ともに喜びをもって生きよう」とのメッセージを発表し、答申されたことに、早速にかつ具体的に対応したいといっている。また、答申内容に、司教団として取り組むべきことと教区、小

札幌教区に新しい教区長

ペトロ 地主敏夫 司教叙階



札幌教区長・富沢孝彦司教の定年にもない岡山教会主任の地主敏夫が後任司教に叙階。1月15日、札幌市のパーク・ホテルでの叙階式はW・A・カルー大司教臨席のもと東京教区長・白柳誠一大司教の主司式で行われ、平田三郎司教も列席した。新司教は「教区民だけの教会でなく、全道民のために司祭、修道者、信徒と共に考え、行動し教区内外の問題に立ち向かっていきたい」と所信を表明。

司教団は、全国会議へのこたえとして「ともに喜びをもって生きよう」とのメッセージを発表し、答申されたことに、早速にかつ具体的に対応したいといっている。また、答申内容に、司教団として取り組むべきことと教区、小



福岡教区修女連 恒例の年頭研修会を1月15日に司教館で開催した。ことしの集会は、第一回福

教会の動きに大きな関心

ナイス報告会に一七〇名参加

福音宣教推進全国会議に修女連の代表として出席した三名の報告をきくという中で、当日はあいにくの小雨模様にもかかわらず、各地区から一七〇名余りが参加した。

福岡教区
聖マリア大会
2月11日 午後1時
講話 山内清海 師司教
ミサ 司式 平田三郎 司教
場所 福岡カテドラル

時の話題

稲垣良典

国際化の高波はひたひたの生活の一部になってしまっている。これは決して誇張した言い方ではない。国際交流にはあまり熱心ではない私のような者でも海外の学者、学生、出版者、出社から孤独立主義、つまり「鎖国」(政治)の通信を毎日のように受けとる。研究的、法律的、経済的、あるいは文化的、精神的のいずれにしても、問題になりえないことにはあきらめがある。この情はちがうけれども、こ

5月の韓国訪問決まる

青年たちと担当司祭団交流会

教区の青年たちと青年担当司祭団の交流会が、1月10日小郡教会のザビエルホールで行われた。この催しは、昨年10月に熊本天徳(菊池郡西合志町)で行われた「一教区青年体育祭」の慰労と、今後の取り組みを話し合うためのもので、熊本、北九州、佐賀、福岡、筑後の各ブロックの青年たち



あいつ。続いて、今年5月のゴールデンウィークに企画されている「福岡教区と韓国の青年との交流」について経過報告があった。「韓国の青年との交流のために司祭団が音頭をとって準備していること」「今回の韓国訪問は、韓国の教会の青年たちの信仰生活にふれることが目的であり、そのためにホームステイも取り入れたい。受入れ先の教会も具体的な呼びかけは、などの意見が出された。

司祭叙階25周年を迎えた百村等神父の銀祝記念ミサと祝賀会が、1月18日聖パウロ修道会福岡修道院で行われた。記念ミサは、平田三郎司教が司式し、新院長の塚本孝夫神父が説教。その中で、百村神父の、キリスト教に関わる切手収集、ロザリオあみなどのタレントも紹介された。ミサ後祝賀会が催され、会場には百村神父が、世界各地から集めたマリアにちなんだ切手が展示された。



(写真中央が百村神父)

みちくさ

昨年十一月に開催された「第一回福音宣教推進全国会議」の答申にこたえて、司教団は、「ともに喜びをもって生きよう」とのメッセージを発表した。素早い反応も感じた▼福岡教区でも、新年早々、さきの全国会議に参加した代表者たちが集まり、教区のためにならぬかの具体的な提言をしようと、司教との懇談会もたれた。約四時間にわたって行われた触れ合は、全国の教会の生の声に触れた後だけに白熱した▼そのなかで、教区の聖職者・信徒から成る「司牧評議会」の設置について論議されたが、この問題がどう処理されるのか注目したい。他の教区ではすでに実施されているものだが、福岡教区では、三年前の司祭評議会が規約ができた後、出番を待たされている▼皮肉に聞かせるかもしれないが、今日まで実現がのびのびになったことは誤理的である。なぜなら、司教・司祭・信徒・修道者、ともに折り、考え、生きることが教会の本来の姿であると言ふ全国会議の精神を即実行に移すよい機会が与えられたからである▼ただ、規約によると「司牧評議会」は定例会が年一回の司教への諮問機関である。このため諮問されたことを具体化し実践する実行機関、また信仰養成や家庭問題などにもいつまでも対応できる常設の機関、たとえば「宣教・司牧センター」のようなものが必要だろう。この実行現場での司祭・信徒・修道者の協働体制の早急な確立こそ教区の活性化のきざしと思われ▼これまで、教区の方針や活動、行事の立案、企画はほとんど司教・司祭のあいだでなされてきた。信徒や修道者は司祭たちが主だったことを手伝う役割が主だった。しかしこれからは、宣教・司牧の問題でも、ともに考え、汗を流す真の対話、協働を目指す小教区において始められるべきものであると思う。

'87ナイスに参加して 私にもできること

佐々木 智子 (戸畑教会・青年)



青年代表の佐々木さん
励ます平田司教

それぞれのナイス

ナイスが開かれて、早数か月が過ぎようとしています。教区報やカトリック新聞でナイスの報告の記事をお読みに

なり、皆さまは、どうお感じになられているでしょうか？ ひよんな事から、青年代表に選ばれた私は、この教会にでもいるような普通の社会人です。少教の肩書きのない信徒として参加し、いろいろな事を感じ、体験できたことは、私にとって大きなお恵みだと感じ、心から皆さまに感謝しています。

意見の違いを 越えさせたもの

ナイスって何だろうって、ずっと答えがでないまま、問い続けていました。いきさつや趣旨を読んで、頭では理解できても、じゃあ

私は何をすればいいの？と不安とまどいで一杯でした。とにかく行ってみようよ……そんな思いで会議にのぞきました。会議の中で一番強く感じた事は、とにかくいろいろな人がいるってこと。もちろん、北海道から南は沖縄まで、各地から集まってきて、おまけに司教さまから司祭、修道士、信徒まで。(よくもまああんなに集まったものだと感心するくらい……こんな事言ったらおこられるかも……)一人ひとりがそれぞれの方、生き方を持っていて、こと、つくづく実感しました。今までは、一つ一つ、良い形にまとめようとする気持ちに強くあつた私です。そこにつれ、意見の衝突や、価値観の違いから生まれてくるぶつかり合いを目の前に感じ、だんだんと息がつまりそうになるくらい辛い何もしゃべれなくなり、それを受け入れようとして一杯一杯でした。

……部分は色々あっても、体は一つなのです。私たちにそれぞれ役割、そして一つの体。(一コリント12章)のたとえ、ふつと体が軽くなり、いままでの絶望が喜びへと変わっていき、自分自身に互いを尊重し合ひたい、いままでの絶望が喜びへと変わっていき、自分自身に互いを尊重し合ひたい、いままでの絶望が喜びへと変わっていき……

……部分の色々あっても、体は一つなのです。私たちにそれぞれ役割、そして一つの体。(一コリント12章)のたとえ、ふつと体が軽くなり、いままでの絶望が喜びへと変わっていき、自分自身に互いを尊重し合ひたい、いままでの絶望が喜びへと変わっていき……



聴く司教団

一人ひとりが 大切にされるように

教会の中で司教と司祭、司祭と信徒、大人と青少年、ナイスって、互いに知り合おうとする事から始まるのかも知れないナイスです。若者が大きい口をたたいてと思われるかも知れませんが、これもナイスのお恵みだと思つて、目をつむってください。

……部分の色々あっても、体は一つなのです。私たちにそれぞれ役割、そして一つの体。(一コリント12章)のたとえ、ふつと体が軽くなり、いままでの絶望が喜びへと変わっていき、自分自身に互いを尊重し合ひたい、いままでの絶望が喜びへと変わっていき……

みなし児マリア様

鶴野 泰年

「事情がありまして、このマリア様を拜めなくなりまして、粗末にならないようにどなたか御信者の方にお引き取り願えないでしょうか。よろしくおねが

なし児になったんですね。不幸にも家庭崩壊に打ちのめされ、途方に暮れていた彼女に、このマリア様と出逢いは、ひとしおだったに違いない。「マリア様は、この祭壇で私を待っていてくださるんですね」と言

あれから八年、三人の子どもを快く引き受けてくれた新しいご主人と、離婚という重荷の中で、いまだ、幸せな日々を送っていません。ご聖体を受けるたびに、苦しみを捧げながら、周りの、苦しむ人たちのために一生懸命、ご主人も洗礼を受けたいと、涙ぐましい努力でも、これらの恵みがいつ与えられるのか私にはわかりません。あんなに私に近づいてくれたマリア様が、いなくなるとかして下さるでしょう。見捨てられた人びとと、苦しみを共にするために捨てられたマリア様！どうぞ彼らのことをよろしく頼みます。

……部分の色々あっても、体は一つなのです。私たちにそれぞれ役割、そして一つの体。(一コリント12章)のたとえ、ふつと体が軽くなり、いままでの絶望が喜びへと変わっていき、自分自身に互いを尊重し合ひたい、いままでの絶望が喜びへと変わっていき……

不思議な召し出し 心の広い司祭に

直前インタビュー ☆ 森山信三司祭に聞く ☆

編集部では、来る3月21日、司祭叙階を受ける予定の森山信三司祭を、神学生生活の最後を静かに送っている福岡市城南区のサン・スルピス大聖堂に訪ねました。

……部分の色々あっても、体は一つなのです。私たちにそれぞれ役割、そして一つの体。(一コリント12章)のたとえ、ふつと体が軽くなり、いままでの絶望が喜びへと変わっていき、自分自身に互いを尊重し合ひたい、いままでの絶望が喜びへと変わっていき……



森山信三司祭

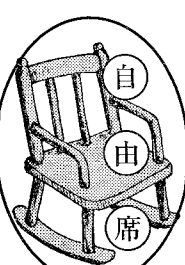
……部分の色々あっても、体は一つなのです。私たちにそれぞれ役割、そして一つの体。(一コリント12章)のたとえ、ふつと体が軽くなり、いままでの絶望が喜びへと変わっていき、自分自身に互いを尊重し合ひたい、いままでの絶望が喜びへと変わっていき……

フィリピンの 小さな クリスマス

(前)

遠いフィリピンのバギオ村で奉仕活動を行っている聖母訪問会のクリスマス諏訪から、昨年末、近況をメッセージと共に、近況を伝える手紙が届きました。みなさんにもご紹介したく、自由席を借りることにしました。二回に分けて連載します。(編集部)

……部分の色々あっても、体は一つなのです。私たちにそれぞれ役割、そして一つの体。(一コリント12章)のたとえ、ふつと体が軽くなり、いままでの絶望が喜びへと変わっていき、自分自身に互いを尊重し合ひたい、いままでの絶望が喜びへと変わっていき……



……部分の色々あっても、体は一つなのです。私たちにそれぞれ役割、そして一つの体。(一コリント12章)のたとえ、ふつと体が軽くなり、いままでの絶望が喜びへと変わっていき、自分自身に互いを尊重し合ひたい、いままでの絶望が喜びへと変わっていき……

……部分の色々あっても、体は一つなのです。私たちにそれぞれ役割、そして一つの体。(一コリント12章)のたとえ、ふつと体が軽くなり、いままでの絶望が喜びへと変わっていき、自分自身に互いを尊重し合ひたい、いままでの絶望が喜びへと変わっていき……



……部分の色々あっても、体は一つなのです。私たちにそれぞれ役割、そして一つの体。(一コリント12章)のたとえ、ふつと体が軽くなり、いままでの絶望が喜びへと変わっていき、自分自身に互いを尊重し合ひたい、いままでの絶望が喜びへと変わっていき……

黙想の家告知板

※神さまの響きの中で、

※一泊黙想 (毎月第2土曜日)

※日帰り黙想 (婦人のため)

毎月第2・4月曜日

詳細は福岡黙想の家 871-7108へ

ひとりで悩まないで
きぼうの電話
(092)865-1212

(生き方・家庭・学業・仕事・恋愛・宗教)

月水金 午前11時~午後4時 午後8時~10時

福岡黙想の家

熊本石材株式会社

熊本市島崎4丁目2ノ68

電話 096-352-3306
096-352-8622

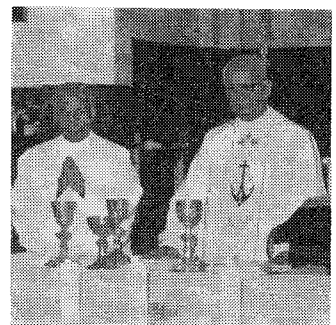
式典・花

木下株式会社

福岡 (712) 8022 久留米 (33) 7401
佐賀 (30) 4040 小郡 (72) 3482

ナイスの提言を活かす年

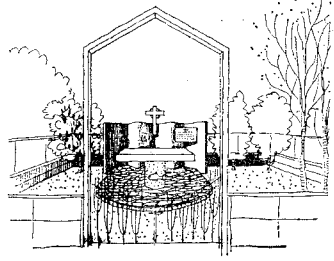
新年集会のミサで司教が抱負



例年ない暖冬の1月12日(火)に司教の新年集会が行われ、平田三郎司教をはじめ、教区内の司教、修道士連盟、信徒使徒職協議会の代表者など、約80名が参加した。11時から浄水通教会で捧げられたミサ中の説教で、平田司教は、昨年の京都での第一回福音宣教推進全国会議にふれ、次のように語った。「今年はずいぶん提言を活かす年となるべきです。そのためには、現代社会の中で、人々がどういこうと喜び、あるいは苦しんでいるのかをよく見きわめるべきです。現代の教会は多くの問題をかかえています。特に青年たちの教会離れ、家庭の崩壊などがそうです。こうした問題を

本郷に殉教記念碑

ジョアン又右衛門をたたえて



大刀洗町

奥州藩の伊達政宗から追放され、禁教後は筑後地方でキリストを伝え、大きな感化を及ぼして殉教したと伝えられているジョアン又右衛門の殉教記念碑の除幕・祝賀式が、昨年12月28日、大刀洗町本郷流川の殉教の地で行われた。式には平田三郎司教、本郷教会主任の堤敏雄神父をはじめ、近隣の司祭たちや信者が多数参加した。平田司教は、あじさつの中でジョアン又右衛門の殉教をたたえながら、「この殉教の地が観光地ではなく、巡礼地、祈りの地になってほしい」と訴えた。

信徒の養成について

松本三郎 (京都教区司祭)

「信徒の養成」の問題は、められ、育てられる必要があつたに「信徒の養成」とか「信徒養成」だけでは、結婚前の教育はよくやる育は十分になされていまいやうです。本郷は結婚してからの方が、いろいろな問題に直接に、第二バチカン公會議が信徒に遭遇するのですから、重要だと思ふのですが、「求道者」という言葉にも問題がありそうです。洗礼を受ける求道者でなくなつてしまふのでしょうか。洗礼はゴールではなく、スタートなのです。ところで、第二バチカン公會議後、教会のものの見方、生活に入っていく度、生活に入っていく度、第二バチカン公會議後、第二バチカン公會議を生

信仰はいのち

「信徒の養成」の問題は、められ、育てられる必要があつたに「信徒の養成」とか「信徒養成」だけでは、結婚前の教育はよくやる育は十分になされていまいやうです。本郷は結婚してからの方が、いろいろな問題に直接に、第二バチカン公會議が信徒に遭遇するのですから、重要だと思ふのですが、「求道者」という言葉にも問題がありそうです。洗礼を受ける求道者でなくなつてしまふのでしょうか。洗礼はゴールではなく、スタートなのです。ところで、第二バチカン公會議後、教会のものの見方、生活に入っていく度、生活に入っていく度、第二バチカン公會議を生

新成人を祝う集い

福岡

福岡ブロック青年の成人式が、1月17日(日)大名町の会館で行われ、26名の新成人が、他に、司祭、修道士、信徒など、約120名が参加してミサとパーティを行い、新成人の門出を祝った。ミサは、平田三郎司教が司式し、「堅信で、すでに信仰の大人となりましたが、成人というところで、法律的にも大人となりまして、大人となった、教会を愛し、信仰の喜びを人々に伝える者になつてほしい」と励ました。

指紋捺捺拒否

福岡

指紋捺捺(おうなつ)を拒否している粕屋郡の在日韓国人、李幸宏さんの裁判を支援し、外国人登録法の不合理性、差別などを訴えようという「李幸宏君の指紋捺捺拒否裁判を共にすすめる会」の結成集いが、1月17日、カテドラルセンターで開かれた。この集会には約150人が参加したが、自らも捺捺を拒否していたが、自らも捺捺を拒否しているポール神父(人吉教会)も出席し、「小さな人々の連帯」を訴えた。

仮結婚

福岡

「仮結婚」という言葉が、あつて、どこで、だれが使いたか知らないうつけなげればいけない言葉である。ちなみに、その意味を辞書で引いてみると「しづかに。一時。まにあわせ。にせ。いつわり」とある。「仮結婚」という言葉は、だいたい次のような意味で使われているようだ。まず、信者でない人の結婚。また、信者であっても教会外で結婚する場合。これを「自由結婚」と言ったりするが、この言葉もおかしい。さらに、教会で結婚したとしても、相手は信者でない場合。

佐賀市のデパートで「アイコン展」

福岡

この催しは佐賀カトリック教会主催、佐賀新聞社後援によるもので、これまで教会施設以外の会場で催されたのは初めて。アイコンは、六世紀ごろから十四、五世紀をピークにキリスト教東方教会、主としてギリシアとソビエトで作られた板絵を指す。今回展示されたものは、福岡・浄水通教会、泉類治神父が所蔵するアイコン約三百三十

カルメル会

福岡

昨年のクリスマススイブ、観想修道院であるカルメル会福岡修道院で町内子供会のクリスマス集いが行われた。町内の親たちの「物に溺れかかっている子供たちに本當のクリスマスを見せてやりたい」という願いに、カルメル会が門を開いたのである。御受難会の鈴木忠一神父が司式する。みこはの祭儀に子供26名、大人20名(うち信徒一家族)が参加。小さな

愛といのち

福岡

本書はキリストの教えが、いかに愛といのちに満ちているかを人々の心のうちにひき起こし、今も生きておられる神との出会いへと導くものであることを、16の話でやさしくまとめている。著者がキリスト教信仰案内講座をはじめ四十年になるが、その間の話を手軽に取って読めるものになっている。今までのキリスト教入門書とちがってサイズは文庫本。(聖母の騎士 五〇〇円) 聖パウロ書院 営業ご案内 平日 10時~18時 日曜日 10時~16時 定休日 毎週水曜日 ご来店お待ち申し上げます

ワンポイント教会法

山元神父の

「仮結婚」という言葉がある。どこで、だれが使いたか知らないうつけなげればいけない言葉である。ちなみに、その意味を辞書で引いてみると「しづかに。一時。まにあわせ。にせ。いつわり」とある。「仮結婚」という言葉は、だいたい次のような意味で使われているようだ。まず、信者でない人の結婚。また、信者であっても教会外で結婚する場合。これを「自由結婚」と言ったりするが、この言葉もおかしい。さらに、教会で結婚したとしても、相手は信者でない場合。

BOOK 読み専科

喜びの福音
ガエタノ・コンプリ著

「わたしはむずかしい話が好きです。学者はむずかしい話が好きですが、イエスはやさしかったのです」と著者は言っています。キリスト教をむずかしく考えている人々。とくに若者のために書き下ろした、キリスト教の核心30章。明るくわかりやすく問題を説明しながら一問一答でまとめている。章のはじめに漫画を入れてるので、息抜きペーJとして楽しめる。(ドン・ボスコ社 八〇〇円)

総合建設業 八千代建設株式会社

取締役社長 田中清
取締役副社長 渡辺勝三郎

〒810 福岡市中央区薬院3-2-9 TEL 092-531-1231

祭壇・洗礼盤他

石のパイオニア 高木石材株式会社
〒860 熊本市段山本町2-21 TEL 096-352-2417

会合と催し

二月の行事

- ※コチックは司教日程
- 1日 北九州司教集会
- 2日 司教評議会
- 7日 福岡地区青年会集会 (司教館)
- 11日 聖マリア大会 (福岡カテドラル)
- 14日 ナイス説明会 (福岡カテドラル・センター)
- 17日 灰の水曜日 大斎小斎 堅信式 (茶山)
- 21日 水巻幼稚園理事會
- 教区青年委員会(小郡)
- 熊本地区信徒徒職協 議会(手取)
- 3月1日 司教集会
- 福岡黙想の家
- 7日 祈りの集い
- 8日 婦人のための日帰り黙想会(マテオ神父)
- 10~11日 聖母カテキスタ会 研修
- 13~14日 四旬節準備黙想会

「マリアの年」をみんなで祝いましょう

福岡教区 聖マリア大会

2月11日(木) 午後1時より

第1部 講話 山内 清海 神父 (サン・スルピス大神学院教授)

※講話の後、聖母マリアについて、マリアへの信心について、質疑の時間を設けます。

第2部 ミサ 司式 平田三郎司教

場所 福岡カテドラル・センター 092-741-3687

教区青少年担当司祭団主催

日韓カトリック青年交流会

参加者募集

日時 昭和63年5月2日(月)~5月5日(木)

訪問地 韓国ソウル

対象 福岡教区内の青年

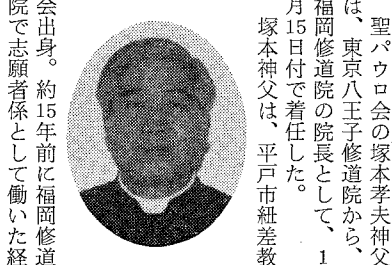
定員 20名

参加費 8万円(旅費、宿泊費、ビザ代含む)

申し込み締め切り 3月末日

問い合わせ先 川上惣一神父(大名町教会) 092-741-3687

「知恵の書」の著者は「その心は灰であり、その生活は粘土にも劣る」(15・10)と表現しています。また、エゼキエル預言者が、たかまを表現するために使用された「灰」の意味で、たとえ「灰」にかえてしまっても同じ理由により「灰」の民の娘よ、粗布を身にまとい、灰のなかをころがれ、喪に服して悲しみ嘆け(6・26)と記されていますが、この灰の上で、悔やむ(42・5)と祈っています。



黙想の家の新院長に 御受難会の島基幸神父が、宝塚市布修道院から福岡黙想の家の新院長として着任した。同神父は、3年前に小倉教会で一年間働いたこともあり、「小倉教会の皆さんには、この小教区をお任せすることになります」といっている。



御協力お願い 司祭・助祭叙階後の祝賀会の方法について 例年、司祭叙階後の祝賀パーティーは、オープン形式で行っていましたが、諸般の事情により、本年度から、一般参加者(修道者・信徒)にはパーティー券をご購入願うことになりました。

洗者ヨハネ山川庄之助氏 山川辰幸師(西新教会)の尊父で享年83歳。1月18日、長崎県水の浦教会で葬儀、告別式が執り行われた。

編集室から ◆ナイス(福音宣教推進全国会議)の参加者と平田司教様の懇談会は、本音の対話で、熱を帯びたものでした。◆ところで、皆さんはこの全国会議の答申とこれに対する司教団のこたえを読まれたでしょうか。司教団のこたえは「ともに喜びをもって生きよう」との小冊子(六〇円)のかたちで出されています。◆一年間、編集員のひとりとして、教区報を手伝ってくださったシスター手嶋(聖パウロ女子修道会)は、東京へ転任です。新しい任地のご活躍をお祈りいたします。◆3面に、昨春秋に熊本県阿蘇で行われた、教区全司祭研修会での松本三朗神父様(京都教区司祭・中央協議会企画推進部長)の講演の要旨を連続掲載いたします。「信徒の養成」というタイムリーなテーマをみんなで考えてみたいものです。(W)



来たる二月十七日の「灰の水曜日」から、今年もまた四旬節が始まります。ところで、「灰」というものは、古代から他の多くの宗教でも使用されており、その意味は、宗教的にも多義的で、あいまいだといえます。そこで今回は、この「灰」の典義の意義について考えてみましょう。

灰の水曜日

旧約聖書で、「灰」は、しばしば「ちり」と関係づけられたり、あるいは同一視されていますが、まず「罪人の心」を表現するために、もっとも多く使用されています。たとえば、イザヤ預言者は偶像崇拜者を「かれは、灰で満足している」(44・20)といい、また

己のむなしさと、回心の情を表現するために、「灰」を使用するようになり、旧約時代の人は、このような「灰」をかぶる行為によって、「ちり」と「灰」にすぎない自分が、神に反抗して罪を犯した愚かさや嘆き、罪を告白し、悔い改めを公的に表現していたの深め、神の招きに応えるよう

このように考えます。わたしは、灰を、わたしたちの頭、あるいは額にかけながら唱えるように、わたしたち自身「ちり」であり、ちりに帰って行く。人間の現実的価値と真の姿を自覚し、「心して福音を信じ」、キリストの福音を忠実に生きなければなりません。(サン・スルピス司教)

山内 清海 長崎巡礼のお知らせ 福岡ブロック高校生 3月25日~26日 35名の予定 対象 (新) 高校一年生~三年生(今春卒業予定者も歓迎) 会費 一人三、五〇〇円 集合場所と時間 大名町教会、午前8時 連絡先 山内聖治神父 092-531-0924

「知恵の書」の著者は「その心は灰であり、その生活は粘土にも劣る」(15・10)と表現しています。また、エゼキエル預言者が、たかまを表現するために使用された「灰」の意味で、たとえ「灰」にかえてしまっても同じ理由により「灰」の民の娘よ、粗布を身にまとい、灰のなかをころがれ、喪に服して悲しみ嘆け(6・26)と記されていますが、この灰の上で、悔やむ(42・5)と祈っています。

灰の水曜日

己のむなしさと、回心の情を表現するために、「灰」を使用するようになり、旧約時代の人は、このような「灰」をかぶる行為によって、「ちり」と「灰」にすぎない自分が、神に反抗して罪を犯した愚かさや嘆き、罪を告白し、悔い改めを公的に表現していたの深め、神の招きに応えるよう

このように考えます。わたしは、灰を、わたしたちの頭、あるいは額にかけながら唱えるように、わたしたち自身「ちり」であり、ちりに帰って行く。人間の現実的価値と真の姿を自覚し、「心して福音を信じ」、キリストの福音を忠実に生きなければなりません。(サン・スルピス司教)

御協力お願い 司祭・助祭叙階後の祝賀会の方法について 例年、司祭叙階後の祝賀パーティーは、オープン形式で行っていましたが、諸般の事情により、本年度から、一般参加者(修道者・信徒)にはパーティー券をご購入願うことになりました。

洗者ヨハネ山川庄之助氏 山川辰幸師(西新教会)の尊父で享年83歳。1月18日、長崎県水の浦教会で葬儀、告別式が執り行われた。

編集室から ◆ナイス(福音宣教推進全国会議)の参加者と平田司教様の懇談会は、本音の対話で、熱を帯びたものでした。◆ところで、皆さんはこの全国会議の答申とこれに対する司教団のこたえを読まれたでしょうか。司教団のこたえは「ともに喜びをもって生きよう」との小冊子(六〇円)のかたちで出されています。◆一年間、編集員のひとりとして、教区報を手伝ってくださったシスター手嶋(聖パウロ女子修道会)は、東京へ転任です。新しい任地のご活躍をお祈りいたします。◆3面に、昨春秋に熊本県阿蘇で行われた、教区全司祭研修会での松本三朗神父様(京都教区司祭・中央協議会企画推進部長)の講演の要旨を連続掲載いたします。「信徒の養成」というタイムリーなテーマをみんなで考えてみたいものです。(W)

中央出版 福岡支部

- キリスト教関係、書籍、家庭の友
- 典礼聖具
- ビデオ、カセット・テープ

〒810 福岡市中央区小笹4丁目11-11 聖パウロ修道会内 TEL 092-531-0899

任意保険に加入してから車の運転を致しましょう。自動車、火災、傷害、海外旅行傷害保険、保育園、幼稚園児を守る、企業賠償保険・疾病保険

福岡市城南区樋井川3丁目17-10 大石保険事務所 大石真澄 〒815 TEL 092-552-8195

各種高圧ガス・溶接材料・その他

松尾産商株式会社

社長 松尾光敏

北九州市若松区藤ノ木1-4-24 TEL 093-771-3657

信者の皆さん今年もどうぞ宜しく

(株)メガネの正視堂

行橋市駅通り本店 092-0646
行橋市駅前5秒店 092-2390
北九州市黒崎年金病院前店 093-4321
北九州市黒崎駅前名店街店 093-7177
北九州市ダイエー城野店3階 092-5637

未来へ—安心を創る

FUJIKI 藤木工務店

福岡支店 〒812 福岡市博多区博多駅南3-1-1 TEL 092-441-6585 (代表)
取締役社長 藤木 鐵三 福岡支店長 藤倉 良夫

吉川病院

院長 吉川 東陽

福岡市中央区平尾四ツ角 TEL 092-521-0568



平田司教認可
発行所 福岡市中央区浄水通39番地
福岡司教館
発行人 福岡司教館
電話 092-522-5139
福岡3-42981
定価 60円

今月のみことば
あなたがたは地の塩
世の光である
(マタイ5・13・14)
若松 マルセル神父

教会観の転換が必要

司教、四旬節教書で説く

四旬節教書「信仰の喜びの源泉」で、平田司教は、教会に喜びと魅力がないのは、今、私たちが抱えている教会観の問題であると指摘し、第二バチカン公会議が教えている、信仰と愛による「交わり」としての教会「理解を深めるために、聖書(いのちの言葉)に親しみ、宣教する教会の交わりに積極的に加わる」と呼び掛けている。(編集部)

信仰の喜びの源泉



第4留 イエズスおん母にお会いになる

教書は、ま イエズスに言及し、「外に向かずに、昨年11月に開催された(家族)の者の脱出をどうした「福音宣教推進」の防壁が問題だ」との一部進全国会議(ナ)の声を、内向き姿勢ではな

教区司牧評議会

4月中の発足を目指す

司教評議会

今年初めての司牧評議会が、2月2日、司教館で開かれ、平田司教をはじめ15名の委員が出席した。

会議に先立って、司教は、先ごろ出された、ナイス(福音宣教推進全国会議)の答申にこたえる司教団のメッセージ「ともに喜びをもって生きよう」を手に、教区としての優先課題を考えていただいたこと、と要望。

これにこたえて、懸案となっていた「教区司牧評議会」発足の具体化が検討され、今年度の復活祭後、4月中の発足を目標することになった。

司牧評議会は、これまでの司教評議会、修道女連盟、信徒使徒職協議会の独自性を認め、欠けていた教区レベルでの相互の連絡、協力体制の確立を目指す。この協力体制の確立はナイスの精神に沿うものであり、なおいくつかの問題も残されているもの、「まず始めてみる」と一致した。評議委員は以下の構成になる模様。

各地区長3(1)、各地区司牧代表4(4)、各地区修道代表5(3)、各地区

司牧評議会委員の任期は2年で、教区長の諮問機関と位置づけられている。

このため、各種委員会(広報、社会福祉、人権福祉、家庭、青少年、典礼)の設置問題は司牧評議会に委ねられることになった。

昔は三月といえ卒業を連想したが、最近では二月からひきつらぬ受験の季節というふうにならざるを得ない。大学入試はしばしば新聞やテレビのニュースでとりあげられ、週刊誌は「有名大学の合格者のリスト」を特集する。受験する学生や家族の生活は、受験の季節にまでなるといえる。受験の季節は、国民は、法律の定めるところにより、その能力に応じて、ひとしく教育を受ける権利を有する」と規定しており、入学試験はこの「教育を受ける権利」を行使する機会である。

時の話題

稲垣良典

正義にならなかつた仕方では根本的にどうにも考えられない。日本国憲法は第二十六条で「すべて国民は、法律の定めるところにより、その能力に応じて、ひとしく教育を受ける権利を有する」と規定しており、入学試験はこの「教育を受ける権利」を行使する機会である。

しかし、私はすでにわかりきったことだといわれるかもしれないが、教育を受ける権利についてあらためて考えることを提案したい。人間はだれでも生れながら知りたという欲望があり、また知る能力を備えている。だから、当然そうした欲望をみた

め、自分のできることは何か? 問いつけていこう。語り、深掘り師は「教会」と「信徒の集まり」である。言うことより行うことを大切にし、と力説した。平田司教は「答申全体を詳しく説明。最後に、みことばを聴き、洗礼に受けつらぬ福音宣教の使命を自覚し、実行にあつての恵みを祈って閉会した。」

1月31日、佐賀教区に信徒、司教、修道者約二百人が参集。午前11時から平田司教と七人の司教によるミサ。ついで婦人会などの協力によって幼稚園に準備された百円のカレーライスやうどんなどで桜井太郎氏が答申と司教団の審議結果を記した「ともに喜びながら生きよう」を要約した一覧表を全員に配布し、それをもとに報告。A・D・E・F・G・H・I・J・K・L・M・N・O・P・Q・R・S・T・U・V・W・X・Y・Zと語り、平田司教は「回復には、これまでの信頼関係の基礎を点検し、取り替えることが肝要だ」と語り、言葉は生きている。生きていくから人を生かすこともできる。生きていくから一人歩きを止める。だからこそ、褒め言葉にして、自分の発した言葉が、より大きな力となる。帰ってくることだけはこころしておきたい。

盛大に「聖マリア大会」

各地から七百名集う



昨年の聖霊降臨(6月7日)の主日に始まった「マリアの年」を祝う福岡教区の式典が2月11日の午後一時より、カテドラル大聖堂で行われた。式は、第一部としてサン・ルピウス大聖堂の山内清海神父が「救い主の母」と題して講演。

第二部では、平田三郎司教主式の聖母ミサが行われた。佐賀、新田原などからも貸し切りバスやマイクロバスでぞくぞくと到着。カテドラルセ

ンターの講堂で待参の弁当をひろげる風景は「我が母マリア」を慕う人々にふさわしい、明るさと温かさで溢れていた。

第一部で山内神父は「神の母、聖マリア」(「仲介者、聖マリア」)「私たちが母、聖マリア」(「正しいマリア信心」)(5月号より、いぶき)で連載予定)について話した。

【熊本地区】
ナイス終了後でもない昨年12月6日、手取教会で行われた熊本地区信徒使徒職協議会において、J・プロテリック神父、源島栄一氏、シスター作野シズエが会議に参加しての感想を述べ、答申が小教区に一部ずつ配布された。

【北九州地区】
1月24日午後から、寒さの中、明治学院に信徒、司教、修道女約百二十人が参集。青年や婦人の参加が通常より多い。ナイスへの関心の強さがうかがわれた。まず青年代表の佐々木智子さんが「現実をしっかりと見つ

三地区で
ナイス報告会
第一回福音宣教推進全国会議の報告会が、昨年末から今年一月下旬にかけて、熊本、北九州、佐賀の三地区で行われた。どの地区も限られた時間内での報告のため、各自小教区やグループでさらに詳しく答申の内容や、その精神について知る必要がある。

【佐賀地区】
1月31日、佐賀教区に信徒、司教、修道者約二百人が参集。午前11時から平田司教と七人の司教によるミサ。ついで婦人会などの協力によって幼稚園に準備された百円のカレーライスやうどんなどで桜井太郎氏が答申と司教団の審議結果を記した「ともに喜びながら生きよう」を要約した一覧表を全員に配布し、それをもとに報告。A・D・E・F・G・H・I・J・K・L・M・N・O・P・Q・R・S・T・U・V・W・X・Y・Zと語り、平田司教は「回復には、これまでの信頼関係の基礎を点検し、取り替えることが肝要だ」と語り、言葉は生きている。生きていくから人を生かすこともできる。生きていくから一人歩きを止める。だからこそ、褒め言葉にして、自分の発した言葉が、より大きな力となる。帰ってくることだけはこころしておきたい。

【熊本地区】
ナイス終了後でもない昨年12月6日、手取教会で行われた熊本地区信徒使徒職協議会において、J・プロテリック神父、源島栄一氏、シスター作野シズエが会議に参加しての感想を述べ、答申が小教区に一部ずつ配布された。

【北九州地区】
1月24日午後から、寒さの中、明治学院に信徒、司教、修道女約百二十人が参集。青年や婦人の参加が通常より多い。ナイスへの関心の強さがうかがわれた。まず青年代表の佐々木智子さんが「現実をしっかりと見つ

小教区で働く司教にとつて、信徒との信頼関係の崩壊は致命的である。ひとりの信徒との信頼関係の崩壊は、共同体全体にも計り知れない損失をもたらすものとなる。しばしば経験することであるが、キリスト者は同じ神の家族として身内なるがゆえに、互いの憎しみ、痛みも増幅するものである。神の家族に不幸をもたらすのは、不意な「言葉」である。言葉によって信頼を失ってしまったら、一致の力となるべき言葉は、自分の役目を果たせず空しく漂う。言葉を重ねること、不信がつのり、亀裂が深まっていく。それは、もう打つ手がなにかということ、そうでもない気がする。いや、そう思いたい。時々、「○○神父は信頼できない」という話を聞く。そのたびに自分の立場と重ね合わせ、胸がいたむ。「あなたは説教と実生活が結びついていない」と言われる。真実なるがゆえに身の縮む思いがする。信徒との日常のかかわりの中から自戒の念を込めて語りたい。信頼関係の基礎をどこに置くべきなのか。それは、相手の地位や学識、才能であってはならない。ましてや容姿の魅力であってはならない。そんなものを越えたい。つまり「誠実な心」こそこそ信頼関係が成りたつていないところには喜びもない。しかも一度失った信頼を取り戻すことは至難の業である。どこかに自己弁護の盾をもちたがっている。信頼関係の修復には、これまでの信頼関係の基礎を点検し、取り替えることが肝要だと思ふ。言葉は生きている。生きていくから人を生かすこともできる。生きていくから一人歩きを止める。だからこそ、褒め言葉にして、自分の発した言葉が、より大きな力となる。帰ってくることだけはこころしておきたい。



信仰の喜びの源泉

福岡教区長 平田三郎 司教

福岡教区の司祭・修道者・信徒の皆さん

全国の司教と司祭・修道者・信徒の代表が京都に集ま...

制度としての教会観

十六世紀の宗教改革者たちは、人が義とされ救われるの...

交わりとしての教会

洗式やミサの時に唱える古い信仰宣言の中に「信徒の...

「神父様、大晦日の日にマリア様がお着きになりました...

岩手県の一婦人から電話がかかってきた。ルルド巡礼...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

者たちは、キリストによって制定された位階制度、信仰を...

このように考えますと、冷たい、かたがたしい組織・制度としての教会、...

この信仰教育の中心は、魅力あふれるキリストをよ...

このように教会観は、第二バチカン公会議文書のいたる...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

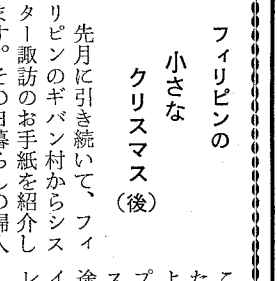
「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...



父から息子へ 司祭になる前に

森山敬三(箱崎教会) 百年前、すなわち一五八七年、九州征討をおえた豊臣秀吉が、九二三年創建された...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

「神父様、私をほめないでください。お互いが最も大切にして...

ご案内 司祭叙階式 3月21日(月)午前11時 福岡カテドラルセンター

心をひらいて イエズさまと 3月12(土)~13(日)、4月23(土)~24(日)

熊本石材株式会社 熊本市島崎4丁目2ノ68

式典・花 木下株式会社 福岡(712)8022 久留米(33)7401

教会一致祈禱週間

各地で合同の祈りの集い

今年「キリスト教一致祈禱週間」は1月18日から25日まで催され、各地で心のこもった集いが開かれた。

ルーテル派の姉妹とカメル会修道女

福岡市のカメル会修道院聖堂で1月19日午後4時よりカトリック・プロテスタントによる、ともに祈る集い「合同祈禱会」が行われた。

「ようこそ！」暖かい出迎のうちに早くから三々五々牧師・司祭・神学生・シスター・信徒たち50余名が集まってきた。ルーテル派の「マリヤ福音姉妹会」のドイツとフィンランド人のシスター二人の姿もあった。

信徒の養成について

松本三朗 (京都教区司祭)

今、日本の教会は新しい時代に踏み込みつつある。ではないか。このあいだのナイスで感じました。

体験を通して学習

教会は信仰を学ぶところだ、ということを実践しておられる神父さまもいらつしやいます。たとえば、徳島のオブレートの神父さまは、子供たちが日曜学校をやっている間に、子供たちの親を連れて、勉強会をしてみたい。毎日曜日30名ぐらいの出席があるという事です。

はじめに分かることがたくさんあると思います。そういう意味で、結婚の体験のない神父が結婚の話をするのは、なんでもありません。私は、結婚講座の大部分を信徒の方に話していただいています。

そういう言語化された部分を教え、伝えることが、信仰を伝えることだと錯覚していた節があるような気がします。

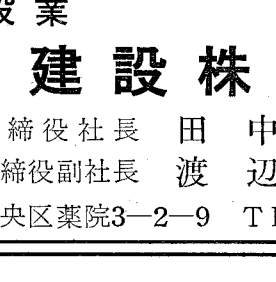
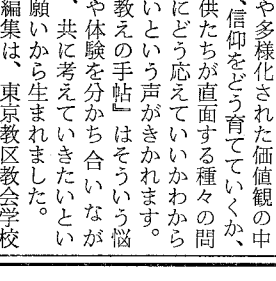
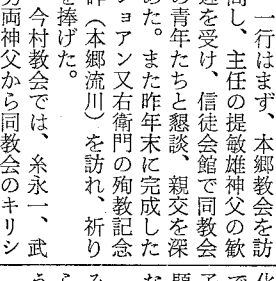
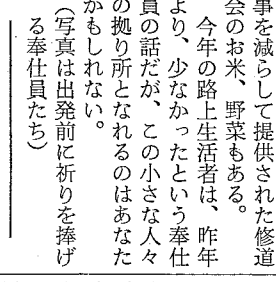
福岡市の大名町教会では、昨年に引き続き二度目の炊き出し奉仕活動を行った。吉塚教会の後援を受けて二月中の毎週火曜日を担当した。

た7名が駅のコンコースから待合室を回っていった時、暴力団8名におにぎりを入れた箱を蹴られたり、襟首を締められるということがあった。

司牧研究会 (1) 北九州地区の司祭の集まりで、司牧研究会を司牧者(特に親)が相手し洗礼を求め、ケースが多くなり、これは問題です。教会法によれば、未信者との結婚は無効ですが、特に日本の場合は信者が少ないので、信者同志の結婚は大へん難しく、そのため多くの場合、結婚前にこの無効障害を免除していただく。このような結婚は、先月号で申しましたように「結婚」ではありません。

「教えの手帖」に毎月書かせていただいている〇〇です。と自己紹介したところ、園長先生以外だれもこの雑誌を知らなかったというので、びっくりしました。というお電話が編集部に来ました。

青年の輪 筑後ブロックの教会の青年たちは、1月10日に久留米市で親善ボーリング大会を催したが、そのとき、本郷、今村教会巡礼を兼ね、両教会の青年たちとの交流会を計画。2月7日に実施した。



「新共同訳は人間的にみて不可能と思われたことが、実際は可能となった。だからこの聖書は、人間が完成させたものでなく、全く神が与えて下さったものです」という話しは印象的であった。

折禱会後の茶話会では、西神学院の司祭、全員の自己紹介などが行われた。なごやかな雰囲気の中で、今後スポーツやその他の面でも交流を深めていこうという声が多数聞かれた。

折禱会では、まず聖歌の合唱に始まり、将来、カトリック教会とバプテスタ教会の司牧者になるとうとする同志が集まり、祈る機会が与えられたことを感謝した。

折禱会では、まず聖歌の合唱に始まり、将来、カトリック教会とバプテスタ教会の司牧者になるとうとする同志が集まり、祈る機会が与えられたことを感謝した。

折禱会では、まず聖歌の合唱に始まり、将来、カトリック教会とバプテスタ教会の司牧者になるとうとする同志が集まり、祈る機会が与えられたことを感謝した。

折禱会では、まず聖歌の合唱に始まり、将来、カトリック教会とバプテスタ教会の司牧者になるとうとする同志が集まり、祈る機会が与えられたことを感謝した。

折禱会では、まず聖歌の合唱に始まり、将来、カトリック教会とバプテスタ教会の司牧者になるとうとする同志が集まり、祈る機会が与えられたことを感謝した。

折禱会では、まず聖歌の合唱に始まり、将来、カトリック教会とバプテスタ教会の司牧者になるとうとする同志が集まり、祈る機会が与えられたことを感謝した。

折禱会では、まず聖歌の合唱に始まり、将来、カトリック教会とバプテスタ教会の司牧者になるとうとする同志が集まり、祈る機会が与えられたことを感謝した。

折禱会では、まず聖歌の合唱に始まり、将来、カトリック教会とバプテスタ教会の司牧者になるとうとする同志が集まり、祈る機会が与えられたことを感謝した。

折禱会では、まず聖歌の合唱に始まり、将来、カトリック教会とバプテスタ教会の司牧者になるとうとする同志が集まり、祈る機会が与えられたことを感謝した。

折禱会では、まず聖歌の合唱に始まり、将来、カトリック教会とバプテスタ教会の司牧者になるとうとする同志が集まり、祈る機会が与えられたことを感謝した。

折禱会では、まず聖歌の合唱に始まり、将来、カトリック教会とバプテスタ教会の司牧者になるとうとする同志が集まり、祈る機会が与えられたことを感謝した。

折禱会では、まず聖歌の合唱に始まり、将来、カトリック教会とバプテスタ教会の司牧者になるとうとする同志が集まり、祈る機会が与えられたことを感謝した。

折禱会では、まず聖歌の合唱に始まり、将来、カトリック教会とバプテスタ教会の司牧者になるとうとする同志が集まり、祈る機会が与えられたことを感謝した。

折禱会では、まず聖歌の合唱に始まり、将来、カトリック教会とバプテスタ教会の司牧者になるとうとする同志が集まり、祈る機会が与えられたことを感謝した。

折禱会では、まず聖歌の合唱に始まり、将来、カトリック教会とバプテスタ教会の司牧者になるとうとする同志が集まり、祈る機会が与えられたことを感謝した。

折禱会では、まず聖歌の合唱に始まり、将来、カトリック教会とバプテスタ教会の司牧者になるとうとする同志が集まり、祈る機会が与えられたことを感謝した。

折禱会では、まず聖歌の合唱に始まり、将来、カトリック教会とバプテスタ教会の司牧者になるとうとする同志が集まり、祈る機会が与えられたことを感謝した。

折禱会では、まず聖歌の合唱に始まり、将来、カトリック教会とバプテスタ教会の司牧者になるとうとする同志が集まり、祈る機会が与えられたことを感謝した。

折禱会では、まず聖歌の合唱に始まり、将来、カトリック教会とバプテスタ教会の司牧者になるとうとする同志が集まり、祈る機会が与えられたことを感謝した。

折禱会では、まず聖歌の合唱に始まり、将来、カトリック教会とバプテスタ教会の司牧者になるとうとする同志が集まり、祈る機会が与えられたことを感謝した。

折禱会では、まず聖歌の合唱に始まり、将来、カトリック教会とバプテスタ教会の司牧者になるとうとする同志が集まり、祈る機会が与えられたことを感謝した。

折禱会では、まず聖歌の合唱に始まり、将来、カトリック教会とバプテスタ教会の司牧者になるとうとする同志が集まり、祈る機会が与えられたことを感謝した。

総合建設業 八千代建設株式会社 取締役社長 田中清 取締役副社長 渡辺勝三郎 〒810 福岡市中央区薬院3-2-9 TEL 092-531-1231

祭壇・洗礼盤他 石のパイオニア 高木石材株式会社 〒860 熊本市段山本町2-21 TEL 096-352-2417

教えの手帖 4 読み専科

教えの手帖 4 読み専科

会合と催し

三月の行事

Table of church events for March, including dates, times, and locations like '福岡黙想の家' and '聖母マリア病院'.

福岡黙想の家

2日 復活夜祭(カテドラル) 午後7時
3日 復活祭(カテドラル) 午前9時

典礼聖歌研修会

一教会の祈り 典礼聖歌のうたい方
指導 高田三郎先生(国立音楽大学 名誉教授・作曲家)
日時 昭和63年4月29日(金) 午前9時30分から

協力お願い

司祭叙階式後の祝賀会

本年度から、諸般の事情により、司祭叙階式後の祝賀会には、パーティー券をご購入願うことになりました。

結婚セミナー

福岡 4月7日(木)9日(土)14日(水)16日(金)21日(木)23日(土)28日(木)

九州大会

福岡 昭和63年7月15日(午後6時)17日(午後5時)

聖霊による刷新

福岡 4月7日(木)9日(土)14日(水)16日(金)21日(木)23日(土)28日(木)



四旬節は、いうまでもなく、わたしたちが、キリストのご復活の奥義に生まれるよう、準備すべき大切な季節です。

四旬節を生きる

山内清海

こでキリストは、「この神殿をこわしたら、わたしは三日で建てなおそう」とお答えになりました。

福岡ブロック高校生長崎巡礼のお知らせ
日時 3月25日・26日
定員 35名の予定

ほんにまあ、皆さん、いい気味な、その誠之助は死にました。
与謝野寛

森山敬三
『鴉と雨』に事件に連座して刑死した、友人のこととわかる。この一節の前に、わたしはもうその誠之助に逢はれない。

S・ライル神父
指導者の横顔
タルディ神父(カナダ人)
癒しというしるしに裏付けられた福音宣教の奉仕のため、世界中を回っている。

献金報告
三、九一九、三九四円
ご協力ありがとうございます

編集室から
◇ナイス(福音宣教推進全国会議)の地区別報告会のかたちも、関心の深さも4地区でかなりの開きがありました。

中央出版 福岡支部
■キリスト教関係、書籍、家庭の友
■典礼聖具
■ビデオ、カセット・テープ

信者の皆さん今年もどうぞ宜しく
(株)メガネの正視堂
行橋市駅通り本店 ☎2-0646
行橋市駅前5秒店 ☎2-2390

各種高圧ガス・溶接材料・その他
松尾産商株式会社
社長 松尾光敏
北九州市若松区藤ノ木1-4-24
TEL 093-771-3657

任意保険に加入してから車の運転を致しましょう。
自動車、火災、傷害、海外旅行傷害保険、保育園、幼稚園児を守る、企業賠償保険・疾病保険
福岡市城南区樋井川3丁目17-10
大石保険事務所 大石真澄
〒815 TEL 092-552-8195

中央出版 福岡支部
〒810 福岡市中央区小笹4丁目11-11
聖パウロ修道会内
TEL 092-531-0899

吉川病院
院長 吉川東陽
福岡市中央区平尾四ツ角 TEL 092-521-0568

未来へ—安心を創る
FUJHI 藤木工務店
福岡支店 〒812 福岡市博多区博多駅南3-1-1 TEL 092-441-6585 (代表)
取締役社長 藤木 鐵三 福岡支店長 藤倉 良夫

平田司教認可
発行所 福岡市中央区浄水通39 福岡司教館
発行人 福岡司教区 義隆 義隆
編集人 渡辺 隆 義隆
電話 092-522-5139
振替口座 福岡3-42981
定価 一部60円

今月のみことば
あなたがたが私を選んだのではなく、私があなたがたを選んだ
(ヨハネ15・16)
武蔵ヶ丘 オカロール神父

森山信三師 晴れて司祭に



司教から両手に司祭職の聖香油を塗られる森山新司祭

信徒ら九百人が祝福

「司祭職を問い続けたい」とあいさつ

雨が降りしきるなか、カテドラルで盛大に執り行われた。出身教会の信徒たちはもとより、各地の教会から九百名近くが参列。新司祭の誕生をよるこび祝った。

叙階式は、「きょうこそ神がつくれた日」の大合唱のなか、十字架を先頭に司祭の叙階を受ける森山信三助祭とそのあとから52名の司祭団と司式者の教区長平田三郎司教が入堂した。

説教の中で司教は、「司祭は、人々の中でパン種となるため、司祭団の一人として働くように」と諭した。

説教の後、スルピス大司学院の高木善行院長が受階者を推薦。

受階者が、司祭職を受ける決意の表明と司教への尊敬と従順の約束を行なった後、参列者は、受階者のために諸聖人の取り次ぎを願った。

ついでに司祭の授手が行われ、臨席の全司祭たちも授手ながら司祭職への歩みをつづけていきなさい」と喜びを語っていた。



森山信三師(箱崎教会出身)の司祭叙階式は、3月21日、小雨が降りしきるなか、カテドラルで盛大に執り行われた。

教勢を見て思う

日本司教団の「日本の教会の基本方針と優先課題」が発表されて以来、洗礼を目標とした、直接宣教が再認識されてきたようだが、福岡教区がこれにどのように応えているか、教勢から判断することは差し控えるべきであろう。

今改めて教勢(2面に一部掲載)を見直すと、気になることがでてくる。

まず、「求道者」という言葉のとらえ方がまちまちではないかという印象を受ける。講座に参加している人は、求道者なのか。あるいは、入門式を終わった人を指すのか。

さらに、カトリック活動団体に信徒使徒協同協議会が3、会員が百三人とあげられていて、奇異な感じがする。が、これらの諸活動を支援するのには、奨励する意味でも、教区や地区の信徒使徒協同協議会の関係で無用な混乱を避けるために名称を考えるなど、この機会に信徒使徒協同協議会の改善が必要だ。最後に、今年も新司祭を授けたい。

司祭団の老齢化も進んでいる。司祭の総数が百人を超えていることを単純に喜ぶことはできない。

信徒三百人に司祭一人という恵まれた条件を活かすこと、五百人にもなる修道者との協力体制の充実が大きな課題として残されていると思う。

(渡辺)

大水幸一神学生が宣教奉仕者に選任



教会奉仕者・宣教奉仕者の選任式が、3月16日サン・スルピス大司学院聖堂

時の話題

稲垣良典

「二十一世紀」という言葉がよく人々の口にのぼるようになった。ひとたび大規模な核戦争が起ったら、それだけの人間が生き残ったか、次の世紀を迎えることができるのか、といったその時のおおきな問題が、何より学習のために活用されることになり、文字通り「学習社会」が出現するだろう、などではない。

もちろん、景気の動向、人口動態などについての予測がすべて無意味だということはない。しかし世界の破滅と来は日蝕や彗星の出現を予測する風にならざるを得ない。そのことは明確にしておかなくてはならない。自由な行為を通じて未来をわたすこと、われわれの自由な行為を導く道徳律だけではない。

予言めいた言い方をすることがある。しかし、個人についても社会全体についても、人間の未来は日蝕や彗星の出現を予測する風にならざるを得ない。そのことは明確にしておかなくてはならない。自由な行為を通じて未来をわたすこと、われわれの自由な行為を導く道徳律だけではない。

「二十一世紀」

ある。われわれは変らないものの光にたどり着いて変りゆく世界を眺める、という生き方を身につけるべきではないか。

キリスト信者にとって二十一世紀は、キリストの時代の第三の千年の始まり、という特別な意味をもっている。じつさい、二十一世紀について語ることに何か意味があるとしたら、この新しい千年の始まりにあたって救いの歴史における救いの業に人々の心を向けさせる、ということだけであらう。教皇が「聖マリアの年」を決定されたのもそのためであった。二十一世紀へのわれわれの関心が、歴史を超えて神の摂理にまでとどくように切に望みたい。

(九州大学文学部教授)

ナイスの答申もとに 具体化で活発な論議



福岡教区信徒使徒協同協議会が、3月6日、佐賀教会において開催された。指導司祭山田成章神父をはじめ、佐賀教会主任アルベルト神父、アレグリーニ神父と修女連代表2名、各地区役員、アクション団体代表等24名が参加。今回は初めて青年代表の参加があった。

福岡教区信徒使徒協同協議会が、3月6日、佐賀教会において開催された。指導司祭山田成章神父をはじめ、佐賀教会主任アルベルト神父、アレグリーニ神父と修女連代表2名、各地区役員、アクション団体代表等24名が参加。今回は初めて青年代表の参加があった。

会議ではナイスを踏まえた具体的な取り組みが話し合われた。日本カトリック司教団から出された「ともに喜びをもちて生きよう」を各小教区で勉強すること、方法としてミサ後またはミサ中の説教の時に、何回かに分けてしてもらいなどの提案があった。

また、生涯養成の必要性が強調される中、信徒は燃えているので司祭の協力がある立場へ、青年・女性の責任ある信徒の側面を求め、熱意が感じられた。

正平協代表からは「社会に開かれた教会」の務めとして、社会問題をキリストの福音の目とらえ、指紋捺捺問題などに取り組んでいくことが報告された。

青年からナイスという言葉が知られない人がいるという話があったが、これは信徒全体に対しても言えることであり、ナイスの趣旨の浸透は息長く続けなければならぬことを感じさせる一幕もあった。

牧山敏浩氏(教区信徒協同協議会)の話 ナイスの精神を実践に移すために、特に教会間の横の連携を強化して、宣教にあたって身近なところから、ともに働いて、喜びを分かち合っていくことと思っています。

松永司教を招き ナイスの報告会

全司祭集会が、3月1日、司教館で開催され、長崎教区の松永久次郎司教を迎えて、平田司教をはじめ50名の司祭が出席し、第一回ナイスの報告会を開いた。

松永司教は、同会議について、よい対話の雰囲気があったと評価しながら、聖職者の縄張り意識が教会の発展の障害になっているとの声が強かったこと、などを報告した。

答申については、まず現場で研究し、試み、活かすことが大切だと強調した。

分教会では、社会の高齢化にもなると新たな司教的対応を考へるべきではないかとの意見が出され、注目された。

教区人事

川上惣一師 新田原(大名町)副会長 北島治慶(佐賀教会) 平田三好師 小倉(新田原) 森山信三師 大名町(新司祭)



長い準備の後、成人洗礼を受けた方が堅信の秘跡を受けるのを断った。数年前の洗礼の日、あれほど喜んで来たのに、その後の歩みの中で何があったのだろうか。その深い理由は本人と神のみ知ることと思うのだが、▼洗礼は、人を教会の交わりを迎え入れる秘跡でもある。ところが残念なこと、洗礼はしばしば受洗者と一部の人の喜びに終わっている。先に召されていた私たちは、その人の歩みについての関わりが深かったのだろうか。ともにゆたかに生きてきたのだろうか▼イエスは、福音宣教を種まきにあたり、語っている。「ある種はいばらの間に落ちた。やがていばらが伸びて、それらに覆いふさいでしまった。」(マタイ13・7)。このたとえはもとも、みことばに出会う人々への警告だが、これを全く別の観点から読み込んでみると、このいばらが、他の人の魂の救いのことより、まず自分の生活のゆたかさ、救いへの愛着であるなら、イエスは「私を信じるこの小さな者の一人をつまずかせる者は、首にろばのひきうすをかける。海の深みに沈められるほうがましである。」(マタイ18・6)と言われたことがある▼福音の種をまくために出陣した人がいた。種をまいた人がいた。水を与えた人がいた。そして父なる神は成長させてくださった。しかし私たちは、生え出ているばらの除去を怠っていた。福音を受け入れた人とともにいばらを取り除く作業をすべきことを忘れていた。悪いことを、自分がいばらに役割を演じていたなど夢にも考えなかった▼春になり、大地には競うように草花が芽を出し成長を始める。一つひとつがかけがえのない生命である。この復活祭に、教会の中にもさまざまな福音の花が芽をふく。その小さな生命を消し去ることをなくように大切にしていきたい。

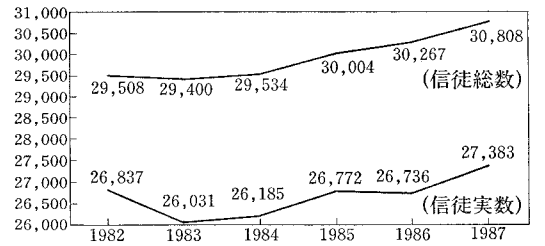
福岡教区教勢

(1987年1月1日~12月31日)

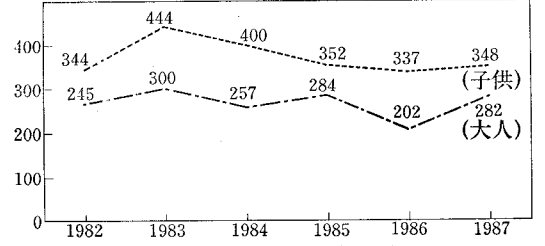
Table with 17 columns: 小教区名, 洗礼 (小供, 大人, 臨終), 求道者, 堅信, ミサ参加 (日曜, 復活祭), 世帯数, 婚姻 (信徒間, 混宗), 終油, 転入 (教区内, 教区外), 転出 (教区内, 教区外), 死亡, 居所不明, 信徒実数 (1987年), 信徒総数 (1987年). Rows include 福岡地区, 小計, 佐賀地区, 北九州地区, 熊本地区, 合計.

(注) 司祭・修道士・修道女・神学生は含まれていない

福岡教区6年間の信徒数推移



福岡教区6年間の受洗者数推移



福岡教区司祭・修道士・神学生

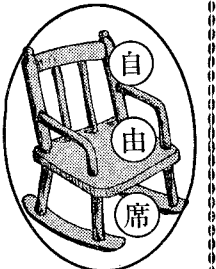
Table showing the number of priests, monks, and seminarians in the Fukuoka Diocese from 1982 to 1987. Columns: 司祭, 修道士, 修道女, 大神学生, 小神学生.

邦人・外国人聖職者数の比較

Table comparing the number of Japanese and foreign clergy members in the Fukuoka Diocese from 1986 to 1987. Columns: 司祭, 修道士, 修道女, with sub-columns for Japanese and foreign.

教会一致は 出会いから

坂口 淳子



1月19日福岡市のカルメル会修道院において、プロテスタント約20名、カトリック約40名の参加で共に祈る集いが開かれました。...

成功だった 青年交流会

中村千夏子

2月7日、小雪の散らつた日曜日、大牟田、小郡、本郷、今村、久留米の青年会から計画のあった交流会を...

わが子とともに 十字架にかけられる

鶴野 泰年

「神父様、大きなお恵みをいただきました。恵みをいただいたまま、私を救うために祈りなさい。...

心をひらいて イエズさまと

ちょっとゆっくり休んでお話しませんか? [-泊 黙想会] 4月23(土)~24(日)、5月14(土)~15(日) [婦人のための日帰り黙想会] 4月11、25日、5月9、23日 お問い合わせ先は ☎(092) 871-7108 福岡黙想の家

熊本石材株式会社

熊本市島崎4丁目2ノ68 電話 096-352-3306 096-352-8622

式典・花

木下株式会社

福岡 (712) 8022 久留米 (33) 7401 佐賀 (30) 4040 小郡 (72) 3482

キリストに魅せられた男

まだやることはいっぱい

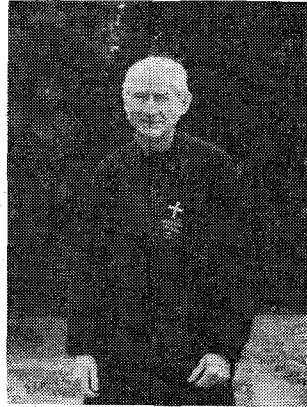
マテオ神父が金祝

今年の六月十一日に司祭叙階50年を迎える御受難会のマテオ・ベッター師を福岡市片江の修道院に訪問した。

マテオ師は、日本に於ける御受難会の創立者でもある。御受難会に入られた動機は「私は9人兄弟の2番目か3番目で双子でした。母は、私たちが生まれた時、兄弟を区別するために手の指に赤いリボンと青いリボンをつけました。私たちが元気で生まれたのでリボンが外れてしまいました。それから母は、区別する事をあきらめたのでどちらが兄か分かりません。」

長兄が御受難会に入っていました。私たちが是非入りたかった父に話しました。父は「まだ小さすぎる、すぐ帰って来るにきまっている」といつて反対しました。私たちが何度か父に願いました。そのうち、しぶしぶ納得して来ました。母は、その間も静かに祈って、私たちが信頼し励ましてくれました。3人ともし父になりましたが、2人はもう天国です。

日本に来られたきっかけは、一九三八年六月十一日ケンタッキー州のルイスビルで叙階されました。叙階後12年間は神学生の間に神学生の阪の故田口大司教さまの要請で一九五三年三月九日、日本に上陸しました。あの頃の日本は貧しく、日本語の勉強も大変でした。でも、宣教しなくても黙想の宝物を見出す、喜びを見出すことができます。そんなに無理がよくなっていないからと、自信がないからと言われます。そういつ時私はいくつうんです。「私は20年神父をしてきて、最近になってようやく分かったことがあるんです。それは、求道者が、私たちに求めていることは、神



出たすために、少しゆっくり祈ってみませんか？

これからどんな事を今までと同じように、黙想に来る人との交わりや「きぼうの電話」での関わりなどをずっと続けて行きたいです。

浦俊雄 神父は銀祝

戸畑教会(北九州市)主任司祭の浦俊雄師は三月二十四日に司祭叙階25周年を迎えた。

信徒の養成について

松本三朗 (京都教区司祭)

司祭になつてもう22年になります。今思えば、なにか、なんでも、二年目ぐらいのときにショックを受けた経験があります。

私は、求道者のグループに、たとえなだ公教要理を教えています。そして、ある時、看護婦さんをしてもらった方から、「神父様、私はよく分かるんですが、でも生活になんか関係ない……」と言われました。私は大変ショックでした。だけど、

なぜ宣教は難しいか

仰となる。私は、ようやく、典礼とか共同体体験、あるいは祈りの体験の重要性が分かってきたんです。

最近私は、信徒も司祭と一緒に、どんな求道者に要理を教えないか、と尋ねていました。するとたいしての方から「神父様、私にはそんな力がありません」という返事が

大阪に生まれたが、北九州市黒崎出身。

福岡教区小神学校からサンズルビス大神学院へ進み、一九六三年に黒崎教会で叙階された。任地は大名城教会を振り出しに小倉、久留米、小郡、小倉、湯川の各教会を歴任し、2年前から戸畑教会の主任として多忙な日々である。

浦師は「ぜひ分りあちの教会で働かせてもらいました。どこでも信徒の皆さんに大変お世話になり、心から感謝しています。私はこの25年を一つの区切りとして、ちょっとゆっくりに時間をもち、神学や司牧、教会のことなどをもう一度勉強したいと思っています」と語っている。

2月14日(日)午後3時30分から、カテドラル大名町教会大聖堂で福岡地区における第一回福音宣教推進全国協議会の報告会が開かれた。信徒、修道士、司祭約70人が参集。7人のナイス代表者が、会議全体と答申の内容について、10分ずつ左記のように順次報告した。(内は担当者名。会議全体の流れ(シスター安田)、社会とともに歩む教会(山田耕三郎)、生活を通

して育てられる信仰(深堀邦枝さん)、福音宣教をする小教会(シスター富山)、答申の背景にある精神について(渡辺隆義師)、福岡教区での意見が答申にどう生かされているか(山田成章師)、全体を通しての感想(平田三郎司教)、質疑応答で①司牧司教の開始日程と計画は?②カテドラル・センターの活用についての具体的な方針は?③答申にある「信徒、修道士、司祭の司教のための生涯養成」はどのようなか④司祭たちへの働きかけは……等々、活発な意見が交わられた。

二日前の聖マリア大会には七百人の信徒で二階席まで埋められた大聖堂に、報告会のために集まった70人という数が意味するものは何か。他地区の報告会が盛大であっただけに惜しまれる。

信徒の間からは「午後3時30分という時間は、夕食の支度をする女性にとっては参加できない時間であり、男性にとっても出やすい時間ではない。婦人の対等な参画が答申で叫ばれたばかりなのに、どう受けとめられているのか疑問です」「ナイスの精神を広く浸透させることを望むなら、また、もし福岡地区にナイスへの関心のうすい現状があるならなおのこと、できるだけ多くの人が集まれる日時

このまま、子供の要理教育にしても、大人の要理教育にしても、一番欠けているのは、知識から体験にまで深められていく部分ではないかと思えます。知識として何が理解されれば、信仰が伝わったような錯覚を持っていると、私は思います。

さらに、私たちは喜びの信仰、福音を伝えなければならぬと強く思います。

どうも福音を生(なま)で伝えるんじやなくて、水割りしてたんじやないかという気がするんです。

一例をあげてみましょう。(文責 編集部)

結婚の問題をみると、結婚生活がいかに難しいかというところに、気が付かされる。イエズスさまが結婚を秘跡としてくださったのもうなずける。神の助けがなければ、もともと他人だった二人が、一生共に生きるの大へんなことだろう。

信者は教会で結婚しなければならぬ。たとえ信者同志でなくてもそうである。このことを、単に「義務」としてだけとらえている信者が多いが、残念である。神さまはお恵みを与えようとしておられるのに、もつたいない。

信者でない人の教会での結婚式が増えてきた。多くは「零円婚」が理由で、座を続けるうちに、彼らは真剣になってくる。最終日は教会の中で共に祈る。キ

場所、内容が配慮されるべきだった」との厳しい声も聞かれた。

「マリア大会」開催 帯山教会

帯山教会(熊本市)では、昨年2月12日、ルルドの完成を祝ったが、今年同日、熊本市内の教会合同のマリア大会を催した。

これは、同じ日に、カテド

リストを信じているわけではない。しかし、彼らは真剣である。これだけのまじめさが、信者にあるだろうか。

信者でありながら、教会で式を望まない理由がいくつかありそうだ。

まず、ずっと教会に来ていないから。司祭にやかましいいわれるから。しかし、結婚が一生の中で最大の事と思えば、そのようなこだわりをもつ必要はないだろう。これからはがんばらなければならない。

親自身も、ただ義務だからという理由で、教会での式を勧めようとするのではなく、信仰の恵みに当人が気付くように導く必要がある。カテドラルが、どうしたらいいのかわかる自由結婚といわれているが、この結婚は教会法上では無効である。有効にする手続きはそんなに難しくはない。もう一度結婚式をする必要はない。このような方は、ぜひ主任司祭と相談してほしい。

良心の平安を得ることは、平和な家庭づくりの基盤になります。

(小倉教会)

☆ありがたう! フィリピン 鈴木浩・高橋馨 小林毅・木下健 著

著者は、フィリピンと日本の間で進められている国際精神里親運動(CICWA)から依頼を受けて、フィリピンの里子のような子を紹介する記録映画「わが心の里子たち」を制作したメンバー。

持っている物、時間、思いそして行動を、必要としている人と分かち合うこと、そこにはほんとうの喜びと心の豊かさがあることを著者は、里子とその家族との暖かなふれ合いから、気づいてゆく。

(女子パウロ会 一一〇〇円)

「ワンポイント教会法」

山元神父の

結婚の問題をみると、結婚生活がいかに難しいかというところに、気が付かされる。イエズスさまが結婚を秘跡としてくださったのもうなずける。神の助けがなければ、もともと他人だった二人が、一生共に生きるの大へんなことだろう。

信者は教会で結婚しなければならぬ。たとえ信者同志でなくてもそうである。このことを、単に「義務」としてだけとらえている信者が多いが、残念である。神さまはお恵みを与えようとしておられるのに、もつたいない。

信者でない人の教会での結婚式が増えてきた。多くは「零円婚」が理由で、座を続けるうちに、彼らは真剣になってくる。最終日は教会の中で共に祈る。キ

「BOOK 読め専科」

随想 ☆日本人と神 福田 勤著

仏壇と神棚のある家庭で育ち、北海道の自然や祭りを背景に成長した著者が、やがてカトリックの司祭となり神学者として生きる中で、日本人のもつ東洋的諦めと、キリスト教にみられる諦めの相違をさぐる興味深い随想。

前半では幼いころから自分のうちに育てられた宗教性を回想し、後半では川端文学、S・ヴェイユ、聖フランシスコの「愛」の追求の姿を明らかにしながら、神に絶対的に信頼する姿勢、神ともなる諦めを、「聖書的諦め」と結んでいる。

(中央出版社 六五〇円)

祭壇・洗礼盤他

石のパイオニア 高木石材株式会社

〒860 熊本市段山本町2-21 TEL 096-352-2417

祭壇・洗礼盤他

石影の大御そ

石のパイオニア 高木石材株式会社

〒860 熊本市段山本町2-21 TEL 096-352-2417

祭壇・洗礼盤他

石影の大御そ

石のパイオニア 高木石材株式会社

〒860 熊本市段山本町2-21 TEL 096-352-2417

総合建設業

八千代建設株式会社

取締役社長 田中清
取締役副社長 渡辺勝三郎

〒810 福岡市中央区薬院3-2-9 TEL 092-531-1231

祭壇・洗礼盤他

石影の大御そ

石のパイオニア 高木石材株式会社

〒860 熊本市段山本町2-21 TEL 096-352-2417

会合と催し

四月の行事

※ゴチックは司教日程

- 1日 聖金曜日(カテドラル) 午後7時
2日 復活夜祭(カテドラル) 午後7時
3日 復活祭(カテドラル) 午前9時
10日 堅信式・二十五周年(帯山)
11日 筑後ブロック青年交流会(小郡) 午後12時
17日 堅信式(天神)
18日 ルッチ神父追悼式(佐賀)
21日 教区青少年担当司祭会議(熊本)
29日 高田三郎 典礼聖歌の研修会(サン・スルピス大神学院) 午前9時30分

福岡黙想の家

- 1~2日 YBU仙台巡礼団
4~5日 笹丘幼稚園教師研修会
9~10日 雙葉学園新任教師研修会
11日 婦人の日帰り黙想会
14日 大名町婦人会黙想会
23~24日 一泊黙想会
25日 婦人の日帰り黙想会
28~29日 地区カテキスタ会
5月1日 福岡ME
5月2日~5日 クルシリヨ

教区修女連人事

- 会長 Sr.メルセデス・ビダウリ(三位一体聖体宣教会)
副会長 Sr.姥原比那子(聖パウロ女子修道会)
副会長 Sr.池口八重子(宮崎カリタス修道女会)

福岡教区クルシリヨ

クルシリヨは教会の要望に従い、使徒職に献身する信徒の養成を目指すものです。
日時 5月2日(月) 19時~5日(木) 16時

福岡教区報 主催 広報一日研修会

下記のように第2回「広報一日研修会」を企画しています。
期日 5月15日(世界広報の日) 午前10時~午後3時
対象 小教区で「小教区報」や各種委員会、活動団体の「会報」「機関紙」などにたずさわっている方。
内容 広報紙の編集実務、交流、情報交換。
講師 田中正紀氏(朝日新聞 整理部)
会場 司教館新館
会費 千円(昼食代を含む)
問い合わせ・申込み先 教区報編集部 092-522-5139(司教館) 0942-72-3256(小郡教会)

マリアの年の 聖霊による刷新 九州大会

とき 昭和63年7月15日(午後6時)~17日(午後5時) (2泊3日)
ところ 熊本交通センター ホテル(熊本市)
定員 百八十名
会費 二万三千元(二万七千元)
★申し込み金 五千元
申し込み・問い合わせ先 カトリック・ファミリーセンター 092-541-6207

指導者の横顔

タルディ神父(カナダ人) 癒しというしるしに裏付けられた福音宣教の奉仕のために、世界中を回っている。その奉仕の姿は、私はイエズスの証し人(小林有方司教)という本にあきらかにされている。



マゲダラのマリア

山内清海

キリストの復活は、わたしたちの信仰の基礎であり、頂点でもあります。しかし聖書は、キリストがどのように復活なさったのか、その具体的な様子については、わたしたちに何も語ってはいません。したがってキリストの復活は、「からになった墓」や、復活なさったキリストに実際に出会った弟子たちをはじめ、多くの人々の証言によれば、復活はありませぬが、しかしそれは、キリストの復活を、何よりも雄弁に証しするものでもあります。
(ヨハネ20:1-9)によりますと、「週の第一日」の夜明けごろ、まだ暗いうちに、マゲダラのマリアは墓に「行き、「石が墓から取りのけてあるのを見ました。つまり、からになったキリストの墓を最初に確認したのはかの女だったのです。かの女は悲しみます。主の遺骸が盗まれた、と思ったからです。だからかの女は、「だれかが主を墓から取り去ったのか、わたしはわかりませぬ」と、泣きながら、わたしたちに告げています。弟子たちに告げています。そこで、もう一人の弟子は、墓に走って行き、からになったキリストの墓を確認するのです。
もちろん、後でかかれら、キリストご自身の出現によって、その復活を確信するのですが、かかれらはじめ、主が盗み去られたと信じ、狼狽か、わかりませぬ」と答え

一期一会 井伊直弼
『茶湯一会集』(一八六〇年)三月三日雪に所収。この書は三十一歳より死に至るまで添削しつづ書かれたもの。彼は茶道のみでなく、禅においても興義を極めていた。彦根藩主の後、幕府の大老となり、勅命をまたずに開港条約を結んだため、猛反対をうけ、安政の大獄で吉田松陰らを処刑した。そして終に万延元年と記している。

訂正
3月号2面の森山敬三氏の文中、箱崎教会の設立年月日は、十一月十三日ではなく、十一月二十三日の誤りでしたので訂正いたします。

募金
福岡市のシンボルとなりつつあるカテドラル・センターの鐘楼に、本格的鐘を取り付けよう、と司教が募金を呼びかけている。
ご援助くださいます方は司教館宛お願いいたします。
福岡市中央区浄水通39 福岡司教館 092-522-5139

カテドラルに取り付けられる予定の鐘
中央出版 福岡支部
■キリスト教関係、書籍、家庭の友
■典礼聖具
■ビデオ、カセット・テープ
〒810 福岡市中央区小笹4丁目11-11 聖パウロ修道会内 TEL 092-531-0899

任意保険に加入してから車の運転を致しましょう。自動車、火災、傷害、海外旅行傷害保険、保育園、幼稚園児を守る、企業賠償保険・疾病保険
福岡市城南区樋井川3丁目17-10 大石保険事務所 大石真澄 〒815 TEL 092-552-8195

各種高圧ガス・溶接材料・その他
松尾産商株式会社
社長 松尾光敏
北九州市若松区藤ノ木1-4-24 TEL 093-771-3657

信者の皆さん今年もどうぞ宜しく
(株)メガネの正視堂
行橋市駅前通り本店 092-0646
行橋市駅前5秒店 092-2390
北九州市黒崎年金病院前店 0941-4321
北九州市黒崎駅前名店街店 0941-7177
北九州市ダイエー城野店3階 0922-5637

未来へ—安心を創る
FUJHI 藤木工務店
福岡支店 〒812 福岡市博多区博多駅南3-1-1 TEL 092-441-6585(代表)
取締役社長 藤木 鐵三 福岡支店長 藤倉 良夫

吉川病院
院長 吉川 東陽
福岡市中央区平尾四ツ角 TEL 092-521-0568



平田司教認可 発行所 福岡市中央区浄水通39 福岡司教館 発行人 福岡司教区 義隆 義渡 福岡3-522-5139 編集人 福岡3-522-5139 電話 福岡3-42981 定価 一部60円

今月のみことば 父が私を愛されたように 私もあなたたちを愛した 私の愛に留まりなさい (ヨハネ15:9) 泰星学園 塩谷恵策神父

幼児洗礼51、転回者5

福音宣教の豊かな実り

今年の復活祭の福岡教区における成人受洗者は二一〇名(男五九名、女一五一名)。幼児洗礼は五一名、プロテスタントからの改宗者(転回者)は五名であった。信徒たちもこの日、洗礼の約束を更新した。(写真はカテドラルで復活のローソクを祝福する平田司教と司教から塗油を受ける受洗者)

復活祭に210名の成人洗礼



広報の日

1988年5月8日

カトリック中央協議会 昨秋の第一回福音宣教推進全国会議で「……教会と広く社会にも伝達するための機関を充実する」と広報活動の立ち遅れが指摘されたが、司教団広報委員長の浜尾文郎司教は、私たちが「マス・メディアに対して自分がどれほど価値判断をこめて対しているかが問われている」と語っている。



桜も盛りだるの4月10日(日)熊本市にある常山教会では、小教区創立25周年を祝った。平田司教はじめ、歴代の司祭や伝道婦、まかないさん、市内の教会の代表者など多数の招待者と共に約二百三十名が集い、まず平田司教、深堀敏司教(高松教区長)と七人の司祭による共同司式の創立記念ミサがささげられた。説教の中で平田司教は「25周年を迎え、歴代の神父様がたに感謝します。これは通過点なので、より大きく成長することを期待します」と感謝を述べた。

常山教会創立25周年

この日のために五年の準備

続いて創立25周年式典と祝賀会が行われた。猛練習したという「ハレルヤコーラス」が歌われた時には、祝賀会は最高頂。平田司教も大きく手を振って称賛した。常山教会は昭和39年2月9日に献堂され、聖コロンバンのJ・ドイル神父(当時64歳)が着任。伝道婦の田淵スジヨさんと10年間、基礎を固めた。その後現高松教区の深堀敏司教が二年、聖コロンバンの二人の司祭が約一年ずつ、現主任の牧山勝美神父は九年前から司牧している。同教会ではこの日のために五年前から準備をしてきた。①教会の内外と信徒会館の塗装工事②ルルドのマリア建設③記念誌の発行④当日の典礼と祝賀会の準備。また内的刷新のために①信徒集会②家庭集会③黙想会④講演会などを実施。これらは、牧山神父の

時の話題

稲垣良典

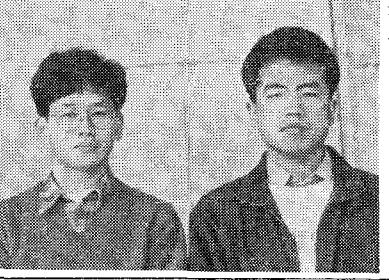
「カトリックとは何か?」スト信者であることに徹したいという結果として、「守りの姿勢」で、キリストの福音を世界の隅々まで伝えることに専念すればよいので、ことさら「カトリック」であることを強調する必要はない……このように考える人も多いであろう。たしかに、ただ違いを強調するだけでは、キリストの福音の真実とそれが人にとって「普遍的」(カトリック)であること、カトリック教会はプロテスタントイデオロギ、近代主義、共産主義(無神論としての)など、われわれのカトリックと、自らに託された信仰の遺し、追及し、確立することによって受けとめ、それらの攻撃に指導の下、信徒が「私は常山教会である」との意識をもたせ、各自が自分のタレントを出して何らかの役をもって活動し、精神的にも高揚することを旨としたものである。「ふだん教会にこない人、新しく転入してきた人とのつながりや、世代間のつながりも強くなってよかった」と、信徒らは、一段落した喜びの中で語っていた。

カトリックとは?

う。しかし、だからといって「カトリックとは何か?」と問うことの必要性が否定されるわけではない。むしろ福音の間のカトリック教会のなかで福音宣教の原動力であり続けたい聖霊の働きを忘れることではないのか。(九州大学文学部教授 古賀教区所属)

7年後目指し 大神学院入学

平野慎さん(大名町)と寺本一誠さん(手取)が、4月5日、サン・スルピス大神学院に他の17名とともに入学し、7年後の司祭叙階への第一歩を踏み出した。寺本神学生は「大学に入ってから日曜学校を手伝った



福岡小神学校(校長松井忠之神父)に、この春、4名の中学一年生が入学した。写真は、希望に胸をふくらませる右から目良勉(大名町)、青木義道(今村)、中

マリアの年 作文募集

応募要項 内容 聖母マリア様について、福岡教区在住の小学生から大人まで。 応募方法 400字詰原稿用紙で、小、中、高生は3枚以内、大人は5枚以内。 応募締め切り 昭和63年6月末日 応募先・問い合わせ先 〒810 福岡市中央区浄水通39 福岡司教館 福岡教区報 カトリック福岡教区報 電話 092-522-5139 優秀作品発表 本紙8月号(司教賞、教区報賞、他) 審査委員 平田三郎司教、鶴野泰年、森山敬三氏、鬼木久美さん。本紙編集員 主催 カトリック福岡教区報



間草太(老司)、柳潤(光ヶ丘)の新しい小神学生。()内は出身教会。小神学生はこれで合計12名になった。

みちくさ

ある小教区で、「東南アジアの貧しい人々のために」という目的のバザーが行われましたが、これに対して、信徒のなかにも二つの反応があったそうです。「素晴らしいことだ」との全面的賛成。他のひとつは「外国でなくても、小教区のなかにも貧しい人はいらぬ」との意見です。このような意見の衝突はどの小教区にもあるようです。確かに、海外の貧しい人々を目を向けている人たちのなかにも、自分の身近な人々を忘れてしまっているのではないかと懸念する人がいます。一方、身近な貧しい人を口にする人たちが、深いかかわりを生きているのかというところでもない気もしますが、一番哀しいのは、「自分が貧しいのに他の人のことなど」という人々です。かつて戦後の日本の教会を援助してくれた海外の信徒たちは、余り物をくれたのでしょうか。決してそうではありません。生活の一部を切りつめて、つまり貧しかったのに援助してくれたのです。私たちがのなかに、食べ物がなくて飢え死にする人がいるのでしょうか。外には、飢えのために死んでいく人々が大勢います。このように人々に心を痛めることができないほどに私たちが窮乏しているのでしょうか。私たちのなかには、ひとりぼちで寂しい思いをしている人こそ大勢います。私たちはその人とともにいるのでしょうか。ともに過ごすための時間をつくる努力をしているのでしょうか。貧しい人々に告げられた福音とは何だったのでしょうか。金品を恵んであげることだったのでしょうか。そうではなく、自分の生活の豊かさだけを追い求めることのおろかさや、貧しい人々とともに痛まれる神を見出し、彼らとともに世を歩んでいくことではないでしょうか。身近な貧しい人々をおもうあなたの心が、大きな広がりとなりますように。

組織と活動

5月1日現在

4月号で、「福岡教区教勢」を掲載しましたが、もっと具体的な活動状況を知りたい、との要望に...

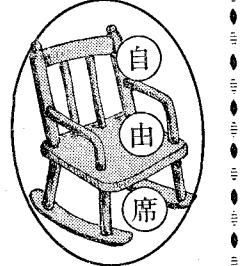
Table listing church personnel: 福岡教区長 (Petrol, Sanjo), 総代理 (Yamada), 事務局長 (Yamada), 教区会計 (Yamada), 福岡教区教会裁判所 (Yamada), 司教顧問 (Takemura), 司祭評議会 (Aoyama, Yamada, Takemura), 会長 (Aoyama), 副会長 (Yamada), etc.

司祭の見た夢

鷲野 泰年

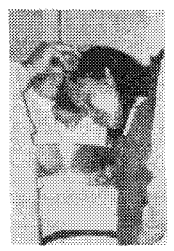
司祭懇話会のある日一人たように思います。思わずベッドから起き上がったときは...

Table listing various church committees and members: 各種団体指導・担当・顧問, 各種団体信徒, 役員・責任者, 福岡教区信徒協役員, etc.



受洗の恵みはよろこびの種

沖崎 優子



四月二日、主の御復活の日に、私もついに洗礼のお恵みをいただきました。神様の深いあわれみによって...

長崎巡礼での思い出

赤岩 尚子

私は初めて高校生の長崎巡礼に参加させてもらい、その中で様々な人や物に出会うことができました。

「平和の出会い」新しい出発
6月19日(日)午前11時開会
福岡黙想の家 (871) 7108

熊本石材株式会社
熊本市島崎4丁目2ノ68
電話 096-352-3306

式典・花
木下株式会社
福岡 (712) 8022 久留米 (33) 7401



平田司教認可
発行所 福岡市中央区浄水通39 福岡司教館
発行人 福岡司教区 義隆 義渡 渡辺 隆
編集者 福岡市中央区浄水通39 福岡司教館
電話 092-522-5139
定価 1部60円

小教区報の充実目指し 本紙主催で一日研修会

「世界広報の日」

福岡教区報主催の「広報一日研修会」は「世界広報の日」の5月15日、司教館で開かれ、11小教区から15名の広報関係者が参加した。

重要さ増す教会広報活動



今年の研修会は、第2回目、教会広報紙の編集実務を学ぶため、朝日新聞西部本社整理部の現場で働いている田中正紀氏を招いて、各小教区で発行しているものを材料に有益な助言を受けた。

研修に先だって、司教総代理で前教区報編集長の山田成章氏があいさつ。「カトリック教会の広報活動は今やますますその重要性を増してきている。眠っている小教区の信者の心を揺さぶる役割を果たすため、頑張っていたらいい」と激励した。

マリアの年 作文募集



応募方法

内容 マリアさまのこと
対象 小学生から大人まで
字数 400字の用紙で小、中、高生は3枚以内
応募締め切り 昭和63年6月末日

応募先・問合せ先
〒810 福岡市中央区浄水通39 福岡司教館
『カトリック福岡教区報』
電話092-522-5139

優秀作品発表と表彰 本紙8月号、聖母被昇天祭(司教賞、他)
主催 カトリック福岡教区報

今月のみことば
いつも喜んでいなさい
絶えず祈りなさい
完全に感謝しなさい
(イテサ5・16-18)

パウロ会 山内堅治神父

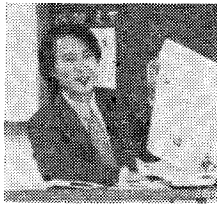
分でない」など現場の苦勞が聞かれた。
紙面は、ワープロが主流で手書きによるものは少なく、時代の流れを感じられる。印刷は印刷会社に依頼しているものが多い。

内容は、依頼記事が主で、その月の小教区の日程などのお知らせ程度に終わっているところもあり、原稿集めの難しさやわか分ける。

活字離れがもたらしている現代の若者たちに読んでもらうために活字の大きさや文字間、行間にも神経を使っているところもある。

さまざま困難のなかで、内容がともかく、作ることを心がけている。「子供たちを中心に内容を選んでみたい」など、編集者たちの心意気を感じさせていた。

見出し 新聞のいのち



田中 正紀氏

講師の田中正紀氏は新聞づくりをよく見出しの点から人々、新聞を見出しで読むとさえていわれている。見出しは、ニュースを的確に簡潔に伝えるものである。

- ① ニュースの核心を捕らえる見出しの要件は、
- ② 短い言葉で的確に
- ③ 具体的な表示をする
- ④ 内容を超えてはならない
- ⑤ やさしい言葉で

時の話題

稲垣良典

厳しい宗教？

カトリックについて世間の人が描きがちないメージの一つは「厳しい宗教」というものである。カトリックには「旧約」とか「中世」という暗いイメージから洗礼は先にのびたい、哲学的研究者として

「暗い」のか私にはさっぱりわからず、カトリックが宣べ伝える福音は神の愛であり、喜びの知らせであって、カトリック教会は開かれた、交わりが見なされている。離婚の禁止、厳格な性道徳、主日

「暗い」ところで、このイメージは、表面だけか見えていない。全くの誤解だろうか。そう考へる人もいようである。つまり、カトリックが宣べ伝える福音は神の愛であり、喜びの知らせであって、カトリック教会は開かれた、交わりが見なされている。離婚の禁止、厳格な性道徳、主日

私はカトリックが「厳しい宗教」であることについて一歩も妥協してはならないと思う。必要なのは、厳しい掟が真の愛への道であり、神の愛の現われであることと証明することである。

おばあちゃんがミサ謝礼の封筒を手渡ししながら嬉しそうに言いました。「小学生の孫がおこづかいをためて、亡くなったおじいちゃんのためにミサをあげて、とくれたので、心なかに複雑な思いがよぎりました。一般的に、カトリック教会では、ミサをあげてもらった信者は謝礼をさすべきであり、司教はそれを受け取る権利があると考えられています。もちろん、ある司教たちは、ミサはお金に換算できるものではないと謝礼を受け付けません。また他の司教は、小教区の会計のなかに祭儀収入として金額入れています。ミサ謝礼をどのよう

写真をもとに読むという現代の若者たちに読んでもらうために活字の大きさや文字間、行間にも神経を使っているところもある。

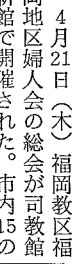
投稿された方の顔写真を掲載すること。これによって新聞はもって読者の身ぶかものになる。批判記事掲載の場合は、

「暗い」ところで、このイメージは、表面だけか見えていない。全くの誤解だろうか。そう考へる人もいようである。つまり、カトリックが宣べ伝える福音は神の愛であり、喜びの知らせであって、カトリック教会は開かれた、交わりが見なされている。離婚の禁止、厳格な性道徳、主日

韓国のカトリック青年との親善を深めて帰国
韓国のカトリック青年との親善を深めて帰国
この企画は、教区青少年担当司祭の主導によるもので、青木悟(手取)、山元真(小倉)、川上勉一(新田)の各師も同行した。

おばあちゃんがミサ謝礼の封筒を手渡ししながら嬉しそうに言いました。「小学生の孫がおこづかいをためて、亡くなったおじいちゃんのためにミサをあげて、とくれたので、心なかに複雑な思いがよぎりました。一般的に、カトリック教会では、ミサをあげてもらった信者は謝礼をさすべきであり、司教はそれを受け取る権利があると考えられています。もちろん、ある司教たちは、ミサはお金に換算できるものではないと謝礼を受け付けません。また他の司教は、小教区の会計のなかに祭儀収入として金額入れています。ミサ謝礼をどのよう

福岡地区婦人会総会 山元師「新教会法」で講演



田中 正紀氏

4月21日(木)、福岡教区福岡地区婦人会の総会が司教館新館で開催された。市内15の小教区から90名ほどの婦人が参加し、近郊の佐賀、久留米の教会からも参加があり、婦人の教会活動への関心の高まりを感じさせた。

総会の中で、最高指導者である平田司教は「皆が、一つになるように」というキリストの遺言であり、強い望みでもあること、目を向け万民のための宣教、語りかけを始めなければならない。自分自身がパン種、地の塩になる生活が必要だ。塩を塩つばに入れれば、見出しの大きき、付

教会は「神の民」
「神法」だからである。不幸にして望まれぬ結婚をした方が、過去の過ちを悔い改むべきでないかと、これからの生活のためにも、そんな人たちが強

「暗い」ところで、このイメージは、表面だけか見えていない。全くの誤解だろうか。そう考へる人もいようである。つまり、カトリックが宣べ伝える福音は神の愛であり、喜びの知らせであって、カトリック教会は開かれた、交わりが見なされている。離婚の禁止、厳格な性道徳、主日

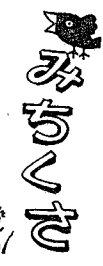
教会が「家族のための教会法」と題して講演。
一九五九年ヨハネ23世教皇第2バチカン公会議と共に教会法の改定も要請、25年の歳月をかけて一九八三年一月、新教会法が公布された。一七五二条からなる教会法の

「暗い」ところで、このイメージは、表面だけか見えていない。全くの誤解だろうか。そう考へる人もいようである。つまり、カトリックが宣べ伝える福音は神の愛であり、喜びの知らせであって、カトリック教会は開かれた、交わりが見なされている。離婚の禁止、厳格な性道徳、主日

「暗い」ところで、このイメージは、表面だけか見えていない。全くの誤解だろうか。そう考へる人もいようである。つまり、カトリックが宣べ伝える福音は神の愛であり、喜びの知らせであって、カトリック教会は開かれた、交わりが見なされている。離婚の禁止、厳格な性道徳、主日

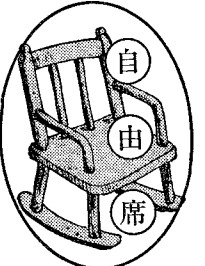
「暗い」ところで、このイメージは、表面だけか見えていない。全くの誤解だろうか。そう考へる人もいようである。つまり、カトリックが宣べ伝える福音は神の愛であり、喜びの知らせであって、カトリック教会は開かれた、交わりが見なされている。離婚の禁止、厳格な性道徳、主日

「暗い」ところで、このイメージは、表面だけか見えていない。全くの誤解だろうか。そう考へる人もいようである。つまり、カトリックが宣べ伝える福音は神の愛であり、喜びの知らせであって、カトリック教会は開かれた、交わりが見なされている。離婚の禁止、厳格な性道徳、主日



1987年度小教区納入金一覧表

Table with 16 columns: No, 小教区, 世帯数, 信徒数, 教区費, 教区神学校後援会費, 法人費61年度, 広報献金, 聖ベトロ聖座献金, 移住献金, 布教献金, 邦人司祭育成献金, 児童福祉献金, 聖地献金, 福音宣教特別献金, 合計. Rows list various parishes and their financial contributions.



チョイスに参加して

5月2日から4日にかけて、福岡小神学校でチョイス・ウィークエンドという集まりに参加しました。私がこの集まりを知ったのは、前にこの集りに参加した3人の青年の方が手取教会まで案内に来られた時です。で案内に来られた時です。半信半疑でしたが、ティームの中に知ってる方がいたのと、青年会の韓国巡礼に行けなかったので参加することにしました。

マリア様に奉仕する 老年の兵士たち

鶴野泰年

「戦争に行つて九死に一生を得た私です。から、何かに奉仕をしなければ」という気持ちで毎日のようにマリア様の庭を手入れして、教会と修道院と東光町を掛け持ち、日割りしながら、私に気が使わないで下さうでないと奉仕が奉仕になりませんから。彼がマリア様に捕らえられてすでに4年になる。奥さんには信者であるが彼はそうではない。しかも「お前が信仰する分にはかまわぬが俺の前では信仰とか神の話をするなよ」と言っていたおじいさんである。何がきっかけでそうなったかはさだかではない。今は、かつて何十年と一緒だった農林省時代の親友を誘つてその人と二人で仲良く奉仕している。聞けばその人は日本キリスト教団の信者

『道』 青年のための黙想会 6/24(金)午後7時~6/25(土)午後 (対象) 青年男女 (指導・主催) 召命をともに祈る会チーム 代表・松井忠之神父

熊本石材株式会社 熊本市島崎4丁目2ノ68 電話 096-352-3306 096-352-8622

式典・花 木下株式会社 福岡(712) 8022 久留米(33) 7401 佐賀(30) 4040 小郡(72) 3482

教区修女連

あらためて知る「歌は祈り」

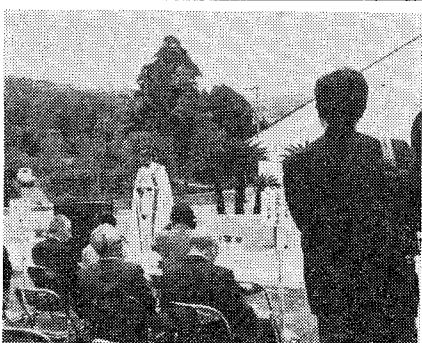
高田三郎氏のタクトで研修



こもった指導を受けた。ミサで閉会した。今、どなたに向かっていたか？...

「歌は祈り」といって、祈りとは何か？...

「天草ロザリオ館」が完成 天草町 宣教にも一役買う



熊本県の天草町大江に、4シタン資料館「天草ロザリオ館」が完成した。...

修女連役員が「定員オーバーで信者さんの申し込みを断らなければならない」と...

とすれば、異例のカトリックによる祝賀が行われ、二百人による参列者が前にハンター神父（大江教会主任）が莊厳に司式した。...

天草町の町長森安宏氏は、「カトリック教会が、今後さらにシリシタン文化の創造に努力されるよう期待しています」と挨拶した。...

信徒の養成について

本松 三朗 (京都教区司祭)

小教区は、まず第一に信仰教育の場であって、ここでは信仰を体験し、実践し、育て、学び、そして豊かにしていくことが大切です。...

コミュニケーション教育

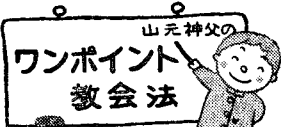
最近、信徒の要理教育をやりながら信仰にもコミュニケーションの視点が大切だと感じています。...

廃校後30年 感激の再会

島渡星馬海

女海の小島、シリシタンの島としても知られる馬渡島に、かつて学んだ「海の星学園」の生徒達が、ことは廃校三十年目に当たるとして、第3回目の同窓会を福門市内で計画。...

信仰教育 (2)



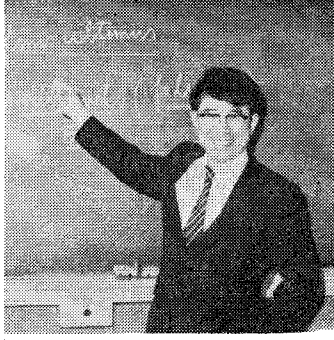
先日の、北九州地区司祭団の司牧研究会が開かれた。第二回目である。...

大人の場面も同じである。ただ教会に來る、來ないを考へていてもラチが明かない。なぜ来ないのか、どうしたら来るのかを考へねばならない。...

この日、東京、大阪からも駆けつけた卒業生や恩師、三花を咲かせていた。...

稲垣良典氏 (古賀教会信徒)

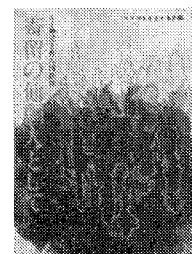
聖トマス学士院会員に選ばれる



福岡サン・スルピス大神父学院で哲学を教えている稲垣良典氏が、聖トマス・アカデミーの会員に選ばれた。...

BOOK 読み専科

ライ神父と再入国裁判 コンスタン・ルイ著



指紋捺捺拒否者に対しては、たとえ人道上の理由があっても再入国を認めない、とする国側に対して差別を受けっている人々と共に戦う、在日三十年のカトリック宣教師コンスタン・ルイ神父の生きざまと、それを支える人たちの記録である。...

綜合建設業 八千代建設株式会社

取締役社長 田中清 取締役副社長 渡辺勝三郎 〒810 福岡市中央区薬院3-2-9 TEL 092-531-1231

祭壇・洗礼盤他

石のパイオニア 高木石材株式会社 〒860 熊本市段山本町2-21 TEL 096-352-2417

福岡教区報

平田司教認可
発行所 福岡市中央区浄水通39
福岡司教館
発行部 福岡司教館
編集 福岡司教館
電話 092-522-5139
定価 一部60円

今月のみことば

愛に燃える魂は
優しく柔和謙遜で
忍耐深い霊魂である
(十字架のヨハネ)
佐賀教会 山下正神父

祭評議会

『マリアの年』閉幕式・ミサ

8月14日(日)午後一時、カテドラルで
筒井茅乃さんの『平和講演』は同三時

今年度の第2回定例司教評議会は6月7日、司教館で開議された。会議では、8月15日(聖母被昇天祭)に終了する「マリアの年」の閉幕行事や昨年11月、京都で開催された第一回ナイス(福音宣教推進全国会議)を受けた教区としての優先課題などが討議された。また、発足が待たれていた「教区司教評議会」のメンバーも司教から発表され、福岡教区に新しい一ページが始まろうとしている。

「養成」と「弱者の側に」

「養成」と「弱者の側に」が優先課題の二本柱

「マリアの年」の閉幕式で 優秀作品の表彰

キリスト生誕二千年を準備するための「マリアの年」は、昨年の聖霊降臨に始まり今年の8月15日(聖母被昇天祭)で終わるが、これを受けて教区としての閉幕行事を検討し、

会場は、常任委員会では、サン・スルピス大神学院、泰星学園なども考えられていたが、カテドラル・センターに落ち着いた。

カテドラルに待望の アンジェラスの鐘



カテドラルの鐘楼の三つの鐘が、発注先のフランスから到着。祝福式が5月22日、大名町教会で平田司教の司式により行われ、各地の教会から約二百名が参列した。

カテドラルの鐘の音を聞くすべての信者が、神に心を向け、周囲の人々の喜びや悲しみをともにし、この教会に集い、「祝福の祈りを唱え、市民に親しまれ宣教に役立つことを願った。最後に、大名町教会の水田三雄氏がこの鐘で「アンジェラスの鐘」を鳴らし聖母に捧げた。

福岡教区主催 『マリアの年』閉幕式典

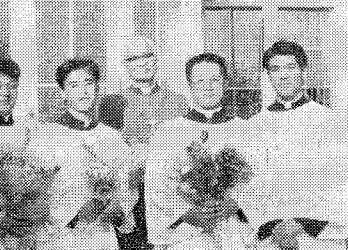
8月14日(日)午後1時より
福岡カテドラル・センター

第1部
・閉幕ミサ 午後1時
司式 平田司教
・優秀作文の発表と表彰式

第2部
講演『平和への責任』午後3時
講師 筒井茅乃さん
(故永井隆博士の長女)

熊本地区合同「マリア祭」
各地から約九百名が参加

熊本地区合同「マリア祭」は、5月22日聖霊降臨の日に行われ、「わたしたちの母マリア」のテーマのもと、県内各地から約九百名が熊本市健軍のマリスト学園に集まった。



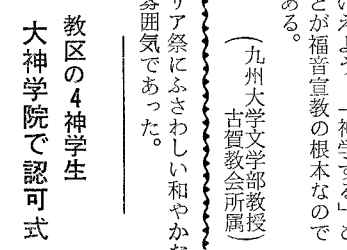
5月25日(水)午後4時より、サン・スルピス大神学院で行われた。福岡、長崎、大分、那覇の4教区10名、福岡教区は4名が認可された。

教区司教評議会 メンバーを発表

教区の効果的司牧活動のため、司教、修道者、信徒がともに考え、協力する「福岡教区司教評議会」のメンバー27名が発表された。

熊本地区合同「マリア祭」

熊本地区合同「マリア祭」は、5月22日聖霊降臨の日に行われ、「わたしたちの母マリア」のテーマのもと、県内各地から約九百名が熊本市健軍のマリスト学園に集まった。



教区で4神学生
大神学院で認可式

時の話題

信者と神学

稲典垣良

福音宣教の推進をめざす

「マリアの年」の閉幕式典

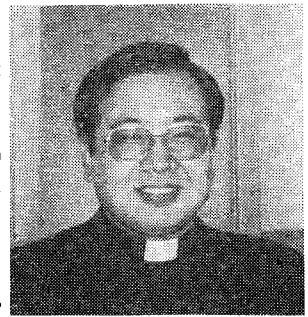
「マリアの年」の閉幕式典は、8月14日(日)午後1時より、福岡カテドラル・センターで開催された。

教区、修道会の枠を超えて

「召命をともに祈る会」が発足

一黙想会、祈りの巡礼などを共同企画一

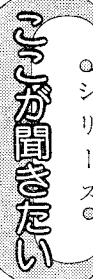
司祭・修道者の召命を超越会レベルで協力、促進しようという「召命をともに祈る会」(代表 松井忠之神父)が発足し、活動を開始した。



代表の松井忠之神父

方から21日にかけて「召命を祈る徹夜祈禱会」を黙想の家で開催した。

今回発足した「召命をともに祈る会」は、聖パウロ会、塚本孝夫神父と御受難会のマテオ神父の共同呼び掛けがきっかけ。



指紋押捺(その1)

指紋押捺制度に反対する運動に、教区も加わっているようですが、押捺制度のどこが問題なのでしょう。

一九八〇年に、北九州市の崔(チョ)さん親子などの指紋押捺拒否が広がった外国人登録法の改正・指紋押捺制度撤廃の運動は、一九八五年を頂点に一人を超え拒否者を生み出しました。

共に生きるために

このことをよく理解するためには、歴史的な経過を知る必要があります。いま、日本の社会に定住している在日韓国人の方々は、日本の植民地支配の結果、日本での在在を間接的に受けている人々です。

黙想会、8月には「召命のための親子黙想会」、そして秋には「祈りの巡礼団」などが企画されている。



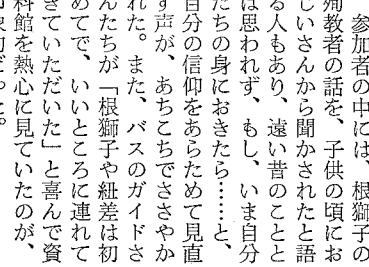
鈴木管区長を伴って祝福する平田司教

福岡黙想の家が移転 宗像修道院・黙想の家起工式 完成は来年春の予定

「有志所属修道会」御受難会、聖パウロ会、アウグスチノ会、コロンバン会、三位一体聖体宣教女会、福音の光修道会、聖母訪問会、礼拝会、ウルスラ会、師イエズス会。



起工式は、広大な雑木林の一部を切り開いた中に天幕が張られ行われたが、式の間中響き渡るいろいろな野鳥の声は、神の栄光を替えているようであった。



福岡地区婦人会は恒例の巡礼として、6月9日平戸の紐根獅子、紐差で殉教者を偲ぶ

管区長の鈴木一師は「屋外の十字架の道行きの製作のため一人でも多くの皆さまの受難会宗像修道院・福岡黙想の家の起工式が盛大に取り行われた。

管区長の鈴木一師は「屋外の十字架の道行きの製作のため一人でも多くの皆さまの受難会宗像修道院・福岡黙想の家の起工式が盛大に取り行われた。

「教会法」が知られていないことは、おぼろげに知っている「教会法」と日常生活との関わりとならぬ、まだピンと来ない。

「教会法」が知られていないことは、おぼろげに知っている「教会法」と日常生活との関わりとならぬ、まだピンと来ない。

「教会法」が知られていないことは、おぼろげに知っている「教会法」と日常生活との関わりとならぬ、まだピンと来ない。

「教会法」が知られていないことは、おぼろげに知っている「教会法」と日常生活との関わりとならぬ、まだピンと来ない。

「教会法」が知られていないことは、おぼろげに知っている「教会法」と日常生活との関わりとならぬ、まだピンと来ない。

「教会法」が知られていないことは、おぼろげに知っている「教会法」と日常生活との関わりとならぬ、まだピンと来ない。

「教会法」が知られていないことは、おぼろげに知っている「教会法」と日常生活との関わりとならぬ、まだピンと来ない。

「教会法」が知られていないことは、おぼろげに知っている「教会法」と日常生活との関わりとならぬ、まだピンと来ない。

「教会法」が知られていないことは、おぼろげに知っている「教会法」と日常生活との関わりとならぬ、まだピンと来ない。

Advertisement for Yachiyo Construction Co., Ltd. (八千代建設株式会社) with contact information and address.

Advertisement for Ishioka Stone & Washi (石影他) with contact information and address.

Advertisement for 'Failure is Not a Life' (失敗という人生はない) by Mutsu Kojima.

Advertisement for 'Rainbow' (虹) by Kiyoko Iwano, featuring a drawing of a rainbow.

Advertisement for 'Rainbow' (虹) by Kiyoko Iwano, featuring a drawing of a rainbow.

Advertisement for 'Rainbow' (虹) by Kiyoko Iwano, featuring a drawing of a rainbow.

会合と催し

七月の行事

- ※コチックは司教日誌
- 3日 訪韓青年の集い 午後4時
- 10日 ミサ、バリ少年合唱団 カテドラル 午前10時
- 13日 教区青年委員会(小郡) 教区広報担当者全
- 15日 熊本交通センター
- 17日 熊本交通センター
- 20日 カナの会
- 21日 福岡地区婦人会・委員 会10時半
- 21日 命練成会
- 21日 命練成会
- 24日 教区信使使徒職協議会
- 8月7日 佐賀教会 午後1時半
- 8月7日 教区司牧評議会
- 福岡黙想の家
- 2~3日 コロピエノ合唱団 ME全国代表者会議
- 9~10日 マテオ神父金祝黙想会

福岡地区信徒協主催 夏季少年・少女練成会

ミサ、グループ活動などの集団生活をとおして、信仰と自主性・協調性などを育てます。

日時 8月20日(土)~22日(月) (2泊3日)

場所 小郡教会

対象 小学3年生~中学3年生の男女

参加費 3,000円

問合せ先 松尾守(高宮教会) ☎092-551-4195

森山信三神父(大名町教会) ☎092-741-3687

結婚セミナー日程

63年度第3回

福岡地区

場所 福岡市中央区大名2 カテドラル・センター

聖パウロ会 召命練成会

日時 7月21日(木) 23日(土)

対象 小学3年生~6年生の男子

場所 福岡聖パウロ修道院

参加費 無料(交通費のみ自己負担)

親と子の黙想会

対象 小学3年生から中学2年生までの男女とその親

日時 8月6日(土)16時~8日(月)10時

場所 聖パウロ小神学校(福岡市小笹)

費用 親子共々六千円(ひとり増えるにつき二千五百円)

足元を照らす光から 全国カトリック学生セミナー

とき 8月3日(水)~7日(日)

ところ 横浜・サンタマリア幼稚園 ひよう 13,000円

といあわせさき 青木 悟 神父(手取教会) ☎096-352-3030

福岡教区婦人の皆さまへ 天使祝詞を一日3回

※日本カトリック婦人団体連盟では、全国のカトリック婦人に「めでたし...」を一日3回司祭・修道者の召命のために 祈りましょうと呼びかけています。私たちも今日から始めましょう...。

福岡教区福岡地区婦人会



いぶき

教会は聖母を「全人類の母」であるとも教えます。カルヴァリオで十字架につけられ、まさに瀕死の状態にありながらも、十字架のもとで、悲しみのうちにたずんでいった母マリアと愛弟子ヨハネに向けた、キリストご自身の言葉を思い出してみましょう。

私たちの母、聖マリア

山内 清海

このように、聖母マリアが、わたしたちの母であるならば、聖マリアの子供であるわたしたちが、聖母に特別な尊敬、感謝を捧げ、心からの信頼を表現し、そのご保護とおん助けを祈り求めるのは当然なことであるといえます。ここに、聖母崇敬と信心

聖母のすばらしい生き方を模倣し、聖母の子供に相応しく成長することも、聖母マリアを喜ばせるもう一つの方法です。だからわたしたちは、キリストとの完全な一致の模倣である聖マリアの諸徳と、聖マリアのすばらしい信仰、深い謙遜と従順を模倣し、神のみ旨に最後まで忠実に生きるよう、できる限り努力しなければなりません。

マリアをわたしたちの生きたモデルとして模倣しながら、歩んでいくように努力しなげれば、母を本心に愛する子供たちが、母の望みを少しも自分で実現したい、と常に努めるように、聖母の子供であるわたしたちも、聖母の望みを、そのままわたしたち

聖母のすばらしい生き方を模倣し、聖母の子供に相応しく成長することも、聖母マリアを喜ばせるもう一つの方法です。だからわたしたちは、キリストとの完全な一致の模倣である聖マリアの諸徳と、聖マリアのすばらしい信仰、深い謙遜と従順を模倣し、神のみ旨に最後まで忠実に生きるよう、できる限り努力しなければなりません。

マリアをわたしたちの生きたモデルとして模倣しながら、歩んでいくように努力しなげれば、母を本心に愛する子供たちが、母の望みを少しも自分で実現したい、と常に努めるように、聖母の子供であるわたしたちも、聖母の望みを、そのままわたしたち

岡教区の「福音宣教のための献金日」になっていきます。今年、7月17日が献金日です。

昨年は、この献金をナイスの公聴会などに使わせていただきました。

今年もよくご理解のうえ、ご協力のほど宜しくお願いいたします。

教区会計 堤要吉神父

「マリヤの年」も残すところあと一カ月余りになりました。教区報で募集していただいた作文もこれから、審査の段階に入ります。ご応募くださいました方々には、お礼状を送りました。どうぞお楽しみに。

「召命をともに祈る会」が注目されています。司祭・修道者の召命の減少は、現代教会の祈りの欠如から、と言う人がいます。当たっているような気がします。

▽松本三朗神父様(京都教区)の「信徒の養成」いかがでしたか。

昨年初、京都で開催された「カトリック信者として社会問題に実際に関わりあう」をテーマに開催された、指紋押捺、靖国など取り上げられて、たいと思いが、皆さまのご意見を寄せさせていただきます。(W)

君を送りて思ふことあり蚊帳に泣く

正岡 子規

送秋山真之米 国行と前書きがある。秋山は子規と同じ松山出身で、一歳年下であり、後に日露戦争の日本海海戦で連合艦隊の参謀になった。この日天気が晴明なれども波高しとの名文は、彼の手になつたものといふ。秋山は次第に出世して、士官となりアメリカに行き、子規は望を抱きながら、病気のため動くことさえできず、病気のため

森山 敬三

「マリヤの年」も残すところあと一カ月余りになりました。教区報で募集していただいた作文もこれから、審査の段階に入ります。ご応募くださいました方々には、お礼状を送りました。どうぞお楽しみに。

「召命をともに祈る会」が注目されています。司祭・修道者の召命の減少は、現代教会の祈りの欠如から、と言う人がいます。当たっているような気がします。

▽松本三朗神父様(京都教区)の「信徒の養成」いかがでしたか。

昨年初、京都で開催された「カトリック信者として社会問題に実際に関わりあう」をテーマに開催された、指紋押捺、靖国など取り上げられて、たいと思いが、皆さまのご意見を寄せさせていただきます。(W)



中央出版 福岡支部

- キリスト教関係、書籍、家庭の友
- 典礼聖具
- ビデオ、カセット・テープ

〒810 福岡市中央区小笹4丁目11-11 聖パウロ修道会内 TEL 092-531-0899

任意保険に加入してから車の運転を致しましょう。

自動車、火災、傷害、海外旅行傷害保険、保育園、幼稚園児を守る、企業賠償保険・疾病保険

福岡市城南区樋井川3丁目17-10 大石保険事務所 大石 真澄 TEL 092-552-8195

各種高圧ガス・溶接材料・その他

松尾産商株式会社

社長 松尾 光敏

北九州市若松区藤ノ木1-4-24 TEL 093-771-3657

信者の皆さん今年もどうぞ宜しく

(株)メガネの正視堂

行橋市駅前本店 ☎2-0646

行橋市駅前5秒店 ☎2-2390

北九州市黒崎年金病院前店 ☎641-4321

北九州市黒崎駅前名店街店 ☎641-7177

北九州市ダイエー城野店3階 ☎922-5637

未来へ——安心を創る

FUJIKI 藤木工務店

福岡支店 〒812 福岡市博多区博多駅南3-1 TEL 092-441-6585 (代表)

取締役社長 藤木 鐵三 福岡支店長 藤倉 良夫

吉川病院

院長 吉川 東陽

福岡市中央区平尾四ツ角 TEL 092-521-0568



平田司教認可 発行所 福岡市中央区浄水通39 福岡司教館 発行人 福岡司教区 義 人リク 福岡司教区 義 編 渡 522-5139 電話 福岡3-42981 電報 福岡3-42981 定価 一部60円

今月のみこば 一粒の麦、地におちて 死ねば豊かな実をむすぶ (ヨハネ12・24) 手取教会 青木悟神父

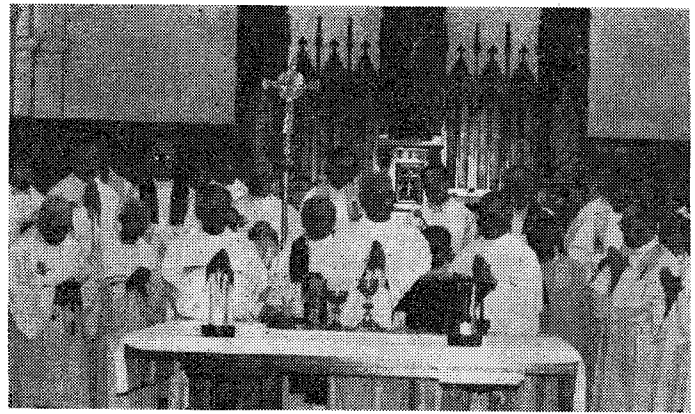
聖ペトロの 霊名を祝う

集まった司祭たちを激励

山田師が代表して感謝の言葉

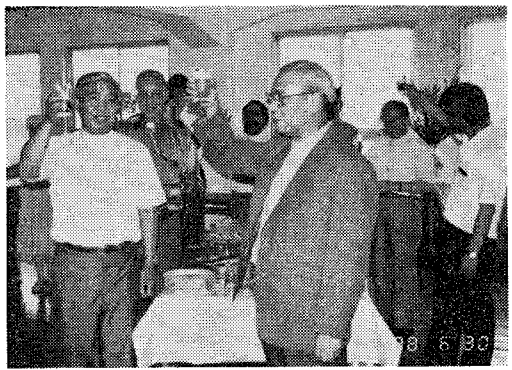
6月29日(水)聖ペトロ・聖パウロの記念日に当たり、ペトロ平田三郎司教の霊名を祝う集まりが、司教館で開かれた。

司教と一致して宣教を



喜びを共にする司祭たち

11時より浄水通教会で行われた司教司式の記念ミサには64名の司祭、50名ほどの修道者、信徒が参加した。聖書の朗読は、使徒行録の12章のペトロが牢から救い出された箇所と、「わたしは、戦いを立派に戦い抜き、決められた道を走り通し、信仰を守り抜きました」とテモテへの第二の手紙4章が朗読された。また、福音はマタイ福音書から16章のペトロの信仰宣言が読まれた。



聖パウロ修道院で守護者のお祝い 偉大な使徒に乾杯

聖パウロ会では、6月30日夕刻から、恒例の使徒聖パウロの祝日を福岡市小笹にある修道院・志願院で祝った。

院長の塚本孝夫神父(写真左端)は「聖パウロ会の志願者の召命のために、教区の神父様、信徒の皆さんのご理解と支援をお願いしたい」と語っていた。

ミサ後、司教館新館で行われた祝賀会は、「健康に留意されて、これからもよろしく

「マリアの年」作文選考会終わる 優秀賞、特別賞発表 最優秀賞は表彰式当日に

- 最優秀賞 高木美香(1年 大名町) 特別賞 高木美香(大名町) 柴田須磨子(西新) 多郎浦和子(鳥栖)

お礼 マリアの年の作文募集の呼び掛けに、小教区をはじめ、学校、福祉施設などから、予想以上の作品を頂き、感謝の気持ち一杯になりました。

訂正 7月号の「時の話題」の筆者は、稲垣良氏ではなく、稲垣良典氏です。おわびし訂正いたします。

福岡教区主催 『マリアの年』閉幕式

8月14日(日)午後1時より 福岡カテドラル・センター

- 第1部 閉幕ミサ 午後1時 司式 平田三郎司教 優秀作文の発表と表彰式
- 第2部 講演『平和への責任』午後3時 講師 筒井茅乃さん (故永井隆博士の長女) ※一般の方も歓迎します。○車でのご来場はご遠慮ください

司教館付き師イエズス会シスターの心を込めた料理に「久しぶりに、食事らしい食事をいただきました」という自炊をしていく教名も、司祭の感嘆の声も聞かれた。

- 最優秀賞 高木美香(大名町) 特別賞 高木美香(大名町) 柴田須磨子(西新) 多郎浦和子(鳥栖)

お礼 マリアの年の作文募集の呼び掛けに、小教区をはじめ、学校、福祉施設などから、予想以上の作品を頂き、感謝の気持ち一杯になりました。

訂正 7月号の「時の話題」の筆者は、稲垣良氏ではなく、稲垣良典氏です。おわびし訂正いたします。

時の話題

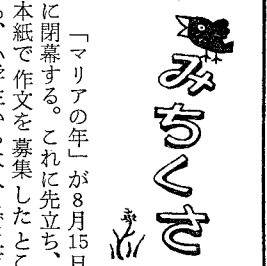
稲垣良典

政治と宗教 政治と宗教、国家と教会の関係について考える場合、そこには明確に別

「マリアの年」が8月15日に閉幕する。これに先立ち、本紙で作文を募集したところ、小学生から大人まで二百数十点が寄せられた。審査員のおとして感じたことをいくつか記してみたい。

お礼 マリアの年の作文募集の呼び掛けに、小教区をはじめ、学校、福祉施設などから、予想以上の作品を頂き、感謝の気持ち一杯になりました。

訂正 7月号の「時の話題」の筆者は、稲垣良氏ではなく、稲垣良典氏です。おわびし訂正いたします。





焼失をまぬがれた記念写真(司祭叙階式直後)

ひとりのカトリック神父の歴史の回想をとおして、戦争と平和を考えてみたい。
「当時は戦争に反対を唱えていなかった」という痛恨の言葉が、政治に翻弄された
当時の教会の姿をかみ見せる。そして、たんたんとした語りの中には、平和な時
代が見落としているさまざまな問題も指摘されている。(文責 編集部)

中学入試に失敗
六年生を二回も

昭和七年、故郷の馬渡島の
小学校を卒業した私は、ブル
トン神父様のすすめで、東京
の小神学校に入塾することに
なりました。それで、有名な
暁星中学に入るために試験を
受けました。でも、見事に失
敗。暁星小学校で六年生をも
う一度やらされました。
翌年、無事、中学校に入塾
を果したんですが、福岡の
大名町に小神学校ができたの
で一年でもどってききました。
泰星はその頃できました。
私たちは、あちこちを点々
としながら勉強を続けたもの
です。

叙階式途中に
空襲警報発令

荷物を全部焼かれ
開き直りの精神が

戦争が激しくなると、大濠
にあらざるわけですが、今のサ
ン・スルピス大神学院が大牟
田で、ラテン語科と哲学科を
始めましたのでそちらにいき
ました。でも大牟田も一年半
くらいで大濠に引越したん
です。

戦争・平和・信仰

司祭生活をふり返って

牧山 藤 房(司教館)

防空壕完成が
終戦のその日

八月九日になって、原子爆
弾が長崎に落とされました。
それを「ビカドン」と呼んで
いました。ものすごい爆弾が
発明されているので、しっか
りとした防空壕を造れというこ
とで、手取教会に、平田惣五
郎神父とせつせつと造り上
げたときに終戦です。
終戦直後は、ミサをするの
が精一杯でした。食物は信者
の人たちからいただいたり、
教会の畑で、まかないをして
おられた「ハマおばさん」が
野菜などを作っていました。
助かりました。

入隊後に毒ガスで
二年間の療養生活

そう、哲学科の三年の時だ
ったと思います。支那事変が
勃発しました。昭和十二年で
す。私は召集を受けて、久留
米の四十八連隊に入りました。
そこで、毒ガス研究班に
回されました。けれどもほ
どなく、ほとんどの者が毒ガス
に気管支をやられて、陸軍病
院で療養のはじめになりました。
私も二年間療養して、再
び大神学校にもどりました。
残りの勉強を終わって、私
は東京大神学校に行くこと
になったのですが、その直前
に東京大神学校が火事になり
少し遅れてしまいました。

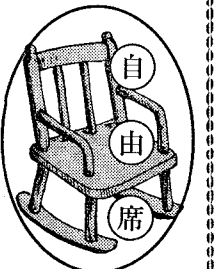
戦争反対者に
なれなかった

そしてまもなく大東亜戦争
(第二次世界大戦)が始まり
ました。
正直言って、「さやー、や
ったな」と感じました。世
連講まで進んできたとき、空
襲警報がなりまして、それ以
上は進められず中断して、ひ
とまず防空壕に避難しまし
た。そして少しおさまってか
つたのには、
「国のために死ぬことは、神
様のために死ぬことと同じ
だ」と考えていたのです。思
えば、国家によってそんな気
持にさせられ、戦争反対者に
なれなかったのです。十二
月八日開戦で、二十日にはま
たも召集され、フイリピンに
行かされたことがかりピン
におられたドルエ神父様も
とで助任司祭として第一歩を
踏み出しました。ほとんどの
外国人の神父様は熊本の本
木に拘束されてしまったので、
五人ぐらゐの日本人の神
父たちがあちこちの教会をか
から「おまえはだめだ、すぐ
かえれ」と言われて除隊にな
りました。その時入隊してい
ました。全員戦死していま
す。



牧山藤房師の横顔

大正六年五月一日、馬渡
島に生まれる。



押捺制度
悪くない

大学生(22歳)

7月号の「こが聞ききた
い」に指紋押捺制度反対運
動に教会が加わっているの
書かれてありましたが、私
は何度読んでもこの制度が
悪いとは思いません。それ
より戦前の歴史的な背景と
この制度を結びつけて考え
ることに疑問をもちます。
私たちの時代では「何処
の国民が嫌いだ」という感
情は持ち合せていません。
第一「指紋押捺」が日本で
は、心の痛みにつながる
ような行為とは考えられて
おらず、押捺を習慣も
まだ残っています。それは
日本でも生まれ育った二世、
三世ならわかっているの
ではないでしょうか?日本で
は「痛めつけよう」とい
う考えなど頭もなく、単に
「本人確認」の手段として
法律化しているのを、変に
理屈を付けて解釈し、歴史
的な経過まで持出して結び
つけているように思えてな
りません。戦前の非人道的
な行為は行為として、私は
素直に認め謝罪していま
す。

「信仰は、苦しみのうちに
を教えるのです。そし
て強められる。皆さんもそ
れを言いたいのです。戦争
はただまじまじと行って
不幸な出来事でした。しかし
その中で、信仰も養成され
ました。
今は、注意しないと、信仰
が平和に流されてしまう危
険があります。
私心配しているのは、こ
のこだけ。幼少年代の
信仰教育は危機にさらされ
ています。信仰は親がお乳と
一緒に飲ませなければなら
ません。口はばったような言
い方が。
お乳を飲ませる前に、神様
のことを教えるのです。手
握って、「神様は上、霊魂は
私たちの使命だと思いま
す。それでも現在の法は法
で守らなければいけないと
思います。
何かというときすぐ戦前、
日本の犯した罪と結びつけ
て反対ばかりしている態度
に、仲よくして行こう」と
いう気持ちになれませんか。
「日本が故郷であり永住す
るが日本籍は取得しない」
という彼ら自身がいまも
自分自身を外国人だと認めて
いることになるのです。
「法治国家に住んで法を
守る」あくまでも拒否では
なく守ってその上で反対運
動をすべきで、拒否するの
は他の恩恵を受けている
法律も一緒に拒否すべきで
す。

平和な今の代は
信仰の試練の時
今はいいですね。平和で。
神様のお恵みです。
しかし、昔は苦しい反面、
「この苦しみが救いの源だ」と
痛切に感じられました。生
き甲斐があったのです。

福岡黙想の家

御受難修道会 宗像修道院 (院長: 島基幸)

1989年3月オープン予定

連絡先: 宗像郵便局私書箱5号 電話0940(32)3222
〒811-41 宗像市大字名残字立山1056
(JR赤間駅からバスで10分; 若宮インターから10分)

熊本石材株式会社

熊本市島崎4丁目2ノ68

電話 096-352-3306
096-352-8622

式典・花

木下株式会社

福岡 (712) 8022 久留米 (33) 7401
佐賀 (30) 4040 小郡 (72) 3482

カテドラルで移動青年の集い

地元の青年たちが歓迎

この春、他の教区から福岡教区に転入してきた青年たちを励まし、仲間になろうと、福岡ブロックの青年たちが「移動青年の集い」を催した。



すぐうちとけ合って歓談する青年たち

福岡

6月12日に司教館5階ホールで行われた集まりでは、移動青年OBの体験談や、平田司教、移動担当司祭の歓迎の挨拶のあと、にぎやかな茶話会が持たれた。

ここでは、自己紹介をはじめ、それぞれの小教区の青年会活動が紹介された。

さよなら油山

感謝を込めて「平和の出会い」

福岡黙想の家恒例の「平和の出会い」が6月19日に催された。これは平日頃、なんらかのかたちで御受難会黙想の家に関わりのある人々の協力で開かれるイベントで、今回は、宗像への移転を控えて地元との別れの意味もあった。油山での最後の催しとして、創立当時の写真の展示に解説を加えたパネルが集会室に並べられ、故郷堀仙右衛門司教や去る4月に凶弾に倒れた

シリース

指紋押捺 (その2)

日本人と同等の権利が欲しい、帰化すればいいではないですか。

このことでよく考えていただきたいことは、日本の帰化政策は、身も心も日本人になることを要求していることです。そのよい例が「日本名」の強要です。

有名無実の外登法

国際人権規約B規約第2条は、「人種、皮膚の色、性、言語、宗教、政治上その他の意見、民族的または社会的出身、財産、その他の地位の尊重」を規定しています。

このことを考えると、今の日本の帰化政策は、国際的にも人間性を無視したものであり、簡単に帰化をすればいいとは言えないことが分かります。

回答者 青柳行信(カトリック福岡正義と平和協議会)

聖体賛美式にあずかったが、移動青年の一人は「これまで寂しい思いをしてきたが、こんなに大勢の仲間がいることを知ってほっとしました」と喜んでいました。

一方、迎えた側の岩永恵子さん(茶山教会)は「司教様や神父様方の話を聞いて、教会の中での私たち青年の存在の重要さがよく分かりました。新しく出会った仲間たちとの友情を深めていきたい」と語っていた。

森山信三神父(福岡ブロック青年担当)の話 これを機会に積極的に声をかけ合い、カトリック青年としての友情と信仰を深めてください。

創立者のカール・シュミットの神父の写真などに、当時を思い出して懐かしげに見入る人々の姿が多く見られた。同会場には、新しい黙想の家の地図や模型も展示され、後援会コーナーで新会員の募集の呼びかけもあった。

メインコーナーは聖堂での黙想「主に愛されて」。御受難会の鈴木、マテオ、島の三名の神父による連続講話の豪華版で、黙想の家ならではの企画が好評。

その他、お茶会、敬書、弱者のための拡大絵本のグループ「福岡はなびらの会」の紹介、ゲームやスケッチ大会、軽食喫茶など多くの人の協力で盛況であった。

ここでは小教区も地区も異なる旧知の人、初対面の人たちが、自由に思い思いの場所を楽しんでいた。



カテドラル少年合唱団 ミサと交換会

人黙想を勧めた。なお、同会の司祭、修道者たちは、7月31日を最後に福岡市片引を引払い、来春春に新しい黙想の家が完成するまで、宗像団地に仮住まいをする。

「聖体の秘跡」のところでは、ミサ、その奉仕者、聖体を拝領する者、ミサの典礼および儀式についての若干の規定、ミサ執行の時のおよび場所、聖体の安置、ミサの謝礼などが取り扱われている。この中から、今回「ミサ」の条項について、いっしょに考えてみたい。八九九条(1)ミサは、キリスト自身および教会の行為であり、そのなかにおいて、主キリストは、信者に自らを霊的食物として与えるのである。

ワンポイント教会法

最近、ミサについて、直しが各小教区で行われているようである。今回から「ワンポイント」で、ミサに関する教会法の規定を見ていこう。

聖体行列に信徒ら多数

熊本

初夏の日差しが強い6月5日、島崎教会で恒例の聖体行列が行われた。

熊本地区では、毎年「聖体の祝日」に行われ、今年も市内の各教会はもとより近郊からも信徒多数が参列。

島崎教会からフランススケン修道院を経て、慈恵病院横の広場までのコースを祈りや讃美歌を捧げながら歩いた。

BOOK 読み専科 長崎の女 鶴 文乃著

愛の奇蹟 尻枝 正行者 (中央出版社一、四〇〇円)

愛の奇蹟 尻枝 正行者 (海竜社 一、二〇〇円)

総合建設業 八千代建設株式会社 取締役社長 田中清 取締役副社長 渡邊勝三郎 〒810 福岡市中央区薬院3-2-9 TEL 092-531-1231

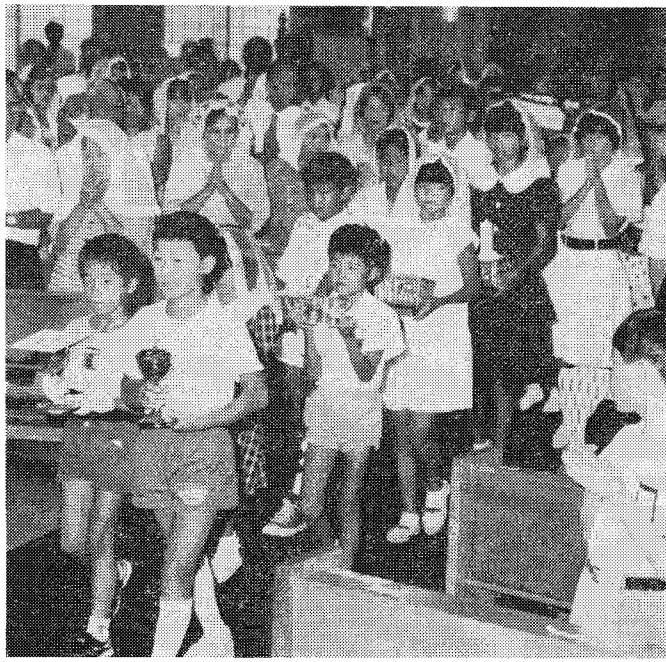
祭壇・洗礼盤他 石のパイオニア 高木石材株式会社 〒860 熊本市段山本町2-21 TEL 096-352-2417

加リリ 福岡教区報

平田司教認可
発行所 福岡市中央区浄水通39 福岡司教館
発行人 リック福岡司教区 義
編集者 渡辺隆 義
電話 092-522-5139 福岡3-42981
振替口座 福岡3-42981
定価 一部60円

今月のみことば
わたしは良い羊飼いの
わたしは自分の羊を
知っている
(ヨハネ10・14)
小倉教会 平田三好神父

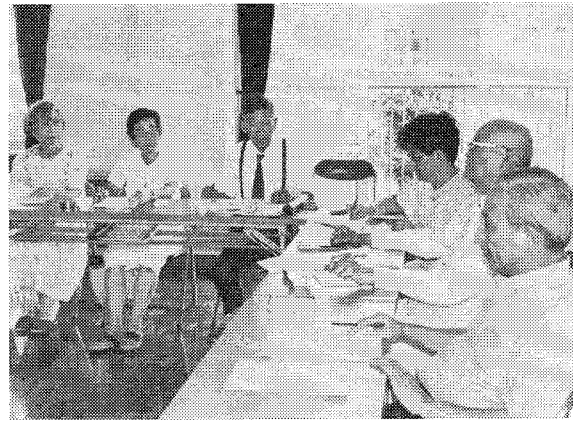
「マリアの年」閉幕式典 子供たちを中心にミサ 平和講演と作文の表彰式も



パンとブドウ酒、ローソクなどを奉納する子供たち

8月14日(日)午後1時より、福岡教区主催の「マリアの年閉幕式典」が盛大に福岡カテドラル大名町教会で行われた。式典は平田三郎司教ほか二〇名の司祭、七百名ほどの修道者と信徒が参加した。ミサは、大人とともに捧げる子供たちの形式で行われ、解説、聖歌伴奏、共同祈願、奉納行列、待者など多くの青年や子供たちが受け持った。

福岡カテドラル



福岡教区司牧評議会 初会合で活発な論議

新しく発足した「福岡教区司牧評議会」の第一回目の集まりが、8月7日午後1時から5時まで、司教館で開かれ、評議員27名のうち、23名が出席した。

平田司教の趣旨説明の後、一人ひとりに辞令が交付された。引き続き行われた討論の議題は①「司牧評議会規約」の見直し②各種委員会の設置と構成員の推薦③教区の優先課題について、であったが、いずれの議題も、結論を持ち越し、9月25日に第二回目の総会を開いてさらに詰めることになった。

①の議案では特に、第1条の名称で、「司牧」の概念に宣教の理念が含まれることを入れないことが、

夜おそく集まって、何度も音合せしたオルガン、ギター、ベース、タンバリンで青年が伴奏する「マリアさまの心」に合わせ、会場いっぱいの大合唱の中、司祭団、4人の女の子に担がれた聖母像が入堂、司教の手によって祭壇前に安置された。

奉納行列では、教区ミサでは初めての試みであったが、みことばの典札の間、祭壇の上には何も置かず、感謝の典札に移り、子供たちが奉納行列で祭壇布、典札書、書台、カリス、チボリウム、ブドウ酒、ローソク、献金を携えて入り祭壇の準備を行った。

拝領祈願の後、牧山美好小

「マリアの年」の閉幕を飾る「平和講演会」が筒井茅乃さんを迎えて、午後3時からカテドラルで開かれた。

約四百人の聴衆を前に、筒井さんは、「なぜ平和を語るのか」と題して、平和の責任、力の強い言葉で大要次のように語った。

「これまで原爆の体験を語らなかつたのは、言葉では自分の思いを十分に伝えることが出来ない、と考えるだけ早く戦争のこと、また、できるだけ早く戦争のことを忘れてしまったのは自分の使命だと思っていま

神学生が閉幕にあたっての決意表明として自作の祈願文を読み上げたが、美しい祈りだという声が多く聞かれた。

聖堂正面に高く掲げられた

「マリアの年」の閉幕を飾る「平和講演会」が筒井茅乃さんを迎えて、午後3時からカテドラルで開かれた。

約四百人の聴衆を前に、筒井さんは、「なぜ平和を語るのか」と題して、平和の責任、力の強い言葉で大要次のように語った。

「これまで原爆の体験を語らなかつたのは、言葉では自分の思いを十分に伝えることが出来ない、と考えるだけ早く戦争のこと、また、できるだけ早く戦争のことを忘れてしまったのは自分の使命だと思っていま

「マリアの年」の閉幕を飾る「平和講演会」が筒井茅乃さんを迎えて、午後3時からカテドラルで開かれた。

約四百人の聴衆を前に、筒井さんは、「なぜ平和を語るのか」と題して、平和の責任、力の強い言葉で大要次のように語った。

「これまで原爆の体験を語らなかつたのは、言葉では自分の思いを十分に伝えることが出来ない、と考えるだけ早く戦争のこと、また、できるだけ早く戦争のことを忘れてしまったのは自分の使命だと思っていま

「マリアの年」の閉幕を飾る「平和講演会」が筒井茅乃さんを迎えて、午後3時からカテドラルで開かれた。

約四百人の聴衆を前に、筒井さんは、「なぜ平和を語るのか」と題して、平和の責任、力の強い言葉で大要次のように語った。

「これまで原爆の体験を語らなかつたのは、言葉では自分の思いを十分に伝えることが出来ない、と考えるだけ早く戦争のこと、また、できるだけ早く戦争のことを忘れてしまったのは自分の使命だと思っていま

「マリアの年」の閉幕を飾る「平和講演会」が筒井茅乃さんを迎えて、午後3時からカテドラルで開かれた。

約四百人の聴衆を前に、筒井さんは、「なぜ平和を語るのか」と題して、平和の責任、力の強い言葉で大要次のように語った。

「これまで原爆の体験を語らなかつたのは、言葉では自分の思いを十分に伝えることが出来ない、と考えるだけ早く戦争のこと、また、できるだけ早く戦争のことを忘れてしまったのは自分の使命だと思っていま

「マリアの年」の閉幕を飾る「平和講演会」が筒井茅乃さんを迎えて、午後3時からカテドラルで開かれた。

約四百人の聴衆を前に、筒井さんは、「なぜ平和を語るのか」と題して、平和の責任、力の強い言葉で大要次のように語った。

「これまで原爆の体験を語らなかつたのは、言葉では自分の思いを十分に伝えることが出来ない、と考えるだけ早く戦争のこと、また、できるだけ早く戦争のことを忘れてしまったのは自分の使命だと思っていま

「マリアの年」の閉幕を飾る「平和講演会」が筒井茅乃さんを迎えて、午後3時からカテドラルで開かれた。

約四百人の聴衆を前に、筒井さんは、「なぜ平和を語るのか」と題して、平和の責任、力の強い言葉で大要次のように語った。

「これまで原爆の体験を語らなかつたのは、言葉では自分の思いを十分に伝えることが出来ない、と考えるだけ早く戦争のこと、また、できるだけ早く戦争のことを忘れてしまったのは自分の使命だと思っていま

「マリアの年」の閉幕を飾る「平和講演会」が筒井茅乃さんを迎えて、午後3時からカテドラルで開かれた。

約四百人の聴衆を前に、筒井さんは、「なぜ平和を語るのか」と題して、平和の責任、力の強い言葉で大要次のように語った。

「これまで原爆の体験を語らなかつたのは、言葉では自分の思いを十分に伝えることが出来ない、と考えるだけ早く戦争のこと、また、できるだけ早く戦争のことを忘れてしまったのは自分の使命だと思っていま

「マリアの年」の閉幕を飾る「平和講演会」が筒井茅乃さんを迎えて、午後3時からカテドラルで開かれた。

約四百人の聴衆を前に、筒井さんは、「なぜ平和を語るのか」と題して、平和の責任、力の強い言葉で大要次のように語った。

「これまで原爆の体験を語らなかつたのは、言葉では自分の思いを十分に伝えることが出来ない、と考えるだけ早く戦争のこと、また、できるだけ早く戦争のことを忘れてしまったのは自分の使命だと思っていま

時の話題

稲垣良典

毎夏、暑さがちやうど頂点に達したころ広島と長崎原爆投下の記念日がめぐってくる。一年の間で平和運動がいちばんの高まりを見せるのもこの時期である。

人々は広惨で、愚かで、恐ろしいものだと「教える」ことが本当に「平和のための教育」になるはずだ。

平和のための教育

「平和の年」の閉幕を飾る「平和講演会」が筒井茅乃さんを迎えて、午後3時からカテドラルで開かれた。

約四百人の聴衆を前に、筒井さんは、「なぜ平和を語るのか」と題して、平和の責任、力の強い言葉で大要次のように語った。

「これまで原爆の体験を語らなかつたのは、言葉では自分の思いを十分に伝えることが出来ない、と考えるだけ早く戦争のこと、また、できるだけ早く戦争のことを忘れてしまったのは自分の使命だと思っていま

「マリアの年」の閉幕を飾る「平和講演会」が筒井茅乃さんを迎えて、午後3時からカテドラルで開かれた。

約四百人の聴衆を前に、筒井さんは、「なぜ平和を語るのか」と題して、平和の責任、力の強い言葉で大要次のように語った。

「これまで原爆の体験を語らなかつたのは、言葉では自分の思いを十分に伝えることが出来ない、と考えるだけ早く戦争のこと、また、できるだけ早く戦争のことを忘れてしまったのは自分の使命だと思っていま

「マリアの年」の閉幕を飾る「平和講演会」が筒井茅乃さんを迎えて、午後3時からカテドラルで開かれた。

約四百人の聴衆を前に、筒井さんは、「なぜ平和を語るのか」と題して、平和の責任、力の強い言葉で大要次のように語った。

「これまで原爆の体験を語らなかつたのは、言葉では自分の思いを十分に伝えることが出来ない、と考えるだけ早く戦争のこと、また、できるだけ早く戦争のことを忘れてしまったのは自分の使命だと思っていま

「マリアの年」の閉幕を飾る「平和講演会」が筒井茅乃さんを迎えて、午後3時からカテドラルで開かれた。

約四百人の聴衆を前に、筒井さんは、「なぜ平和を語るのか」と題して、平和の責任、力の強い言葉で大要次のように語った。

「これまで原爆の体験を語らなかつたのは、言葉では自分の思いを十分に伝えることが出来ない、と考えるだけ早く戦争のこと、また、できるだけ早く戦争のことを忘れてしまったのは自分の使命だと思っていま

「マリアの年」の閉幕を飾る「平和講演会」が筒井茅乃さんを迎えて、午後3時からカテドラルで開かれた。

約四百人の聴衆を前に、筒井さんは、「なぜ平和を語るのか」と題して、平和の責任、力の強い言葉で大要次のように語った。

「これまで原爆の体験を語らなかつたのは、言葉では自分の思いを十分に伝えることが出来ない、と考えるだけ早く戦争のこと、また、できるだけ早く戦争のことを忘れてしまったのは自分の使命だと思っていま

「マリアの年」の閉幕を飾る「平和講演会」が筒井茅乃さんを迎えて、午後3時からカテドラルで開かれた。

約四百人の聴衆を前に、筒井さんは、「なぜ平和を語るのか」と題して、平和の責任、力の強い言葉で大要次のように語った。

「これまで原爆の体験を語らなかつたのは、言葉では自分の思いを十分に伝えることが出来ない、と考えるだけ早く戦争のこと、また、できるだけ早く戦争のことを忘れてしまったのは自分の使命だと思っていま

「マリアの年」の閉幕を飾る「平和講演会」が筒井茅乃さんを迎えて、午後3時からカテドラルで開かれた。

約四百人の聴衆を前に、筒井さんは、「なぜ平和を語るのか」と題して、平和の責任、力の強い言葉で大要次のように語った。

「これまで原爆の体験を語らなかつたのは、言葉では自分の思いを十分に伝えることが出来ない、と考えるだけ早く戦争のこと、また、できるだけ早く戦争のことを忘れてしまったのは自分の使命だと思っていま

「聖霊による刷新」九州大会

心身のいやしの恵みも

熊本

マリアの年の「聖霊による刷新」九州大会が、7月15日から17日まで、熊本交通センターホテルを会場に開催された。

大会には定員を大幅に上回るおよそ二百五十名(内司祭11名)が参加。最終日に健康教会で行われた「心身の癒しを求めるミサ聖祭」には全国各地から六百名にのぼる信者が集まり、会場は熱い祈りに包まれていた。



「心身のいやしを求めるミサ」には全国各地から



指導司祭のタルデイ師 (右)とエバリー師

大会はまず、聖コロロンバン九州地区長のヤングキャンブ師、指導司祭のタルデイ師とエバリー師の共同ミサで始まった。

タルデイ師はこの集いを「キリストの十字架のもとにおく」と宣言、「神からの恵みを受け入れるために、心の

扉を明けよう」とすすめて、さらにつぎのよう「神の声を聞くためには純粋な心を持つことが必要で、そこから心が始まります。それから、神が自由に自分の中でお働きになることをゆるすことも大切で、それは、自分に死ねることでもあるのです。さらに、皆一致して信じて祈ることが大切です。自分に死ねることができるとき、弱い自分ではなく聖霊がイエズスを証しされるのです」。

三日間の日程は、主に聖霊による祈りの集い、主イエズスの分かち合い、両師が午前と午後を説教した。

指導司祭のタルデイ師は、癒しによって裏付けされた福音宣教の奉仕者として知られ、この大会でも参加者は「私たちが、飽きもせず疲れも覚えず、喜びのうちに師の祈りに聞き入っていた」と証言している。

二日目の夜には、回心式と聖体顯示、その中で病人の癒しの祈りが行われた。参加者は、そこで目のあたり、目の見えない人が見え、耳の聞こえない人が聞こえ、32年間も脊椎症で装具しなければ歩けなかった人が癒されるのを見た。

このような癒しの恵みは、三日目の「心身のいやしを求めるミサ聖祭」のときにも与えられ、参加者たちは「二千年前のイエズスや弟子たちについて、聖書に書き記されていること、目をのぞいて体験していただける」とキリストの現存を喜び感謝していた。

大会での祈りの間中、霊に満たされた人々の声が、大きなうねりとなって会場にこだまっていた。

福田節子さん(手取教会)の話 この大会の中で私自身も身体癒しの恵みを感じました。また多くの方々にキリストが与えてくださった恵みのできごとは、私のこれまでの考えを一新しました。これからは回りの人々に、聖書は真実を伝えていこうと、イエズスご自身がそれを証してくださった。聖書を讀み、みことばを聴き、信じてください、と確信を持って言えるようになりました。

シリーズ

指紋押捺 (その3)

在日韓国・朝鮮人が本人であることを確認するために、指紋押捺制度は必要ではないですか。

日本独特の制度

また、日本人が指紋を取られるのは、犯罪を犯した場合に限られています。他の国でも取っているとよく言われます。しかし、外国人からだけ、何十年も、何世代もわたって取り続けているのは日本人だけです。

外国人登録法の諸規定に違反すると、非常に重い罰則が設けられています。例えば、登録事項の変更が生じ、その届け出が遅れば「20万円以下の罰金」指紋を拒否すれば「1年以下の懲役もしくは金庫または20万円以下の罰金」なのです。これは殺人未遂といった刑罰に相当します。誰も被害を受けない形式犯に対して過酷な重罰が定められています。

日本人にとっての同様な法律に住民基本台帳法というのがありますが、住所移動の届け出が遅れても、行政罰(刑事罰ではない)が規定されているだけで、また、実際には運用していない自治体も多いたというのが実態です。回答者 青柳行信(カトリック福岡正義と平和協議会)

各地区の活動状況を報告

福岡教区信徒協働協議会役員会が、7月24日佐賀教会で開催された。今回は平田司教も出席、司祭、修道士、信徒あわせて25名が参加した。平田司教は、「ナイス後の色々な意見を聞いて上げるためにきました。忌憚のない意見を」と挨拶。山田指導司祭の話に続いて、各代表の報告が行われた。

北九州地区 6月に信徒協働役員会を各小教区の充実に中心に取り上げる。カトリック健康セミナー、一般の人々を対象にした講演会が好評。大人の日曜学校、子供サイドからの勧めが効果的だった。ネグロス島関係の活動など。

福岡地区 ルルド・ファチマへ「海外巡礼」を企画。毎年行うことを計画している。

熊本地区 各小教区に司牧委員会、宣教委員会(キリスト教講座)、社会参加委員会

ベトナム留学生の世話等)を設置。特にナイス後活発になった。

佐賀地区 人生講座、今年「出産から死まで」。一人一役をモットーに多くの人の参加を計る。

その他、正平協から今後の行事の紹介、福岡地区婦人会から、移動信徒の世話(母親の立場から教会離れを防ぐため)の説明と呼びかけ。CLCからは、玉名の黙想の家の紹介と今後の行事予定等。また、教区司牧評議会規定について山田師の説明があった。決定事項としては、福岡地区信徒協から「海外巡礼」を教区信徒協の行事として、他地区からの参加を要請する提案があり、賛成多数で承認された。

その他、婦人会の在り方について、問題提起があり、各代表から活発な意見が述べられた。

ミサ (2)

「ミサに与れば、参加するに、出陣の祈りである。20年ほど前に、ミサの形がかわった。それまでは聖体拝領台によって内陣と外陣が二分され、内陣では司祭が信徒の背を向けてミサをたてていた。信徒は外陣で祈禱書を手にし、司祭の動作を見ながら祈りを唱えていた。ミサのことはラテン語。共同祈願、奉納行列等もなかった。

一九六〇年代の終わりに、ミサの形がかわっていった。信徒は背を向けていなくなった。今は違う、共同で祈る。ミサに与れば、参加するに、出陣の祈りである。20年ほど前に、ミサの形がかわった。それまでは聖体拝領台によって内陣と外陣が二分され、内陣では司祭が信徒の背を向けてミサをたてていた。信徒は外陣で祈禱書を手にし、司祭の動作を見ながら祈りを唱えていた。ミサのことはラテン語。共同祈願、奉納行列等もなかった。

一九六〇年代の終わりに、ミサの形がかわっていった。信徒は背を向けていなくなった。今は違う、共同で祈る。ミサに与れば、参加するに、出陣の祈りである。20年ほど前に、ミサの形がかわった。それまでは聖体拝領台によって内陣と外陣が二分され、内陣では司祭が信徒の背を向けてミサをたてていた。信徒は外陣で祈禱書を手にし、司祭の動作を見ながら祈りを唱えていた。ミサのことはラテン語。共同祈願、奉納行列等もなかった。

☆あなたたちを友と呼ぶ
中学生の教理

BOOK 読み専科

編・イタリヤ教理司教委員会 訳・尻枝 満

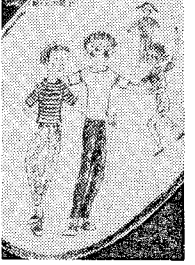
7月11日午前10時より、小倉教会で北九州地区のカテケジス(信仰教育)の集まりが行われた。集まりでは、こどものミサでの歌の練習と紹介があり、教会学校に携わっている70名ほどの方が参加した。この集まりを企画した小倉教会の山元真師は「日曜日のミサに子供の参加が非常に少なく、子供が積極的に参加するミサを考案するために開きました。アイデアの一つは、歌を元気にうたうことです。子供は歌が好きです。また、子どもにやさしいミサでなく、大人にもやさしいミサで、大人に役割を与えるのもよいと思います。」と語った。

伴奏は小倉教会のオルガンギター、トランペット、タンバリンの奏者が手伝った。最後は、全員で子供のために元気にミサを捧げ終った。

ネグロスへの支援を要請

フィリピン・ネグロス島よりシヤソン・パリトルル神父が来福。福岡正平協、修道士、福岡地区信徒協、地区婦人会の共催で屋敷2回の講演会が開かれた。シヤソン神父はパコド教区司祭でBC(C)キリスト教基礎共同体)の地域指導司祭。

師はネグロスの現況を説明し、生活の基礎作りを励む基礎共同体の人々の活動を支援するため、祈りと援助を求めた。詳細と連絡は青柳行信氏(女子パウロ会 五〇〇円)



総合建設業
八千代建設株式会社

取締役社長 田中清
取締役副社長 渡辺勝三郎

〒810 福岡市中央区薬院3-2-9 TEL 092-531-1231

祭壇・洗礼盤他

石のパイオニア
高木石材株式会社

〒860 熊本市段山本町2-21 TEL 096-352-2417

会合と催し

九月の行事

※ゴチックは司教日程
1~3日 臨時司教会議(長崎)
4日 光ヶ丘教会オブレート会のお別れミサ
午前9時半
マニラのシン枢機卿による聖トマス西と15殉教者のミサ(長崎)
午後4時
6日 司教評議会(司教館)
午前10時半
13日 神学講座(司教館)
高松司教館落成式
22~23日 福岡地区婦人会
親睦巡礼旅行(四国)
25日 教区司牧評議会(司教館)
26~28日 教区全司祭研修会

聖トマス西と15殉教者 列聖記念祭

一、聖トマス西と15殉教者の祝日は毎年9月28日に祝われることになりました。
二、本年のみ10月2日(日)に全日本の教会で、列聖記念祭として祝います。(当日は年間27主日にあたりませんが、殉教者の典礼文を用いてください)
一九八八年七月二十二日
日本カトリック司教協議会
会長 白柳誠一

福岡地区信徒協主催 ルルド・ファチマ巡礼の旅

今年度の旅行日程
10月20日から28日まで
ルルド、ファチマ、ローマ同行司祭
平田三郎司教様
旅費
42万5千円(旅券印紙代は別です)
問い合わせ先
福岡地区信徒協事務局長
山田成章神父
電話 092-281188

第二学期 神学講座のご案内

みなさん、お元気でしょうか。宣教の仕事は一部のエリアに留まるのではなく、みんなのつとめです。教会構成員である私たち一人ひとりがその使命を自覚し、よく学び、分かち合っていくことが必要です。
今年も興味深い講義に接することができると思います。ふるってご参加ください。
一九八八年八月
福岡地区神学講座事務局
電話 092-281188
山田成章神父

教区人事

光ヶ丘教会主任に
山田成章神父が着任
ながらく、オブレート司教の責任を担ってきた光ヶ丘教会が教区に移管されることになり、新しい主任司祭に山田成章神父が任命された。山田師は、教区総代理と事務局長も兼務する。
W・ラギダオ師は滞日フリーピン人司牧のための全国指導司祭の任務に
比国司教団の要請により、W・ラギダオ師は滞日同国人の全国指導司祭に任命され、大阪伊丹市のオブレート会修道院に転任になった。

編集室から

▽「マリアの年」が閉幕しました。教区でもカタドラル・センターで、子供たちを中心とした閉幕のミサ、マリアの年作文の表彰式、そして「平和講演会」と盛り沢山の行事が組まれました。
子供たちの聖歌を盛り上げるために奉仕してくれたバンドの青年、ミサや表彰式の司

松も経にけり二十まり五とせ

谷崎潤一郎
銀婚式のとき
の歌である。その作家といわれる。確かにその歌集『都忘れ』とどまらぬ。たとえは「文章読本」一つとてみ
ジンに批判されても、川端、三島、中村、丸谷のそれよりも、はるかに
ではないから仕
すぐれている。まさに日本
語という言葉の教科書によ
うな感すら覚える。また一
人の歌は、銀婚
回読むだけでも容易でない
にはなびらうか
源氏物語を、七年にわたっ
べもるともにう
て三回も改訂した彼の情熱
まさしくまよ
は、一体どこからできた
き月けふの日
ものであるうか。しかもそ
で、どうも夫人
の間、あのおびたらしい傑
の歌のほうがよ
作を残した彼が、である。

かときのことのは

森山 敬三
進行係で緊張というひとときを持たれた青年の皆さま、どうもありがとうございます。
▽本紙主催の「マリアの年」作文コンクールでは、多くの方々のご協力をいただきまし
た。重ねてお礼申し上げます。
「一生涯一代の感激の日で
した」と喜ばれた受賞者もお
られました。
最優秀賞の作品を2面に掲
載いたしました。ご感想はい
かがでしょうか。
受賞者への記念品のマリア
像は大補教会の鶴野泰年神父
様の製作によるものでした。
▽筒井茅乃さんの「平和講演
会」。あいにくカタドラルの
音響があまりよくなくて残念
でしたが、その分だけ耳をそ



隠れカトリック信者

山内 清海
「別」に信者やゆるやかなカトリック女性の記事が紹介されています。かの女は、カトリック信者の両親のもとに生まれた、いわゆる幼児受洗者で、しかも中学、高校とミッションスクールに通い、大学では神学部を経て、卒業しながらも、一時期は「隠れカトリック信者」だ

た、と自己紹介してしま
す。ところでかの女は、自
分が「隠れカトリック信者
」となった理由について、次
のように語っています。
「とにかく自分のこと説明
すんの、面倒くさいならな
いよ。『大学は神学部です』
うたが最後、『何それ?』『そ
れ何するん?』ときて、『ドド
メがなんでエー?』やもん。
みーんな、おんなじ。質問の
順番まで決
まるさ。
うるさい
わ、人のこ
となんかは
って、ゆるげやね。
「別に信者やゆるやかな
かしらとか、そうゆうんや
いんです。そやけど、他人か
ら色めがねで見られる、そ
れが耐えきれへんです。お酒
を飲んでも、そしたら必ず、
カトリック信者がそんなこと
していいの?クルマに乗っ
かるといって、わたしはチ
は案外、日常生活のなかでキ
リストを証しする機会、もっ

今回、晶文社発行の大型
インタビュー集の一冊とし
て、米山義男編「宗教時
代」が出版され、話題にな
っています。本書は、従来
のこの類の書のように、宗
教家や宗教団体側からでは
なく、ごく日常的に信仰を
もつ、いわゆる普通の人の
立ち場から、かれらの本
音を語らせている点が特徴
的です。
本書に「初恋」(カトリ
ック)、と題する、一人の
カトリック女性の記事が紹
介されています。かの女は、
カトリック信者の両親のも
とに生まれた、いわゆる幼
児受洗者で、しかも中学、
高校とミッションスクール
に通い、大学では神学部を
卒業しながらも、一時期は
「隠れカトリック信者」だ

福岡教区婦人の皆さまへ
天使祝詞を一日3回
※日本カトリック婦人団体連盟では、全国の
カトリック婦人に「めでたし...」を一日3回
祈りましよう
司祭・修道者の召命のために
と呼びかけています。
私たちが今日から始めましょう...。
福岡教区福岡地区婦人会

パリー-外国宣教会司祭 丸剛良家著 絶賛発売中 定価 1200円
人間は何のために生きるのか
真にこの問題について知り、解決を求めたい人のために!
人生95年 心のなかに生き続けた神が不思議な声となって今、私の魂に語りかける
—書き下し信仰と人生を語る座右の書
聖母の騎士社 〒850 長崎市本河内町196 ☎0958-24-2080

任意保険に加入してから車の運転を
致しましょう。
自動車、火災、傷害、海外旅行傷害
保険、保育園、幼稚園児を守る、企
業賠償保険・疾病保険
福岡市城南区樋井川3丁目17-10
大石保険事務所 大石 真澄
〒815 TEL 092-552-8195

各種高圧ガス・溶接材料・その他
松尾産商株式会社
社長 松尾 光敏
北九州市若松区藤ノ木1-4-24
TEL 093-771-3657

信者の皆さん今年もどうぞ宜しく
(株)メガネの正視堂
行橋市駅通り本店 ☎2-0646
行橋市駅前5秒店 ☎2-2390
北九州市黒崎年金病院前店 ☎641-4321
北九州市黒崎駅前名店街店 ☎641-7177
北九州市ダイエー城野店3階 ☎922-5637

未来へ—安心を創る
FUJIKI 藤木工務店
福岡支店 〒812 福岡市博多区博多駅南3-1-1 TEL 092-441-6585 (代表)
取締役社長 藤木 鐵三 福岡支店長 藤倉 良夫

吉川病院
院長 吉川 東陽
福岡市中央区平尾四ツ角 TEL 092-521-0568

かりりり 福岡教区報

平田司教認可
発行所 福岡市中央区浄水通39
福岡司教館
発行所 福岡市東区
福岡司教館
編集所 福岡市東区
福岡司教館



来年5月21日に 教区「家庭の日」大会 特別聖体奉仕者の指針作成へ

教区司評議会が、9月6日、司教館で開かれ、来年度の教区行事や当面の教区の課題と取組みが話し合われた。これに先立ち、平田司教から特別臨時司教総会の報告がなされた。

皮や病人、お年寄りなど「どんな人にもできる宣教」への模索がなされた。

さらに、福岡教区としても全国レベルで開催される、来年1月の司祭生涯養成コースや2月の「全国司祭の集い」に司祭を派遣したいとの意向を表明した。

特別臨時司教総会報告

去る9月1日から3日まで、東京で行われた特別臨時司教総会の内容について司教から大要以下のような報告があった。

同総会の主なテーマであった「宣教についての見直し」では、第一回ナイスで欠けていた部分の反省も含めて、洗礼を目的とした宣教からの脱却を以て中心に典拠問題をカテケ

聖トマス西と15殉教者

一九八一年二月フィリピンで列福されたトマス西と15殉教者は、一九八七年十月十八日、バチカンで聖トマス西と15殉教者の列聖式が行われ、大聖堂前で、広場をめぐり、大衆の目撃の下に、教皇ヨハネ・パウロ二世によって荘厳に列聖された。

今回の列聖式は、日本との関係でいえば、「日本26聖人殉教者」が一八六二年に列聖されて以来百二十五年ぶりのこととなります。

聖トマス西と15殉教者は、ドミニコ会司祭、修道士、修道女、彼らを助けた信徒たちで、キリシタン迫害の激しかった一六三三年〜三十七年に、長崎で殉教した人々です。

この十六人のなかで日本人は九名だけで、他は、スペイン人四名、イタリア人一名、フランス人一名、フィリピン人一名で、特にフィリピン人の聖ロレンソ・ルイスは、フィリピンで最初の聖人の

平田司教認可
発行所 福岡市中央区浄水通39
福岡司教館
発行所 福岡市東区
福岡司教館
編集所 福岡市東区
福岡司教館

今月のみごとば
主よ 私に命ずること
を知らせ 望むことを
命じてください
(聖アウグスティヌス)
世丘教会 赤倉稔神父

③特別聖体奉仕者
数年来の懸案であった「特別聖体奉仕者」の問題について、教区としての指針づくりのため、教区内の司祭たちによるアンケートをとって、具体的な問題の検討に入る。

アンケートの内容については、典拠、司祭など広範な問題を考慮する必要があり、典拠担当の松井忠之師(福岡小神学校)が大神学院と協力しながら作成する。

④ナイスの振り返り
教区行事としては、今年内の実施は困難である。しかし大切なことなので、来年の早い時期に地区別の行事として検討する。

⑤優先課題の具体化
特に、信徒の生涯養成について話し合われたが、これを推進するための「信仰教育」の教区担当者の選出が行われ、ラミレス師の後任に渡辺

時の話題

稲垣良典

この原稿が活字になる頃、はソウル・オリンピックも終わりに近いのではないかと、教区としての指針づくりのため、教区内の司祭たちによるアンケートをとって、具体的な問題の検討に入る。

オリンピックは、世界的な平和の象徴として、四年毎に行われ、全世界の若者の人々の心を一つにする。

オリンピックは、世界的な平和の象徴として、四年毎に行われ、全世界の若者の人々の心を一つにする。

オリンピックは、世界的な平和の象徴として、四年毎に行われ、全世界の若者の人々の心を一つにする。

オリンピックと祭り

努力精進することを通じて、人間としての卓越性・徳を勝ちとることにほかならなかつた。我々はオリンピックの真の意義がそこにあることを見失ってはならないと思う。

クベルタンはオリンピックを「祭典」と呼んだが、古くから、祭典は、神聖な場所で行われ、神々の御臨幸を祈るものである。

クベルタンはオリンピックを「祭典」と呼んだが、古くから、祭典は、神聖な場所で行われ、神々の御臨幸を祈るものである。

その他
これからは、司教センターなど教区レベルでフリーに動く必要があり、この問題について、顧問会などで検討してほしい。

宣教・司牧への刺激のため、数年に一度ぐらい、他の教区の司祭たちとの合同懇話会や研修会を企画する、などの提案があった。

最後に、山田成章師から教区担当者の選出が行われ、ラミレス師の後任に渡辺

光ヶ丘教会を教区に移管



光ヶ丘教会を教区に移管する。一九五三年から三十五周年にわたって、オペレート会によって司牧されてきた光ヶ丘教会(主任ウエンシー・ラギダオ師)が、福岡教区に移管されることになり、9月4日、同教会で感謝のミサと、お別れ会が行われた。

最後に挨拶に立ったラギダオ師は、「今まで、いろいろな行事のときは天気がよくあったのに、今日は雨が降ったので、今日からはっきりと神様と一緒に別れを惜しんでいるのでしよう」と皆の気持ちを和らげた後、着任して8年、皆さまとの出会いのおかげで、大人になりました。私の弱さを理解し、許し、支えて下さり、深い信頼を表わしてください。感謝の言葉を述べたい」と同教会信徒の山中敏則さん「今日の雨模様は、天気が、

子供たちも 宣教を学ぶ

熊本

熊本地区恒例の少年少女サマーキャンプが、8月2日から4日まで、菊池少年自然の家で行われた。

参加者は小学2年生から中学2年生までおよそ60名。大神学生とマリアの宣教師フラスシス・修道会長の宣教師たち指導のもと有意義な3日間を過ごした。

熊本地区恒例の少年少女サマーキャンプが、8月2日から4日まで、菊池少年自然の家で行われた。

参加者は小学2年生から中学2年生までおよそ60名。大神学生とマリアの宣教師フラスシス・修道会長の宣教師たち指導のもと有意義な3日間を過ごした。

テント生活で 交流を深める

福岡

福岡地区信徒協会の「少年少女夏季訓練会」が8月20日から22日まで、小郡教会で開催された。

今年は、百十名あまりの子供たちがリーダーと一緒に同教会の杉林の下でテント生活をしました。

あいにくの雨にたたられ、夜半、ホールに避難するなど、ハッピーな夜も多かったが、トリスアウトやガールスカウト、福祉施設などの支援、協力で無事終了した。

みちくさ

全国の司教、司祭、修道者、信徒の代表者たちが集まって華々しく開催された第一回ナイス(福音宣教推進全国会議)は、本日に福岡司教館で開かれた。司教館で開かれた。司教館で開かれた。

全国の司教、司祭、修道者、信徒の代表者たちが集まって華々しく開催された第一回ナイス(福音宣教推進全国会議)は、本日に福岡司教館で開かれた。司教館で開かれた。

全国の司教、司祭、修道者、信徒の代表者たちが集まって華々しく開催された第一回ナイス(福音宣教推進全国会議)は、本日に福岡司教館で開かれた。司教館で開かれた。

親子召命黙想会

みんなで手づくり
ロザリオの散歩道

ウロ校
聖小神

「召命を共に祈る会」(代名が参加。盛り沢山のプログラムが、8月6日から8日まで、「召命を育てる親子の黙想会」を聖パウロ小神学校で開いた。このユニークな催しには、6人の親と男女小中学生の26



夕間を照らすキャンドルの灯

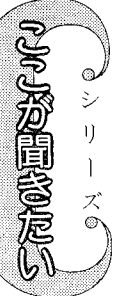
を歩いている翌朝の黙想は、子供たちにも大きな感動を与えていた。その他、追跡ハイキング、パーベキューパーティーなども参加者とスタッフとの親交を深めたと好評だった。参加した親からは、「家庭の中で召命を育てるための手助けとして、これから継続的に企画を続けて欲しい」との声が聞かれた。

代表の松井師は「私たち司祭、修道者スタッフにとって、自己の召命の生き方を考え直すためのよい機会となり、相互に実りあるものでした」と話している。

おもひ存分
遊びに挑戦

イエズス村

福岡黙想の家主催の「イエズス村」が8月11日に行われた。例年は三泊四日の練成会であったが、今年は福岡黙想の家の移転とあわせて、一日だけの練成会となった。御受難会の松浦信行神父と村山隆也、森山健四郎両神学生の引率で10名の参加者は博多駅を出発、目的地のひまわり公園で、皆が一人前の冒険家に



シリーズ
指紋押捺(その4)

外国人登録法(外登法)は改善されたと聞いていますが。

昨年9月に、多くの反対を押しつけて外登法が改正され、今年の6月から施行されています。

「指紋押捺一回」などとあたかも改善されたかの宣伝がされていますが、実態は改悪でしかありません。

廃止に向けた運動

指紋押捺については、廃止が大前提です。特に、押捺の一回により、今までの「切り替え毎の同一人性の確認」といった行政事務的な建前さえ放棄して、とにかく指紋を集め、何かあった時のために使うといった予防的、治安管理的側面が全面に出ています。

しかも、今後、指紋押捺の対象となるのは、16歳になった子供たちなのです。日本で生まれた、最も指紋を必要とした

今、最も必要なのは、歴史を直視し、国籍の壁を超え、地域社会の中で「共に生きる」という相互の確認の中に、日本人の在り方を問い直していくことではないでしょうか。

正義と平和推進委員会
青柳行信(カトリック福岡)



なりきって、こま切りの地図を片手に大ハッスル。一人一人が異なった役割を持ち、グループの動きに参加しなければ前へ進まないの、意見の

思想・信条を超えた対話を
秋月辰一郎氏が平和講演

佐賀

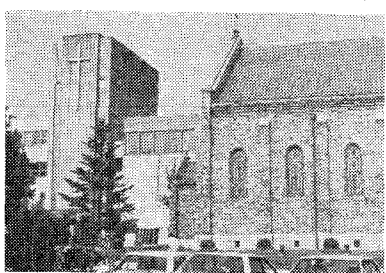
佐賀カトリック正義と平和協議会(森内一郎代表)主催の「8・21平和を考える講演」と映画のついでに、8月21日に、佐賀カトリック幼稚園講堂で開かれ、一般市民も含めおよそ80名が参加した。

映画は被爆者を主に描いた10フィート運動製作の被爆記録「人間をかえせ」と、記録フィルムを基に核兵器による危機を訴える「予言」を上映。参加者は、被爆の惨状と核の脅威を訴える内容に平和の尊さをかみしめていた。

聖マリア病院
35周年を祝う

久留米

8月5日(金)、雪の聖母に奉獻された久留米の聖マリア病院が、35周年を祝った。



ミサ (3)
「司祭は生者死者を問わずすべての者のために祈る。ミサを捧げることができ、その意向は祈りを通して、何らかの形で神に捧げられている。信使は司祭に祈りを通して、祈りを願うことができる。七つの秘跡を求めることから、家、土地、車の祝別を依頼することもできる。」「ミサをたのむ」という表現があるが、それは、ある意向に従って、ミサを捧げるように依頼することである。伝統的には、死者のためという意向が多かったようである。

すべてのミサには何らかの意向が伴う。司祭も信徒もまたミサの型を繰り返しているのではない。ミサはいつも誰かのために、何かのために捧げられている。冒頭に記したように、ミサの意向は死者のためだけではない。「すべての人」のために捧げられる。病気の人の、悩める人のため、また何かの祝いのため、感謝のため、いろいろある。ミサに積極的にあずかるひとつの方法は、そのミサの意向をはっきりと決めて参加することである。

いのちの終末
☆いのちの終末(死の準備と希望)
人はどのようにして生を全うし、どのようにして死を迎えるのが望ましいのか。いのちの本質を問い直すものである。ガン告知は必要か、死に逝く人々の精神状態とは、人間の末期における宗教の役割と医療の看護のありべき方向をさぐる。

病院長で、病院設立35周年感謝のミサが平日三司祭の司式で行われた。病に苦しむ患者や昼夜を問わず献身的に働くスタッフを見守るよう建てられた会場の赤レンガの聖堂(旧大名町教会)の中は大勢の参加者と花で満ちていた。

ミサの中で司祭は「息たえだえの患者さんにかいがいしく付き添う看護婦さんに、十字架の下にたたくむマリアさまの姿を見ます」と語った。(写真は、聖堂と病院本館)

フィリピンで
貧しさの体験
熊本
地道な活動を続けている熊本「滞日アジア女性の問題を考える会」主催のフィリピン体験学習が、8月7日から二週間ルソン島カピテ市アナブ

祭壇・洗礼盤他
石のパイオニア
高木石材株式会社
〒860 熊本市段山本町2-21
TEL 096-352-2417

理影の
大御そ
素材

総合建設業
八千代建設株式会社
取締役社長 田中 清
取締役副社長 渡辺 勝三郎
〒810 福岡市中央区薬院3-2-9 TEL 092-531-1231

会合と催し

十月の行事

※ゴシックは司教日程
2日 聖トマス西と15殉教者(全国祝典)
23日 人吉教会聖信式
26日 28日 教区全司祭研修会(唐津)

教区人事

山崎師、伊丹教会へ転任
古賀教会主任の山崎聡一郎(オペレート会)は、9月15日に兵庫伊丹教会に転任になった。
山崎師は「福岡はとってもいいところでした」と別れを惜しんでいた。

福岡教区青年合同練成会

いま教会では、青年たちに熱い眼がそそがれ、期待が寄せられています。
てーま — 愛・きづく —
いつ 11月26日(土)~27日(日)
どこで カテドラル・センター
なにを ブロック間の交流と分かち合いといあわせさき

ご存知ですか

聖書からみる福音宣教
連続講演と分かち合い
講師 Z・イエール師(サンズルピス大神学院聖書学教授)
日時 毎月第4日曜日の午後2時から4時まで
9月25日より

尹さん支援署名ご協力に深く感謝いたします

尹明淑(ユンミョンスク)さんのための署名ご協力ありがとうございました。おかげさまで、裁判所と法務省あての署名が約三千名ほど集まりました。

お礼

当信徒使徒協議会の運営につきまして、日頃、種々御高配を賜り感謝いたしております。
去る8月20日から3日間、少年少女練成会を開催いたしました。物心両面にわたって、多大の御支援と御援助を賜りましたことを、心から厚くお礼申し上げます。

香典返しを

故マリア山本マサ様の香典返しとして、山本俊光様より神学生育成のため多大の御芳志をいただきました。故人のご冥福をお祈りし、厚く御礼申し上げます。

編集室から

夏らしい暑さに出会えぬままに秋が来てしまいました。皆さまはいかがお過ごしになりましたでしょうか。
今年も、あちこちの教会の練成会、キャンプで大神学生の奮闘する姿がみられました。何でも勉強、と頑張っておられた彼らの召命のためにさらに祈りましょう。

かのことのは

「徒然草」にみられる。私も三木清のひそみならず、日本の文化を知るための書を一冊あげたい。たまたま、と依頼された文に、私がもし「徒然草」をあげると、これは、日本人の長所と短所、文化を知るための。小林秀雄は、兼好はモンテニユが示すことを求めたのである。モンテニユが生まれる二百年も前に、モンテニユより遥かに鋭敏に簡明に正確に、と述べている。

吉田 兼好



ふくし

「天声人語」(人物編)
が出版されては一年が経ちます。昨日読み返す機会があった。洗練された筆致で見事に描かれた、人々のひたむきな生と心の温もりが、深い感動を新たにすることができました。しかし、そのなかでも特に、「コルベ神父」(本文一四九頁)、「ゼノ修道士」(本文一四九頁)、「木口マツ修道女」(本文一七七頁)についての記事は、わたしに強烈な反省をうながしました。

魅力的な生き方

山内 清海

かたがは、十九歳のときから今日まで、なんと六十数年間、長崎県福江島の奥浦慈恵院で、修道女として、骨身を惜しまず働いておられます。明治のころ、当時のいわゆる隠れキリシタンたちは、今日のわたしたちの想像を絶するほどの生活に苦しんでおられた。貧しい生活に、栄養失調や伝染病に苦しんでおられた。捨て子や捨てられた子供も、今日に至るまで、自らのために他を犠牲にして生きておられる。そのなかで、徹底的に自己中心的に閉じ込められるという、迫害に耐えたシスターは、創設者からここで母として働き、育ててあげ、かかれらに「お母ちゃん」と呼ばれ、親しまれておられる。現代人には常識的でない、といっている。者がその民を支配し、また偉い人が権力をふるっている。

福岡教区婦人の皆さまへ 天使祝詞を一日3回

※日本カトリック婦人団体連盟では、全国のカトリック婦人に「めでたし…」を一日3回呼びかけています。私たちが今日から始めましょう……。
福岡教区福岡地区婦人会

人間は何のために生きるのか

真にこの問題について知り、解決を求めたい人のために!
人生95年 心のなかに生き続けた神が不思議な声となって今、私の魂に語りかける
—書き下し信仰と人生を語る座右の書
聖母の騎士社 〒850 長崎市本河内町196 ☎0958-24-2080

中央出版 福岡支部

■キリスト教関係、書籍、家庭の友
■典礼聖具
■ビデオ、カセット・テープ
〒810 福岡市中央区小笹4丁目11-11
聖パウロ修道会内
TEL 092-531-0899

任意保険に加入してから車の運転を致しましょう。
自動車、火災、傷害、海外旅行傷害保険、保育園、幼稚園児を守る、企業賠償保険・疾病保険

福岡市城南区樋井川3丁目17-10
大石保険事務所 大石 真澄
〒815 TEL 092-552-8195

各種高圧ガス・溶接材料・その他

松尾産商株式会社

社長 松尾 光敏
北九州市若松区藤ノ木1-4-24
TEL 093-771-3657

信者の皆さん今年もどうぞ宜しく

(株)メガネの正視堂

行橋市駅通り本店 ☎2-0646
行橋市駅前5秒店 ☎2-2390
北九州市黒崎年金病院前店 ☎641-4321
北九州市黒崎駅前名店街店 ☎641-7177
北九州市ダイエー城野店3階 ☎922-5637



未来へ—安心を創る

FUJIKI 藤木工務店

福岡支店 〒812 福岡市博多区博多駅前3-1-1 TEL 092-441-6585 (代表)
取締役社長 藤木 鐵三 福岡支店長 藤倉 良夫

吉川病院

院長 吉川 東陽

福岡市中央区平尾四ツ角 TEL 092-521-0568

福岡教区報

平田司教認可
発行所 福岡市中央区浄水通39 福岡司教館
発行人 福岡司教区 義隆
編集 渡辺 隆 福岡3-5139
電話 092-522-5139
定価 一部60円



第2回司牧評議会 教区の優先課題を討議

福岡教区司牧評議会(司牧評)は、9月27日午後2時より第2回総会を開催、平田司教をはじめ23名の評議員が出席した。

今回は、前回審議未了だった司牧評の規約の見直しを行った後、「教区の各種委員会設置」「教区の優先課題」が重点的に話し合われた。

日本各地で中央協議会の各々、これまでの宣教は個人で早急に必要委員会を設けて、種委員が全国レベルの活動の回心を願うにすぎず、家庭と教会の助けを必要に感じている。5月には広島で「広報委員会」の全国協議が行われ、「ナイス」の全国協議をテーマにした「ナイスを深く浸透させる工夫」が話し合われた。

7月には「家庭委員会」(担当・糸永真一司教)が「家庭、その愛と性」をテーマに東京で研修会を開いた。ここでは、教皇ヨハネ・パウロ二世の使徒的勧告「ファミリアリス・コンソルチオ」が紹介され、「教会が救いの対象を家庭単位としたことは、画期的なことである」と指摘が、今回の司牧評で教区として、まず「家庭委員会」の設置が急がれていた。

教区各種委員会

福岡教区においても、各種委員会の充実が急がれていた。司牧評で教区として、まず「家庭委員会」の設置が急がれていた。司牧評で教区として、まず「家庭委員会」の設置が急がれていた。司牧評で教区として、まず「家庭委員会」の設置が急がれていた。

教区の優先課題

優先課題については、まず「家庭委員会」の設置が急がれていた。司牧評で教区として、まず「家庭委員会」の設置が急がれていた。司牧評で教区として、まず「家庭委員会」の設置が急がれていた。

典礼について思うこと

教区典礼担当司祭 松井 忠之



九月の終わりに大名町教会とが「共にささげる」上で大切な西日本地区典礼研究会が開かれました。また特に大切な事は実生活と典礼を密に結びつけることです。そのためには自分の毎日の生活を神への捧げ物とする事です。ある司祭がこう言っていました。「日本人は人に招待されたら手みやげを持って行く、ミサは神からの招きであるから捧げ物を持って行かないといけない。その捧げ物は自分の生活である」と。

典礼の大きな役割は「礼拝」と「聖化」です。自分の生活を神への捧げ物として聖化していくことが典礼を生かすことにつながり、典礼への積極的参加につながって行くように思います。今の私たちの典礼は以上のことが足りないように研究の時の参加者の声から感じました。大切なミサに与るだけでなく、自分の生活をミサとおして捧げることです。

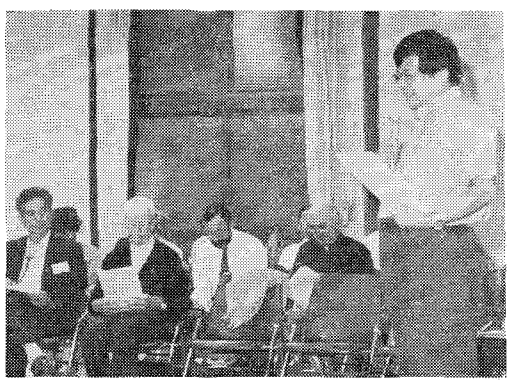
今月のみこば
もつと熱心に、絶え間なく御顔を仰ぎ従うことが出来ますように
(聖アウグスチヌ)
聖パウロ会 杉原寛信神父

規約の見直し

前回審議が白熱した司牧評議会規約第3条「目的」を育成することを目的とする。前項の目的を達成するために、活動におけるあらゆる使徒的実践を把握し、考慮し、調整して司牧活動に関する事項について実際の指針を作成すると改訂した。

前回は、前回の審議が白熱した司牧評議会規約第3条「目的」を育成することを目的とする。前項の目的を達成するために、活動におけるあらゆる使徒的実践を把握し、考慮し、調整して司牧活動に関する事項について実際の指針を作成すると改訂した。

西日本地区典礼研究会 問われるミサ参加姿勢



説明をする典礼委員関根秀雄師

と題して、生活と典礼の遊離について述べた。一日目の典礼をふりかえって、長いテームで、崎、広島、高松、福岡の代表4名が、二日目「生き生きとした典礼づくりに向けて」のテーマで、大分、福岡、那覇の代表4名が発言した。午後からは助言者からのコメントとして、典礼委員の4司祭の発言があり、最終日はこれからの典礼の向上を目指すという意図が交わされた。

提起された内容で共通した問題点は①ミサに遅刻する②後の方に座る③調子が上がらないなど、その原因として義務感で

時の話題

稲垣良典

亡くなった父や母、妻、子、そして他の人々への愛情のために、彼らに対する敬虔な心情から深い悲しみを感ずる。自分たちの祖先が救われな

亡くなった父や母、妻、子、そして他の人々への愛情のために、彼らに対する敬虔な心情から深い悲しみを感ずる。自分たちの祖先が救われな

福音宣教と死者

難問の一つであった。今日のわれわれの教会はどうか。現代社会が「世俗化」した、「現世中心」だとい

難問の一つであった。今日のわれわれの教会はどうか。現代社会が「世俗化」した、「現世中心」だとい

みちくた

高齢化社会の波は、教区の司祭団にもひたひたと迫っている。現在の教区司祭(宣教会や修道会に属さない)38名の年齢構成は70歳以上5名、60代13名、50代6名、40代4名、30代5名、そして20代が5名となっている。10年後にはどうなるか?このため、司祭たちの老後が差し迫った問題となっている。だが、司祭仲間と、あるいは信徒の間で、論議されたという話を聞かない。タブーと思われているのか、無関心なのか、それは分からないが、そこで、幾人かの信徒の方から受けた質問に、個人的な意見として、答えてみたい。一般的に、宣教会・修道会の司祭の場合は所属する教会が、教区司祭の場合は教区が面倒をみるようになってくる、といえる。そのために、宣教会・修道会の司祭は、自分の収入のすべてを自分の会に差し出すことになる。問題は、教区司祭の場合である。筆者も含めて司祭は、目下のところ、教区司祭は、自活を原則としている。このため、いきおい「老後のことは自分で心配しなければ」ということになる。けれど、老後が心配でとか、教区(民)の世話になりたくないとかで、世間で貯金しなければならぬ。司祭の姿などわがわがなの。もちろん、こんなことを言うと、「老いをまだ実感としてとらえることができないから」とか「社会や教区の現実を知らないから」というもともたな批判が返ってくる。確かに、司祭に老いは現実のことと心配して悪いことはない。ただ、「明日のことを思い煩うな」「きょう必要な分だけをきょう与えてください」と祈れ」と言われていることは肝に銘じておきたい。弟子たちがそうであったように、信徒の祈りと経済的支援によって、司祭は、まず神の国の福音をのべ伝えるはずだから。

福岡地区司祭が 対話と交流促進

以前から要望が強かった、福岡地区(北九州を除く)の司祭たちの集まりが、10月4日、司教館で初めて行われ、平田司教をはじめ、20名の司祭たちが出席し、関心の高さがうかがわれた。

11月26・27日に 教区青年練成会

青年たちの手で企画されている「教区青年合同練成会」

九州大学文学部教授 古賀教会所属

九州大学文学部教授、古賀教会所属

平和について考え、祈る「広島平和祈願祭」で、今年も、平田三郎司教が説教を担いだ。自身の戦争体験をとおして語られる。「真の平和とは何か」「平和の基礎はどこにあるのか」などいくつものテーマを司教と一緒に考えてみたい。

皆さんにお話ししようとして、これらのお話を聞きながら、今も驚いていることは、当時の教育の力であり、徹底した軍国主義、民族主義教育による洗脳が、国民をどう与べき義務を果たさなければならないか、想像に絶する環境にありながら、一億総玉砕があたりまえのように(異常とは思わずに)受け入れられていたことである。

日中戦争が激しくなってきた頃、私は神学生で、パリの大神学校で勉強して、ヨーロッパの批評を、読み聞かしながら、また、中国から来て共に生活していた数名の神学生たちと、まずい思いをしながら暮らした。パリでの司祭叙階の三か月後にヨーロッパの第二次世界大戦が起ると、南フランスに、馬なら八頭、人なら四八人、と書いた貨車に乗って逃れ、三か月後に神学校に帰ると、学び家の三分の二はドイツ軍に占領されておられ、帰国までの一年か月の間、毎朝校庭に響く軍歌を聞きながら暮らした。軍艦で横須賀に上陸したのは太平洋戦争の始まる六か月前でした。こうして私は日中戦争、ヨーロッパ戦争、太平洋戦争を体験したのでした。

四十年前の八月六日に広島、九日には長崎に原爆が投下されました。私が三十二歳の時でした。長崎浦上出身で、福岡の神学校の家族で、浦上の丘で被爆し、母と数名の兄弟姉妹が亡くなったと聞き、一週間後、その神学生と一緒に墓参りに行きました。焼け野原に形だけの埋葬をされたお墓の前でお祈りをした後、周囲を見回しますと、近くは戸板に載せられ、焼け浦団を掛けられたままの遺体が、一週間も経っているのに放りっぱなしにされていました。全市は当時、大きな混乱の中にありましたが、もう一人の神学生は、中町の教会の近くの小学校に、焼けただれて叫ぶ数名の被爆者の中で、うめいていました。長崎駅前や町のあちこちには、直径二十メートルはあるかと思われ、白い環が見えましたが、これは市内から集められ、山積みされて焼かれ、取り残された小さな遺骨の白い環だったのでした。

平和がみだれ、地球上のいたるところに戦争の火の手が上っている今日、力の均衡を保つという名目で、貯蔵を重ねる魔の兵器、資源枯渇などの口実のもと、利潤を追求するために、以上の危険な原爆の設置など、どこを見ても、宇宙船地球号の明日の命はどうなるのか？ほんとうに不安な時代に私たちは生かされています。この不安を取り除くためにどうしたらよいのか？

平和

福岡教区報

平田三郎

平和とは、ただ単に、外的な戦争のない状態だけを言うのではなく、心の平和、家庭の平和、社会の平和、国々の平和、世界の平和が並びます。

Ⅰ 平和とは何か

Ⅱ 正義の履行

Ⅲ 正義の上の愛

正徳の履行です！言うに易く、実行に非常に困難です。私たちが常々思うべきは、原罪の傷あとともいえるべき強いエゴイズム、個人的なエゴイズムもありません。自分さえよければ、他人はどうでもよい、自分の国さえよければ、他の国はどうでもよい。自分を、自分の国を富ませ、楽な生活が出来るために、人の苦しみを顧みない態度です。自分の非を認めず、これを人のせいにするエゴイズム。

私たちが、この姿を、人祖の中にみることが出来ます。神の掟に背いたアダムとエバは、自分の弱さを認め、「すみません、ごめんください」といって心はなごやまを人にのせいにしました。「あなたと一緒に下されたあんなのが、木の実を取ってくれたので食べました」と言って女のせいにし、女も「蛇がだまして食べたので食べました」と言っているのを見せました。悔い改めの心は持ちませんでした。

⑥ 各国が持っている権利が、外国から認められず、外国に対しての連帯責任を果たさないことから起る二国間の、あるいはブロック間の競争。⑦ 工業先進国が、当然の権利として、第三世界の産品に對しての正当価格を、その貧困につけて買いたたき、社会正義を怠ることから起る南北格差の前進。⑧ 武器を取って立ち上がるまでには行かないとも、機軸があれば報復しようとする人々の心は、戦争状態であり、真の平和はないのです。

このように考えてきますと、平和の基礎は正義という秩序の中にあると言ったことが出来ます。

Ⅱ 正義の履行

Ⅲ 正義の上の愛

実行困難な正義を推進させるためには、人類は同じ父を戴く兄弟であり、互いに弱い兄弟であるので、互いに救い合い、助け合う心、つまり、固い自分と言う殻から抜け出し、他者に向かう思いやり、愛が必要で、いくら口で平和！平和！と叫んでも、救済の心がなければ、正義の実行は力が足りません。愛と愛を以てする義務を喜んで果たさざるを得ません。

聖フランシスコの平和の祈りの中に「主よ、受けるより与えることを、愛されるより愛することを、多く赦されたゆえに多く赦す力を与えて下さい」とあり、愛するがゆえに救い合って和睦になるのです。

救済ということは、個人生活において、いわんや社会、政治の生活において、正義を合点のないとも考えられるのせんが、キリスト教の世界において、それは、平和の究極観のつかみ、単純でない事柄を、単純化する世論には力が生み出されません。

一九八八年、広島平和祈願祭の追憶として聖アウグスチヌスの次の祈りを残したいという事柄もあって混乱していた。企画会議の時など、一時はたったの四名だった時も、焦りと不安が入りまじる中、開催の日が近づいていったが、暖かい協力のおかげで、パンフレットも完成した。参加者は昨年より減ったが、大神学生二名も含めて二十名近くが集まった。

会場は小神学校。食事の準備も司教館の台所を借り、自分たちでやった。もともと数々の失敗はあった。だけど、お互いチームスピリットは抜群だった。

松井、森山の両神父様の講話も分りやすく、かつ、とてもよかったです。講話の後、二班に分かれて、分科会をやった。改めて、祈りについて考えるようになった。二日目の午後は、スポーツとして夕食は鉄板焼き、晩にはレクリエーションと盛り上がった。まあ遊び好きが集まったので、雰囲気もよかったです。

飛び入りもあった。二泊三日の練成会は花火のごとく、華やかで美しく、(?!?)も、あつという間に終わってしまった。花火と言えども、教会の屋根にロケットを打ち上げ、おちあつた不届き者(?!?)が一名ほどいたと思ふ。

今年の練成会は、不備も多々あったし、小規模であるが、十二分に有意義なものであった。聖母文庫にでもして、多分色んなものを得ることができた。協力してくれた全

ての人に……感謝！特に今回の練成会では、快く会場を提供してくださった松井神父様に、厚くお礼を申し上げます。

高校生に栄えあれ！

(西新教会)

久しぶりに感動した本『ボネ神父様の思い出』

山田春秋

ルルドと禁煙

鶴野泰年

ある家庭を訪問した。そこには立派な庭があり、庭の片隅に水が流れて、勢いよく水しぶきをあげている。水が吹き散る音が、心癒やしてくれる。庭の隅には、水が流れて、勢いよく水しぶきをあげている。水が吹き散る音が、心癒やしてくれる。

ある家庭を訪問した。そこには立派な庭があり、庭の片隅に水が流れて、勢いよく水しぶきをあげている。水が吹き散る音が、心癒やしてくれる。

ある家庭を訪問した。そこには立派な庭があり、庭の片隅に水が流れて、勢いよく水しぶきをあげている。水が吹き散る音が、心癒やしてくれる。

夏練成会は花火のように

高三 柴田智成

(妻)人生「BORN TO PRAY」(祈るために生まれてきた、と言うところから)が、今年の練成会のテーマだった。

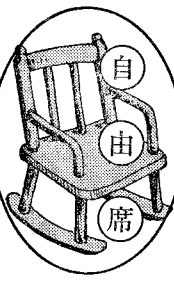
担当司祭移動後、初めて企画会議の時など、一時はたったの四名だった時も、焦りと不安が入りまじる中、開催の日が近づいていったが、暖かい協力のおかげで、パンフレットも完成した。参加者は昨年より減ったが、大神学生二名も含めて二十名近くが集まった。

会場は小神学校。食事の準備も司教館の台所を借り、自分たちでやった。もともと数々の失敗はあった。だけど、お互いチームスピリットは抜群だった。

松井、森山の両神父様の講話も分りやすく、かつ、とてもよかったです。講話の後、二班に分かれて、分科会をやった。改めて、祈りについて考えるようになった。二日目の午後は、スポーツとして夕食は鉄板焼き、晩にはレクリエーションと盛り上がった。まあ遊び好きが集まったので、雰囲気もよかったです。

飛び入りもあった。二泊三日の練成会は花火のごとく、華やかで美しく、(?!?)も、あつという間に終わってしまった。花火と言えども、教会の屋根にロケットを打ち上げ、おちあつた不届き者(?!?)が一名ほどいたと思ふ。

今年の練成会は、不備も多々あったし、小規模であるが、十二分に有意義なものであった。聖母文庫にでもして、多分色んなものを得ることができた。協力してくれた全



福岡黙想の家

御受難修道会 宗像修道院 (院長：畠基幸)

1989年3月オープン予定

連絡先：宗像郵便局私書箱5号 ☎0940(32)3222
〒811-41 宗像市大字名残字立山1056
(JR赤間駅からバスで10分；若宮インターから10分)

熊本石材株式会社

熊本市島崎4丁目2ノ68

電話 096-352-3306
096-352-8622

式典・花

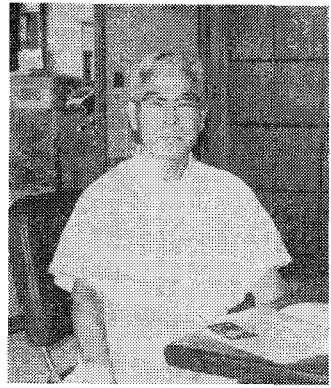
木下株式会社

福岡 (712) 8022 久留米 (33) 7401
佐賀 (30) 4040 小郡 (72) 3482

老齡は信仰の成熟期

野田義之さん(72)が連帯の呼び掛け

武蔵ヶ丘教会



「やれることがいっぱい」と野田さん

社会の高齡化が問題になってきている昨今、キリスト者として、「老人はいつも信仰生活の向上をはかり、霊的若さを保とう」と熱く語る武蔵ヶ丘教会の野田義之さん(72歳)に自宅を話して見た。

野田さんは、旧国鉄を定年7つの小教区、福祉施設に転退職して、奥さんとふたり暮らしして居る。少しずつ増えている野田さんには驚くことに、年齢以上には若く若いこと。

野田さんに会って驚くことに、敬老の日(だけ老人のこと)を考へる風潮をチクリとやっただと、第一回ナイス(福音宣教推進全国会議)が「現代社会の高齡化という問題について十分考慮してない」として、下り坂ではなく、上り坂の人生であり、日本のカトリック老人信徒たちも、

「若者重視の教会への転換は重要なことだが、老人にもあるはず」であり、「老人たちは、現代の多様な考え方や価値観の中で振り回され、不安と希望の間を揺れ動いている」と代弁する。

このため、老人たちもキリスト者として自分の信仰生活のレベルアップに務め、人生をゆたかに生きるために自分でできることを見つけて実践して行こう、と呼び掛ける。

たとえば時間的な余裕を利用して①ミサや黙想会への積極的参加、聖書や要理の勉強も可能な生活、②病人、障害者や孤獨な生活をして居る人を定期的に訪問して面倒をみたり、③カトリックの印刷物を近所に配布したり、教会で要理の手伝いも可能な。また相互の友情を深めるために、旅行や懇親会、レクリエーションをしたり、絵画、工作などの趣味を活かして教へ合い、学び合うことも考えられる。このようなクラブは、定年

敬老の日の集い

「病者の塗油」で元氣回復

大名町教会

9月11日(日)、大名町教会では「敬老の日」にちなんで70歳以上の老人を対象としたミサと祝賀会が行われた。約60名ほどの老人に招待状が送られたが、そのうち27名が出席。共にミサを捧げ、その中で病者の塗油の秘跡を受けたが、緊張した面持のなかにも喜びの表情が見えた。

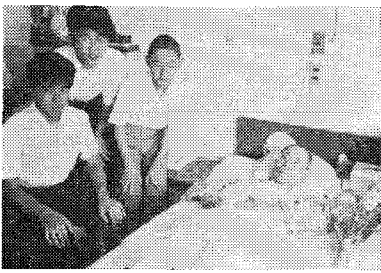
なかには「私は、まだ元気がよからぬ塗油はよかったです」といつて断る老人もいて、長寿国日本を思わせる光景も。一方、「臨終の秘跡」とか「終油の秘跡」のイメージも根強く残っている様子であった。

祝賀会では教会学校の子供たちからの「祈りの手紙」と合唱のプレゼント、婦人会有志の踊りなどがあり、心のもったもたに教会共同体の暖かさが感じられた。

大名町教会では病院や家庭で動けない生活をしている老人が多く、主任司祭の青木保師、助祭の森山信三師が毎週金曜日一日中、病人と老人を聖体を持って訪問、感謝されている。

また、独り暮らしの老人たちを訪ね、力づけている婦人信徒のグループもある。

福岡小神学生が病床の平田惣五郎師を見舞う



福岡小神学生が病床の平田惣五郎師を見舞う

福岡市の吉川病院に入院療養中で、教区司祭最長老の平田惣五郎師(83歳)を、敬老の日の9月15日、福岡小神学校の神学生たちの代表が訪問し、お見舞の言葉とコスモスの花を贈った。

平田師は、数日来、体調をくずしていたが、だいぶ良くなったとのこと、短い面会時間であったが、小さな訪問者たちを笑顔で迎えていた。

そして、「体は思うように動かなくなりましたが、教区の神父様、神学生、信者のみなさんの為にお祈りしています。今の私には祈ることしかできませんから」と語ったあと、小神学生の一人ひとりの手を両手で包みこんで握りしめ、感謝と励ましを心で表わし、祝福を与えた。

牧山美好さん(高3)の話は、教区のために尽くされたい。

ミサ(4)

「ぶどう酒は、ぶどうから作られた天然のもので、かつ腐敗していかないものでなければならぬ。」

◎ミサに使われるパンは小麦だけで作られたもの、ぶどう酒は防腐剤などの入っていない純粋なものでなければなりません。また、パンは無酵母でなければいけません。(イースト菌を使っているイースト)

第九二六条

第九二五条

「聖体拝領はパンの形色のみで、または典法規則に従って両形色で授けられる。必要な場合には、ぶどう酒の形式のみでも授けられることができる。」

◎旧教会法では、ただパンの形色のみで聖体拝領がゆるされてきました。(旧法第八二二条)新教会法では、パンだけでも、両形色でも(パンとぶどう酒)また、ぶどう酒だけでも拝領することができるようになりました。主の晩さんの記念として行われるミサの聖体拝領は、十二世紀頃までは両形色が一般的な拝領のかたちでした。パンだけの拝領はむしろ例外だったようであり、これは次回にたくわくみましよう。(小倉教会)

親善ソフトボール

毎年の恒例となった筑後地区の7教会(本郷、今村、久留米、小郡、大牟田、二日市、鳥栖)対抗ソフトボール大会が9月4日(日)午前10時半から大刀洗中学校を会場に開催された。

今年のは、第四回目、担当の本郷教会では、ソフトボールの他に、綱引きなどの種目も取り入れる予定だったが、途中から激しくなったあいにくの雨で、各教会とも子供と大人のソフトボールチームがそれぞれ一試合をおこなって終了した。

大きな声援に、選手たちも雨をふきとばすほどの張りきりようだった。



筑後地区の7教会親善ソフトボール

聖書と心

人間の本当のしあわせのためには、ものだけでは足りず、もっと心というものを大切にしなければならぬ。人の心を大切にするとどういふことなのか、どのように自分の心を持てばよいのか、本書は、聖書の中に、特にキリストの「言行録」とも言うべき福音書のなかにそれを見いだしていることとする。

著書は他に「人生を導く知恵」がこの不安な時代に「な恵」がある。

(中央出版社 一、三〇〇円)

BOOK 読み専科

☆老いは怖くない 三浦 朱門著

☆老いは怖くない

著者の両親の老いの形を眺めながら、自分が自分の老いの覚悟をきめ、積極的に老いと対決しようとする向老期の生きがい学。人生八十年時代になると、晩年には、死を見送るという大仕事が行っている。それが終わると、自分が死を待つだけ、ということになりかねない。

八十年型人生の親と子、家族、夫婦、そして教育についての提案。老いをおそれずに、より深く、より芳香に実年を生きようではないか、とすすめる。

(海草社 一、二〇〇円)

☆聖書と心 三浦 功著 (イエズス会士)

人にしあわせをもたらすもの

シリーズ

滞日アジア女性問題①

なぜ滞日アジア女性(じやばゆきさん問題)の救援活動が必要なのでしょう。

アジアのさまざまな地域から日本に出稼ぎに来る女性の数は、三万人ともいわれ、年々増加しています。しかし、わが国の出入国管理法は、外国人が日本に滞在する場合、特別な例外を除いて、原則として外国人の労働者に働く権利を認められていません。したがって、アジアからの出稼ぎ女性には、「演劇、演芸、演奏、スポーツ、その他の興業を行うとする者」としてしか合法的に働けません。90日以内短期滞在者として「観光」ビザによって入国した者は報酬を得る労働が許されません。

しかし、実際上、アジアからの出稼ぎ

目にあまる人権侵害

女性の多くは、「歌手」または「ダンサー」にとどまらず、「ホステス」等の入管法で禁止されている接客業に従事させられています。彼女たちは、いつでも「強制退去」(国外追放)される「不法」状態に置かれています。

その弱みにつけ込んだ売春の強要、賃金の未払い、暴力による強制労働など人権侵害が頻発しています。

病気になるための保証、休日も与えられず、自由に外出も認められないなど劣悪な生活環境と労働条件の中に置かれていた場合が少なくありません。

同じアジアの隣人でありながら、現在の入管行政は事実上彼女たちを無権利状態に置いています。

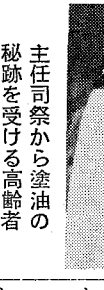
今、彼女たちの困難に対して、共に生きる市民の立場から、具体的な救援や援助の活動が求められています。彼女たちが遭遇している困難を見届けることは、日本の社会が生み出している不正に手を貸すことになりません。

回答者 中島真一郎(滞日アジア女性問題を考える熊本県会事務局)

退職後のカトリック信徒と

趣旨に賛同するカトリック信徒とでは、このような老人の集まりはないというので、関心の的である方々と一緒に考え、ぜひ実現させたい」という野田さんの言葉にはキリスト者としての永遠の若々しさが感じられる。

連絡先 菊池郡菊陽町津久礼二七〇の五 野田義之 電話 096-331-2909



主任司祭から塗油の秘跡を受ける高齢者

祭壇・洗礼盤他

石のパイオニア 高木石材株式会社 〒860 熊本市段山本町2-21 TEL096-352-2417

素材 大御所 理影の 石石他

総合建設業 八千代建設株式会社

取締役社長 田中 清

取締役副社長 渡辺 勝三郎

〒810 福岡市中央区薬院3-2-9 TEL 092-531-1231

会合と催し

十一月の行事

- ※ゴチックは司教日程
- 1日 晩星百周年(武道館・プリンスホテル)
- 3日 召命の集い(サン・スルピス大神学院)
- 6日 青年会集い
- 墓地ミサ(北九州カトリック納骨堂)
- 午前11時
- 7日 教区司教懇話会(長崎懇話の家)
- 10日 福岡地区婦人委員会(東京聖母幼稚園)
- 12日 信徒協全国大会(古賀教会)
- 13日 古賀教会聖信式
- 午後1時30分
- 墓地ミサ(熊本カトリック納骨堂)
- 午前11時30分
- 16日 パザー(志免教会)九州地区司教集会(大神学院)
- 17日 スルピス祭

福岡教区青年合同練成会

てーま —愛・きづく—

いつ 11月26日(土)~27日(日)

どこで カテドラル・センター

なにを ブロック間の交流と分かち合い

かいひ 2,500円

といあわせさき 青木悟神父(手取教会) ☎096-352-3030 松熊 覚氏(飯塚教会) ☎0948-42-4059

分科会のテーマ

- *労働 *信仰 *結婚 *男女交際
- *性 *宣教 *生命 *教会 *友人
- *青年会 など12の問題をホソネで



山田師は、一兼任というこ

り、大きく十字架のしるしをしながら、孫のように若い神父を祝福なさった、というのです。立ち上がった若い神父は、老神父の手をにぎりしめながら「神父様、長い間ご苦労さまでした。後はわたしたちが頑張ります。もうあれませんが、今度は天国でお会いしましょう」と、さらりといひながら、部屋を後にしたそうです。

以上、その場に居合わせ、深い感動のうち、二人の神父の様子を見ていた人たちが、老神父は「わたしは、永遠の祖国への旅立ちです。かれらは、この世は「仮のすまい」(コリント後5・1)にすぎず、「わたしたちの国籍は天国にある」(フィリ3・20)という聖パウロの教えを確信しています。だから、わたしを信じて生きる者は、すべて永遠に死ぬこ



死について

山内 清海

二人の神父は、死を、決して怖がらなかつた。むしろ、死を、決して希望を失うようなことがあつてはならない、と教えます。

死についてのわたしたちの信仰は、確固たるキリストの復活であり、いのちである。わたしを信じて生きる者は、すべて永遠に死ぬこ

安がなくなりまして。やる気いっぱいです」とのこと。信徒への希望は「神の望まれる道を証人として一杯動いていく教会、宣教へ向けて動きのある教会にしたいですね」と語っている。

F・ハーン神父 古賀教会に着任

カトリック福岡教区墓地 水田 三木雄(大名町) 熊本カトリック納骨堂 深堀 秀市(武蔵ヶ丘) 北九州カトリック納骨堂 大石 明(湯川)



山田師は、一兼任というこ

フランシス・ハーン師(オブレイト)は、一九六七年九月来日、早稲田大学で日本語を修得。上智大学神学部に学び、一九七一年東京で助祭叙階。一九七二年四月二九日、N・Y州パツファロー市で司祭に叙階された。

叙階後は、この9月まで徳島の阿南教会(高松教区)で司牧して来た。

着任の感想は「福岡へ行くように言われた時は外国に行くほど不安でした。しかし、早速、司祭集会に参加したり求道者のお勉強も始まって不

▽日本社会の高齢化の問題がマスコミでもさかんに取り上げられるようになった。日本教会も無関心であるはずはないのですが、本格的取り組みはまだ先のようなです。

「常日頃から老人問題に関心をもってもらいたい」という野田義之さんのご指摘、もつともだと思います。

教会のなかに世代間の対話が豊かになることが福音宣教の活性化にもつながっていくのではないのでしょうか。若者の行動力とお年寄りの叡智の橋渡しを壮年層に期待しています。

▽生きてるミサを考えていたとき、自分が信者席でミサに与っていたころ、ミサを司式していた司祭たちの信仰に感動していたことを思い出しました。(W)

白秋とともに泊りし天草の 大江の宿は伴天連の宿

吉井 勇

「夜の心」にのわれは人の哀しみと美しさを見事に歌いあげたところであった。彼は谷崎と同年八月、鉄幹、彼は谷崎と同年で、彼より三か月若かった。いつも谷崎を上席にすえたという。谷崎の隨筆によれば、彼は伯爵の御曹子でありながら、ちっとも華族ぶらない、下町風な生活をした。京舞の井上流の名手で、名妓であったあの女は、彼の遺骸の前でこう言っていた。『吉井先生、なんでも菊の花になっておしまひやしません。』

森山 敬三

の旅行はわが国におけるキリスト文学復興の端緒となった。パレレンは神父のこと。勇は斜のちまたに遊び、華奢風流を好んだが、彼の本領はそこになかった。紅灯のちまたに往きかへらざる人をまことのわれと思ふや。まこと

信者の皆さん今年もどうぞ宜しく

(株)メガネの正視堂

行橋市駅前本店 ☎2-0646
行橋市駅前5秒店 ☎2-2390
北九州市黒崎年金病院前店 ☎641-4321
北九州市黒崎駅前名店街店 ☎641-7177
北九州市ダイエー城野店3階 ☎922-5637

吉川病院

院長 吉川 東陽

福岡市中央区平尾四ツ角 TEL 092-521-0568

老神父は、末期の癌に冒され、余命いくばくもないという過酷な宣告を冷静に受け止め、病院で闘病生活を続けながら、祈りのうちに死を準備して行きました。病院関係者の心配をよそに、かれには毎日、見舞い客が絶えなかつたようで、それはまた神父の最大の喜びでもあつたようです。

ある日、若い一人の司祭がこの老神父を訪問していましたが、見舞い客があまりに多いので、早々と別れを告げなければなりません。そのとき若い神父は、老神父の側に膝まずいて、「神父様、わたしを祝福してください」といつたそうです。老神父は「こりと笑みを浮かべ、しかしあるだけの力をふりしぼ

パリー-外国宣教会司祭 丸剛良家著 絶賛発売中 定価 1200円

人間は何のために生きるのか

真にこの問題について知り、解決を求めたい人のために！

人生95年 心のなかに生き続けた神が不思議な声となって今、私の魂に語りかける

—書き下し信仰と人生を語る座右の書

聖母の騎士社 〒850 長崎市本河内町196 ☎0958-24-2080

中央出版 福岡支部

- キリスト教関係、書籍、家庭の友
- 典礼聖具
- ビデオ、カセット・テープ

〒810 福岡市中央区小笹4丁目11-11
聖パウロ修道会内
TEL 092-531-0899

任意保険に加入してから車の運転を致しましょう。

自動車、火災、傷害、海外旅行傷害保険、保育園、幼稚園児を守る、企業賠償保険・疾病保険

福岡市城南区樋井川3丁目17-10
大石保険事務所 大石 真澄
〒815 TEL 092-552-8195

未来へ—安心を創る

FUJIKI 藤木工務店

福岡支店 〒812 福岡市博多区博多駅南3-1-1 TEL 092-441-6585 (代表)
取締役社長 藤木 鐵三 福岡支店長 藤倉 良夫



カノッサ修道女会の創立者 聖マダレナ・カノッサ

複雑な家庭環境と 愛の観想への歩み

マダレナ・カノッサは一七四四年、北イタリアのペロナに、六人姉弟の三女として誕生。幼少期の父侯爵の突然の病死と、それに伴う再婚する母との離別、青年期における長期間の闘病、家庭教師の無...

死者の洗礼

鶴野泰年

ある日白髪の上品な老婦がミサに来た。カトリックの養いを受けたこの教会を思いだした。カトリックの養いを受けたこの教会を思いだした。カトリックの養いを受けたこの教会を思いだした...

一族の種々の問題に拘束される。広範囲に渡るそれは、多くの活動力と強固な責任感の中によく果たし、十字架の上のキリストと悲しみの聖母の愛を観想する日々は、一段と強化されていった。やがて神の愛自らが彼女に火を点じ、パンと教育と神に...

貧しいキリストに 仕える修道会設立

一八〇八年、家族の最後の反対を克服して、カノッサ宮殿を後にする。同年、神のみ旨である、貧しい人の中におられるキリストに仕える、生活を本格化した、愛徳の娘修道会(日本ではカノッサ修道女会)を設立した。

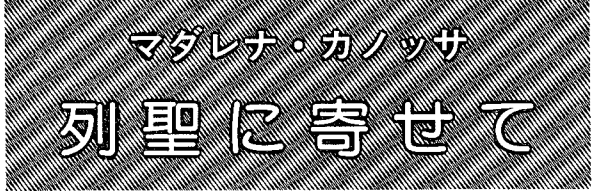
一八二八年には教皇レオ12世によって、会憲が認可され、これを機に、当時まだ数少ない活動修道会としての活躍の場が、時代の要請に答えて全イタリアに急速に広がっていった。

一八三一年には、もう一つの修道会を創立した。愛徳の息子の会と呼ばれる男子カノッサ修道会がそれで、ベネチアに始まり、やがてペロナにも開設されることとなる。マダレナは全てにおいて全く私心のない精神を生きて、修道会の限られた状況の中に留まるとなく、その活動を展開していった。その奉仕の主対象は常に貧しい人、殊に貧しい子女であったが、同時に貴婦人や召し使、地方の若い女性、船頭、理髪師の見習、商人等、社会のあらゆるカテゴリーの人々に配慮した。要理教室、セミナリー、黙想会等は「知られていないので愛されていなければならぬ」と伝え

信徒の働きに対し 正しい理解と評価

一方、信徒の善意と力を正当に評価したマダレナは、理想実現のための力強いもう一方の協力者として、彼らを協働者の輪の中に巻き込んでいった。

協力者たちは、精神的にも経済的にも、直接または間接的に「キリストを知らせ、愛させる」活動を援助した。彼女は、生涯あるいは一時期を協力者として、徹底的に献ける人々の養成を定期的に行っていた。こうして信徒使徒職の先鞭



Sr. 大田 暁子 (カノッサ修道女会)

度もお捧げした「創立者の意志は、一八六〇年の東洋派遣によって実現する。この中国での開設と共に海外宣教熱は一層高まり、現在では世界五大大陸に24管区を置き、約四千人の会員がマダレナの夢を追求している。

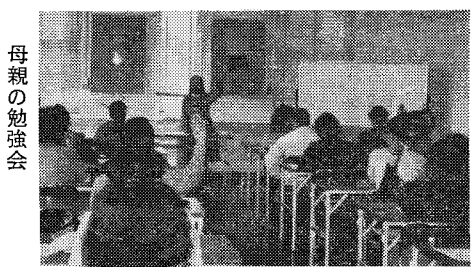
一八三五年4月10日の聖金曜日に、マダレナ・カノッサは、娘である多くの会員に見守られて帰天した。一九四一年、ピオ12世によって福者と宣言され、本年10月2日、ヨハネ・パウロ2世は、パチカンで列聖を宣言された。「地の果てまでも」一名の宣布に行くことを望み、「どこにでも行きます」と主に何

聖人の遺志を継ぎ 教区で教育に献身

日本には、故深堀仙右衛門司教の招へいにより一九五一年に来福。現在、国内五カ所に修道院が開かれ、福岡教区には大牟田の明光学園中学校・高等学校、水俣の明光幼稚園を活動基盤とする11名の会員がいる。



伸び伸びとした学園生活



母親の勉強会

校や信仰体験合宿、成人の要理指導、黙想会、病人や老人の訪問、日常的出会いによる地域の人々との交わりの場にも、福音化への会員の営みがある。

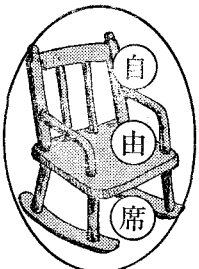
世の福音化のため 活躍する第三会員

また、修道会創立と平行して始まった第三会は、日本では近年「在世カノッサ会」の呼称のもとに再出発し、本教区でも社会のただ中で神と兄弟姉妹に開かれた生活の具現に努めている。

学校教育の場では、神の愛が引き起こす他者への無償の愛に生かされた奉仕の心(愛と奉仕)の育成と、「風俗習慣を悪化させ、信仰も失わせる悪」と罪をくいとめることを責務としたマダレナの心(予防教育)が生かされている。また、国際化社会に向けて技術(英語)と心(心の教育)の両面からの対応も開校以来、伝統的に取り組まれてきたもので、本校の特色もお勧めしたい。



静修の時間に自己を見つめる明光学園の生徒



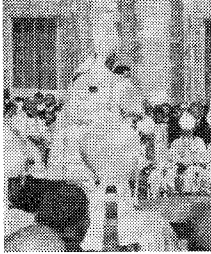
聖マダレナ・カノッサとの新しい出会い 平田 悠貴子



「マダレナ・カノッサが列聖されました。お母さんと一緒に列聖式に参加されませんか」。本当に思いがけない嬉しなお誘いでした。家族の深い理解に甘えて、私は初めて母と旅行することになりました。

婦人会で高松へ 親睦・巡礼旅行

牧山 満安



十月二日、真夏のような太陽の輝く中で、教皇様の司式により、マダレナ・カノッサは列聖され、サン・ペトロ広場は、世界各地から集まってきたカノッサの兄弟姉妹で喜びに湧きました。

今回の旅行の中で、実際にマダレナが生活し、働き祈られた所を自分の足でまわり、手で触れ肌で感じていくうちに、遠い存在でしかなかった創立者は、実は私に大きな影響を与えた大切な方である事が分かってきました。明光生はマダレナによって、初めて神様の事や祈る事などを学び、神様と出会う事が出来たのです。このマダレナが聖人になられた事は、私たち明光生にとって大きな喜びであり誇りです。旅の中で、神様から愛されている事を心の底から感じました。愛されていると感じる事は、本当に嬉しい事です。神様は私たちをどんなに大切に思い愛しておられるか、私を母を、そして全ての人々を。これらの事をマダレナは列聖式に招いて教えて下さいました。「母なる聖マダレナ・カノッサ、私も貴女のように、神様の道具となつて、熱心に働く事が出来るように祈って下さい。貴女が私たちに愛して下さいましたように、私も出会う人々を大切に思い、愛する事が出来ようように」。(熊本・手取教会信徒)

福岡地区婦人会主催による、四国高松行き一泊二日の親睦旅行は、去る9月22・23日の両日、男女47名が参加して行われた。福岡教区ご出身の深堀敏司教様がおられる高松教区の司教館落成式への参加と瀬戸大橋見学などが主な目的であった。初日、我々は汽車を乗りついで高松市桜町のカタドラルに直行。午後2時から落成式に参列した。式の中で司教様は「神と人、人と人の出会いの場となることを念願して、ここを四国カトリック会館としました」と挨拶した。司教様は、福岡在任当時と少しも変らぬ優しさと、ほど回り大きくなされた感じでお元気に活躍され、共に再会を喜び合った。その後、与島からの遊覧船海丸に乗って海から瀬戸大橋の景観を満喫した。翌朝、司教様は高松教区の信徒大会に先立ち、我々のため特別にミサと懇話の時間を下さるなど心を砕いて下さった。教会と別れを告げ、一行は、屋島の合戦跡や栗林公園などを巡り、家族的小旅行を楽しんで無事帰途についた。(佐賀教会信徒)

福岡黙想の家

御受難修道会 宗像修道院 (院長: 島 基 幸)

1989年4月 オープン予定

連絡先: 宗像東郵便局私書箱5号 ☎0940(32)3222 T811-41 宗像市大字名残字立山1056 (JR赤間駅からバスで10分; 若宮インターから10分)

熊本石材株式会社

熊本市島崎4丁目2ノ68

電話 096-352-3306 096-352-8622

式典・花



福岡 (712) 8022 久留米 (33) 7401 佐賀 (30) 4040 小郡 (72) 3482

召命の集い

サン・スルピス大神学院で

神学生と一緒に召命を考える

九州各地から千名集合

秋の風物詩となった、サン・スルピス大神学院の「召命の集い」が、今年も、よい天気に恵まれた、11月3日、同神学院で開催された。

この催しは、遠く一九六二年11月23日に行われた「一日の参加者」を起源とし、当日の参加者は、待望の子供たちを中心に、一六四名であった。



おもいっきり遊ぶ子供たち

日担当してくれる大神学生や小神学生と対面のあいつ。広場で行われた開会式に望み、歓迎の言葉を受けた。

その後、スライドを見た。神学院を見学した。屋前から、平田司教とともに三十名あまりの司祭たちによる共同ミサに参加。また、昼食後は、神学生と一緒にみんなでゲームを楽しみ、最後に子供も大人も総出で綱引きを楽しんだ。

北九州カテキスタ会研修

視聴覚教材の活用学ぶ

北九州カテキスタ会主催の「教会学校リーダー研修会」が10月31日(日)、聖パウロ女子修道会のシスター三木を講師に迎えて、小倉教会で開催された。

テーマは、「視聴覚による要理教育」。

子供たちといっしょに学ぶために、教会学校のリーダーを引き受けたといっても、教会や神のことを伝えることは難しいと、日頃、悪戦苦闘している現場の教師たちにとって、大きなヒントを得ることができ有意義な集まりとなった。

シリーズ

滞日アジア女性問題②

日本ではさまざまな困難があるのに、なぜ日本に働きにくるのですか

日本にもブラジルやアメリカへの移民の歴史があります。明治から大正にかけて香港やマカオ等に出稼ぎに行き、からゆきさんと呼ばれた人々の例もあります。

日本の豊かさの陰で

ところで、一人当りの年間所得は、タイやフィリピンでは日本の約四十分の一程度です。物価の問題もありませんから、その生活を日本とそのまま比較できませんが、貧しい人々の生活がどんなに容易に想像できます。

特に地方には仕事がないので、若者たちは都市へ仕事を求めてきます。マニラの人口の七十％は二十五歳以下の若者だといえます。

しかしそこにも仕事はありません。その結果は明白で、海外に仕事を求めて行くこととなります。

では、その貧しさの原因は？ 大変難しい問題です。その理由は簡単ではありませんが、長い間の植民地支配が大きな原因であることは確かです。そして、資金不足や教育水準の低下、生産性を阻む文化的風土をその原因と考える人もあります。

豊かな自然資源を持っている東南アジアの人々が貧しく餓えており、豊かだといわれている日本の食料や資源の多くがその貧しい国々から輸入され、多くの日本人が飽食しています。

この事実を、私たち日本人がアジアの貧しさに無関係ではないことを示しています。

回答者 鈴木明郎(滞日アジア女性の問題を考える会・手取教会)

指入形など手づくりの工夫をしてきましたので、今回の研修会のテーマは丁度よい企画でした。ゴミの山を宝の山に変えるためのヒントも数多くいただきました。

小笠原氏が出席

ナイス推進委に

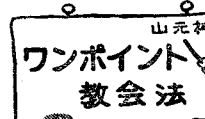
第5回目のナイス推進委員会が、十月二、三日の両日、東京で開かれ、司教委員5名、他24名が参加。福岡教区から小笠原勝巳さん(水巻教会)が委員として出席した。

折る教会

「折る教会」とは、二、交わりの教会(ともに)教会は神に集められた共同体で、その使命はキリストの福音を宣べ伝え、この世の秩序を福音の精神で満たし、完成すること。

ミサ

ワンポイント教会法



先月の続きです。「聖体拝領の色」の形はパンの色のみで、また、たは典礼法規に従って両形色で授けられる。必要の場合には、ぶどう酒の形式のみでも授けることができる。

以前説明したことがあると思いますが、教会法典にすべての法規が網羅されているわけではありません。たとえば、典礼に関する規定は基本的なものだけでなく、法典の第二条に次のような条文があります。

司祭たちも黙想会で

霊肉のリフレッシュ

教区司祭の年の黙想会は、11月7日から11日まで、長崎で開かれました。

今年、御受難会の福岡黙想の家が移転新築中で使えないうちに、長崎まで出向いたものだが、参加者27名は、指導司祭のP・イバニエス師の迫力ある説教に耳を傾け、過ぎし一年の、霊肉の疲労回復を図っていた。

BOOK

読み専科

☆十字架上のキリストへの同化をめざして
エルダ・ポッロナーラ著
大田暁子、アンナマリア・パッティ
共訳

マダレナ・カノッサは、会衆の精神、黙想、観想、模倣、姉妹愛等の全てを十字架上のイエス・キリストのうちに見出し、また、主と出会うことによって基をおいた。

私たちを十字架上のイエスへと、その神秘に導いてくれる。彼女はキリストの十字架を担って、彼の同化の道を歩み続け、浄化、完成されていった多くの人々のひとりである。

(ドン・ボスコ社 九八〇円)

☆シスターになったバキータ
レジタ・パンプロナ著
平川恵子訳

一八七六年頃、アフリカ中部、スーザンのある村での出来事である。

平和な農耕生活をしてきたこの村にも奴隷狩りがやって来る。バキータの辛い奴隷生活のうちに三回、主人が替った。教育な運命を辿り、最後にイタリア大使によって救われ自由の身となり、カノッサ修道女会のシスターとなる道が開ける。聖徳の誉れ高く、惜しまれながら帰天する。

一九七九年十二月一日、彼女の聖徳の偉大さは、現教皇によって認められた。劇画。(オーロラ出版 六八〇円)

総合建設業

八千代建設株式会社

取締役社長 田中清
取締役副社長 渡辺勝三郎

〒810 福岡市中央区薬院3-2-9 TEL 092-531-1231

祭壇・洗礼盤他

石のパイオニア
高木石材株式会社
〒860 熊本市段山本町2-21
TEL 096-352-2417

素材 { 大御影 石 石他

会合と催し

十二月の行事

- ※ゴチックは司教日程
- 4日 黒崎教会堅信式 午前9時30分
- ムジゲの会(韓国語の勉強会)午後4時30分
- 11日 新田原教会堅信式 午前9時
- 12日 福岡市民クリスマス 午後6時15分
- 13~16日 臨時司教会議(東京)
- 17日 聖書委員会 司教評議会 午後1時30分
- 21日 カナの会 熊本市民クリスマス 午後6時
- 22日 聖マダレナ・カノッサ列聖記念ミサ 大牟田
- 24日 クリスマスマシサ 福岡
- 25日 カテドラル・センタークリスマス平和行進 午後5時より(カテドラル)
- 1月15日 教区修道女連盟研修会(司教館)

教会	クリスマスのミサ		元旦のミサ	
	前夜ミサ(24日夜)	降誕ミサ(25日)	大晦日	元旦
カテドラル(福岡市)	18:00 20:30	0:00 9:00	0:15	10:00
小倉教会(北九州市)	19:30 23:00	10:00	0:00	10:30
久留米教会(久留米市)	19:30 22:30	9:00		9:00
佐賀教会(佐賀市)	20:00	7:00 9:00 18:00	0:00	11:00
手取教会(熊本市)	19:00 23:00	10:30	0:00	10:30

市民クリスマス

福岡 12月12日(月) 午後6時15分開演
メッセージ 李聖柱牧師 (大韓基督教會)

熊本 12月22日(木) 午後6時
人間関係とユーモア
*手話通訳があります
A・デーケン神父(上智大学教授)

入場料 大人六〇〇円 (当日七〇〇円)
子供 三〇〇円 (当日四〇〇円)

場所 熊本市市民会館大ホール
主催 熊本キリスト教連合会

祈りのつどい

場所: 聖心のウルスラ宣教女修道会 福岡修道院

日時: 1月15日(日) 午後1時半より
1月16日(月) 午後4時解散 (1泊2日)

指導司祭: 佐々木良晴師 (イエズス会)

参加対象: 未婚の女性信徒

会費: 3,000円

*申込みは 12月30日(金)までに、電話又はハガキで下記へ。

聖心のウルスラ宣教女修道会
〒815 福岡市南区塩原 4-25-20
☎092-512-0033

一九八九年度第一回 結婚セミナー

福岡

会場: カテドラル・センター
時間: 午後7時~9時20分
申込み: ファミリーセンター
☎092-541-0307

熊本

会場: 手取教会
時間: 午後7時~9時20分
申込み: 手取教会
☎093-655-0330

1月18日(水)
2月1日(水)
2月6日(月)
2月8日(水)

*所属教会、信者であるなしを問わず、どなたでも受講できます。

講師は、信徒と司祭の経験豊かなチームです。

ふき

わたしたちは待降節を迎えています。かつてイスラエルの民が、あらゆる試練と苦悩による浄化の道を歩みながら、救い主の到来を準備したように、わたしたちもこの待降節を通して、霊的にキリストのご降誕を準備しなければなりません。だから教会はこの期間の典礼を通して、「悔い改め」を説くのです。

待降節第二主日の福音(ルカ3:1-6)には「ヨルダン川周辺の全地域へいって、人々に罪のゆるしを得させるために、悔い改めのしるしである洗礼を宣べ伝え」ていた洗礼者ヨハネが登場します。

では、洗礼者ヨハネが説く「悔い改め」とは、具体的に何を求めているのでしょうか。待降節第三主日の福音(ルカ3:10-18)が、わたしたちのこのような疑問に答えてくれます。

ヨハネの強烈な説教に感動した群衆が、わたしたちに代わって「では、わたしたちはどうしたらよいのですか」と尋ねています。

ヨハネはまず、「下着を二枚持っている者は、持っているものを捨てなさい」と、愛ゆすり取ってはならない。自分の給与で満足しなさい」と説く「悔い改め」は、罪を避けるだけの消極的な生き方ではなく、愛の実践によって示唆されるように、もっと積極的な生き方を求めます。

ヨハネのもとには徴税人や兵士たちも来て、「先生、わたしはどうかしたらよいのですか」と尋ねています。当

待降節

山内 清海

時徴税人たちは、かれらがしめる道を説くことによって、キリストによる救いの普遍性を示唆したことが、とも考えられます。したがってわたしたちには、「悔い改め」への論じ、他人事のように考へたり、これに無頓着であってはなりません。ヨハネが説く「悔い改め」は、すべての人に向けられているからです。「悔い改め」はわれわれ信者には無関係なことだ、と考える人がいるとすれば、その人たちは「悔い改め」にふさわしくありません。

天使は羊飼いたちに、キリストのご降誕を「すべての人々に及ぶ喜び」と告げました。二重に感謝。

「いぶき」今号で終了です。執筆の山内清海神父様、長い間ありがとうございました。

これからもご専門の分野での執筆をよろしく願っています。

▽「時の話題」を担当していただき、稲垣先生には、キリスト者として、一歩後から正確に物事、歴史の推

かときのことのは

森山 敬三

「伊勢物語」その地の霊力を手に入れる最後の段に所収。むかし、それを「ひな」に対して「み」と、わづらひやびであった。業平も源氏も王家の血統をひくくおぼえければ、と前書きがある。業平は美ら別れのなくもが千代男の代名詞で、色好みの男といわれる。この好色を、現代の倫理でみると間違っている。折口信夫の説によれば、古代王権の支配は、土地の女性を獲得し、

つひにゆく道とはかねて聞きしかど
きのふ今日とは思はざりしを
在原 業平

「伊勢物語」その地の霊力を手に入れる最後の段に所収。むかし、それを「ひな」に対して「み」と、わづらひやびであった。業平も源氏も王家の血統をひくくおぼえければ、と前書きがある。業平は美ら別れのなくもが千代男の代名詞で、色好みの男といわれる。この好色を、現代の倫理でみると間違っている。折口信夫の説によれば、古代王権の支配は、土地の女性を獲得し、

訂正

十月号3面の佐賀カトリック正義と平和協議会代表は、森内一郎氏ではなく、森内慎一郎氏です。

十一月号4面福岡地区の墓地委員は水田三木雄氏ではなく、椎山輝男氏(茶山)です。

編集室から

▽「クリスマスおめでとう」ございます。

全世界の人たちが、心からこの言葉を交わすことができたら、と思います。

▽鶴野神父様に一年間、「わが母マリア」を書いていただきました。

数々のエピソードのなかに見られる、聖母に対する神父様のあつい信心に敬服すると同時に、人々との関わりが深さを学ばせていただきました。二重に感謝。

▽三年間にわたって霊的読み物として親しまれてきました「いぶき」今号で終了です。執筆の山内清海神父様、長い間ありがとうございました。

これからもご専門の分野での執筆をよろしく願っています。

▽「時の話題」を担当していただき、稲垣先生には、キリスト者として、一歩後から正確に物事、歴史の推

パリー外国宣教会司祭 丸剛良家著 絶賛発売中 定価 1200円

人間は何のために生きるのか

真にこの問題について知り、解決を求めたい人のために!
人生95年 心のなかに生き続けた神が不思議な声となって今、私の魂に語りかける
—書き下し信仰と人生を語る座右の書—

聖母の騎士社 〒850 長崎市本河内町196 ☎0958-24-2080

各種高圧ガス・溶接材料・その他

松尾産商株式会社

社長 松尾光敏

北九州市若松区藤ノ木1-4-24
TEL 093-771-3657

信者の皆さん今年もどうぞ宜しく

(株)メガネの正視堂

行橋市駅通り本店 ☎2-0646
行橋市駅前5秒店 ☎2-2390
北九州市黒崎年金病院前店 ☎641-4321
北九州市黒崎駅前名店街店 ☎641-7177
北九州市ダイエー城野店3階 ☎922-5637

未来へ—安心を創る

FUJHI 藤木工務店

福岡支店 〒812 福岡市博多区博多駅南3-1-1 TEL 092-441-6585 (代表)
取締役社長 藤木 鐵三 福岡支店長 藤倉 良夫

吉川病院

院長 吉川 東陽

福岡市中央区平尾四ツ角 TEL 092-521-0568